

2010(平成22)年度

事業報告書

学校法人 麻布獣医学園

目 次

I	法人の概要	
1.	設置の目的・理念・建学の精神等	1
2.	将来に向けてのビジョン[学校法人麻布獣医学園中期目標・中期計画]	2
3.	沿革	3
4.	設置する学校等	4
(1)	設置学校	4
(2)	機構図	4
(3)	学生・生徒数の状況	5
5.	役員・教職員の概要	6
(1)	役員・評議員	6
(2)	教職員	7
II	事業の概要	
1.	平成22年度事業計画の実施状況	8
2.	教育研究の概要	12
(1)	平成22年度の教育実施体制	12
(2)	教育に関する情報	13
①	入学者の選抜	13
②	教育課程	18
③	学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準	21
④	平成22年度卒業生・修了者数及び進路状況	25
⑤	国家試験合格率の推移	27
⑥	年度別退学者数	28
⑦	学習環境	29
⑧	学生納付金	31
⑨	学生支援と奨学金	33
⑩	学生表彰制度	35
⑪	学生の課外活動の状況	35
(3)	研究に関する情報	38
①	競争的資金等受入状況（平成22年度）	38
②	学内競争的資金の状況	39
③	知的財産データ	39
④	受託研究等の受入状況	41
(4)	麻布大学附属瀧野辺高等学校に関する情報	42
3.	管理運営の概要	45
(1)	学園運営に係る会議等	45
(2)	会議等の開催状況	45
(3)	平成22年度 麻布獣医学園・麻布大学・麻布大学附属瀧野辺高等学校 行事報告	53
4.	前年度決算監査における監事要望事項の履行状況	60
III	財務の概要	
1.	財務状況の推移	64
2.	財務比率の推移	66
3.	寄附金収入の推移	68
4.	経常費補助金の推移	68
5.	動物病院収入の推移	69
6.	資金残高	69

I-1. 設置の目的・理念・建学の精神等

学校法人麻布獣医学園

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、大学教育及び高等学校教育を行うことを目的とする。〔学校法人麻布獣医学園寄附行為(昭和26年3月6日制定)第3条〕

麻布大学

建学の精神 『学理の討究と誠実なる実践』

麻布大学は、創設者倉倉東隆先生の建学の精神である、学理を討究し実践を重んじる誠実なる校風を受け継ぎ、人と動物との共存及び人と自然環境との調和の途を探究することを目的として、獣医学、動物応用科学及び生命環境科学に関する専門の知識を教授研究し、その応用力の展開をはかるとともに、進んで学術の進歩と国民生活の向上に寄与し、平和社会の建設に貢献することとしている。

目的 麻布大学は、獣医学、畜産学、動物応用科学、生命科学及び環境科学に関する専門の学術を教授研究し、その応用力の展開をはかるとともに、人格の完成につとめ、進んで学術の進歩と人類の生活向上に寄与し、平和社会の建設に貢献することを目的とする。〔麻布大学学則(昭和25年4月1日制定)第1条〕

獣医学部

理念・目的 獣医学部は、幅広い獣医学及び動物応用科学教育を行い、生命と福祉に係る科学者としての責任感に基づいて、社会的使命を正しく遂行し得る獣医師及び動物科学技術者を育成するとの理念に基づき、社会より与えられた責任に對して応えられ、かつ、国際的視野をもつことができる人材を養成することを目的とする。〔麻布大学獣医学部規則(平成5年4月1日制定)第1条の2〕

獣医学科

獣医学科は、獣医師としての科学的思考力と応用力を展開させ、生命と福祉にかかわる科学者としての社会的使命を遂行できる能力及び動物の生理や病態、疾病の処置とその予防並びに人と動物の感染症、動物性食品衛生及び環境衛生に関する科学的知識と技術を併せもつ人材を養成することを目的とする。

動物応用科学科

動物応用科学科は、動物にかかわる生命科学を基盤として、人と動物のより良い関係を学び、人と動物の共生を目指して、遺伝子レベルから個体レベルに至る動物の保有する諸機能を入間生活に安全かつ効果的に活用するための知識と技術を教授し、人と動物にかかわる諸分野で活躍できる専門技術を備えた人材を養成することを目的とする。

生命・環境科学部

理念・目的 生命・環境科学部は、生命科学及び環境科学の立場から、健全な生命をまぐむための教育研究を展開し、もって、人の健康の維持増進や環境の安全・保全にかかわる専門性の高い技術者を育成すること、さらには、社会科学的観点に立って、環境問題に對応できる人材の育成を目的とする。〔麻布大学生命・環境科学部規則(平成20年3月17日制定)第4条〕

臨床検査技術学科

臨床検査技術学科は、高い倫理観を有し、各種疾病についての基礎的知識に立脚して疾病と臨床検査成績との関連性をより深く、かつ正確に理解・判断でき、高齢者・障害者医療にも対応可能で、ニュートリションサポート、感染対策などのチーム医療を実践する一員としてふさわしい高い能力を有する臨床検査技師の養成を目的とする。

食品生命科学科

食品生命科学科は、健康な社会を維持発展させるために、人の基礎医学及び保健衛生学を基礎として食品科学・栄養学を学び、かつ、高度なバイオ技術を身に付け、高い専門性を持って食の安全安心にかかわる食品衛生学・食品生命科学分野で活躍する研究者、技術者の養成を目的とする。

環境科学科

環境科学科は、持続可能な社会の構築を目指し、環境の安全・保全について自然科学及び社会科学の両面から教育研究し、環境の分析・評価、維持・改善、マナー・マネジメントに携わる技術者及び環境分野の専門家となる人材の養成を目的とする。

環境保健学部

理念・目的 環境保健学部は、自然科学的、あるいは、社会科学の立場から、人の生命を健康に維持全うさせるため、様々な環境因子と人の健康の維持増進との相互関係を把握し、究明する研究者、技術者を育成することを目的とする。〔麻布大学環境保健学部規則(平成5年4月1日制定)第1条の2〕

健康環境科学科

健康環境科学科は、各種公害、廃棄物処理、上下水道、衛生、安全な食品の確保について、あるいは毒性問題等、人を取り巻く外的環境要因と健康とのかかわりを教育研究し、これらの諸問題を総合的に研究し、その解決策を開発する能力を備えた人材を養成することを目的とする。

衛生技術学科

衛生技術学科は、人体を取り巻く外的環境要因及び内的環境要因によって引き起こされる生体内の変化と生命現象との関係を理化学的变化という面から教育研究し、医療関連分野、特に、臨床検査領域及びバイオサイエンス領域で活躍できる能力を備えた人材を養成することを目的とする。

環境政策学科

環境政策学科は、人間の生活・経済活動の優先性から生じる様々な環境問題を、社会科学と自然科学分野を併せ持つ文理融合型の教育研究から探求し、人間の精神的な幸福・健康及び生活のアメニティー志向に寄与する具体的な方策を提言、実行できる能力を涵養するとともに、幅広い分野で環境問題の解決に活躍し得る人材を養成することを目的とする。

麻布大学附属 澗野辺高等学校

目的

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて高度な普通教育を施すことを目的とする。〔麻布大学附属澗野辺高等学校学則(昭和36年5月17日制定)第1条〕

教育理念

夢を語り、学問を追究・実践し、誠実なる校風の基、平和社会に貢献する。

校訓

誠実・協調・博愛・奉仕

大学院

目的 麻布大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。〔麻布大学大学院学則(昭和35年4月1日制定)第1条〕

獣医学研究科

理念・目的 獣医学研究科は、生物学を基盤とする応用科学として、動物とヒトの健康社会・生命科学を探究し、地球上に共存する動物とヒトにかかわる学術の論理及び応用を追究・教授することを理念とする。この理念に基づき、獣医学研究科は、人類と動物の福祉、社会の平和、生物としての共生並びに文化の進展に貢献する人材を育てることを目的とし、研究を重視するとともに、実践・実務能力、生涯学習及び再教育も考慮する。この理念と目的を達成するため、獣医学研究科は学術的基盤としての生物科学総合研究所、附属動物病院などと連携して社会的要求に応えていく。〔麻布大学大学院獣医学研究科規則(昭和34年11月20日制定)第2条〕

獣医学専攻博士課程

獣医学専攻では、動物とヒトの生命科学として、より高度な臨床獣医師や高度の専門性を有する職業人、研究者及び教育者を養成するため、問題解決能力、実践・実務能力を重視した教育研究体制を組織する。また、獣医学専攻では、ヒトの健康に寄与することも考慮し、主として、予防獣医学、遺伝子診断、遺伝性疾患、免疫治療、移植、感染症、臨床薬理、臨床中毒、臨床病理、病態生理及びバイオインフォマティクスなどの幅広い研究・教育を通して、より専門性の高い研究能力及びその基盤となる豊かな学識を養うことを目的とする。

動物応用科学専攻博士前期課程

動物応用科学専攻博士前期課程では、日本社会の実情にあった、人と動物の健康社会を科学する人材を養成するため、動物、微生物などに由来する遺伝子、細胞、たんぱく質などの機能解析とその応用、食品科学における危険要因の低減、除去及び生活活性マテリアルとしての環境改善への応用、更に「健康な動物」の持つ機能の人間生活への活用、野生動物の保全・人間社会との軌跡の軽減などの研究・教育を通して、高度な専門性職業人に必要な能力を養うことを目的とする。

動物応用科学専攻博士後期課程

動物応用科学専攻博士後期課程は、博士前期課程(修士課程)で修得した広い視野に立って、より高度な専門性をもつ職業人、研究者及び教育者を養成するため、人と動物健康科学などの研究・教育を通してその学術的基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

環境保健学研究科

理念・目的 環境保健学部における教育・研究を基盤として、ヒトを中心に内部環境と外部環境に区分して、それぞれの環境と人体とのかかわり合い、並びに新たに自然科学及び社会科学の両方を取り入れた専門的教育・研究を行うことを理念とする。この理念に基づき、環境保健学研究科は、更に深い学術の理論及び応用を修得し、研究能力及び高度の専門的能力を培い、社会と文化の発展に寄与し得る人材の育成を目的とする。〔麻布大学大学院環境保健学研究科規則(平成6年4月1日制定)第2条〕

環境保健科学専攻博士前期課程

高い倫理観を養うとともに、バイオサイエンスを取り入れた衛生技術学領域及び環境衛生学領域における高度な専門知識と技術を備えた中堅の研究者、技術者又は統括指導者となるにふさわしい能力を養成することを目的とする。

環境保健科学専攻博士後期課程

博士前期課程で修得した知識と技術を更に向上させ、独創性の高い研究能力を培い、関連する分野で自立した研究者、指導者となるにふさわしい能力を養成することを目的とする。

環境衛生政策専攻修士課程

人間社会の身近な環境衛生政策専攻分野に関連する自然科学及び社会科学の両方の専門知識を備えて総合的に環境衛生対策が立案、実践できる高度の専門的職業人を育成するとともに社会人の再教育を行うことを目的とする。

I-2. 将来に向けてのビジョン

学校法人麻布獣医学園 中期目標・中期計画 [平成21年度～平成26年度]

- 中期目標・中期計画は、「学校法人」「大学」「高等学校」が、平成21年度から平成26年度までに達成すべき事項を掲げたものである。(平成21年5月28日理事会・評議員会決定, 平成21年9月29日 理事会一部改定)
- 中期目標・中期計画は、学校教育法に規定する認証評価機関が定めた大学における評価項目を基に取りまとめたものである。また、高等学校については、文部科学省が定めた学校評価ガイドラインに基づいた評価項目を基に取りまとめたものである。

【概要】

中期目標

中期計画

(1)法人の経営管理について

大学及び高等学校を取り巻く経営環境の悪化と社会環境の変化に迅速に対応するために、機動的な意思決定と着実な業務執行を可能とする管理運営体制の構築を目指すものとする。

- ①法人の経営方針は、大学及び高等学校の教学方針に基づいた経営管理を行うものとし、そのために経営側と教学側の意思疎通を図るための連絡調整組織を置く。
- ②国の私立大学等経常費補助金の予算額が前年比1%削減されるのに合わせて、本学においても一般管理経費を毎年度1%の削減を行い、日本私立学校振興・共済事業団が示す経営指標において、良好な財務状況であることを維持する。
- ③教職員の職責に係る利益相反・責務相反に関する規則を整備し、併せて教職員研修内容の充実・強化を図る。

(2)大学の教育について

本学は、「学理の討究と誠実なる実践」の理念の下、大学学則及び大学院学則に基づき、人と動物と環境の共生を目指して「地球共生系」という標語を掲げ、生態系と人間社会の接点で生じる諸問題、特に動物及び生活環境を介して生じる人と動物の健康影響について、動物側あるいは環境因子側から教育研究し、人及び動物の健康社会に貢献する高度専門職業人(研究者養成を含む。)及び幅広い職業人の人材養成を教育成果の目標とする。

- ①文部科学省中央教育審議会答申から、大学は、機能別に分化することが望ましいとの提言があることを踏まえ、本学は、「高度専門職業人養成」又は「幅広い職業人養成」の機能を担う大学として、個性化及び特色化を図るものとする。
- ②この個性化及び特色化へ取り組むに当たり、大学は、教学方針として「学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受入れの方針」をそれぞれ明確に定め、もって教学方針を確立する。
- ③現行の教育研究体制を改め、平成25年度から新教育研究体制で新たな教育研究を行う。

(3)大学の学術研究及び社会貢献について

人と動物と環境の共生を目指して「地球共生系」という考えの下、本学の特徴的・个性的な研究を発掘及び顕在化させ、研究面でのブランド化を目指す。また、地域社会との連携推進の充実を図り、教育研究成果を社会に還元することをもって、本学が広く社会に貢献することを目指す。

- ①経常的な研究条件の更なる整備に努める。
- ②本学の研究内容の可視化(研究マップの作成)を図り、共同研究及び大型研究プロジェクトを構築し、研究成果を知的財産として保護し、活用する。
- ③地域社会及び産学官連携並びに国際・文化交流に努め、教育研究成果を社会への還元に寄与する。

(4)高等学校について

本校は、「学理の討究と誠実なる実践」の理念の下、高等学校学則に基づき、次に掲げる事項を人材育成目標及び教育成果目標とする。

- ①学力の向上及び高校生としての学力の保証
- ②学習の場には積極的に参加し自ら学ぶ意欲を持った人材育成
- ③秩序、良識、礼儀を尊重し、他人を思いやる心を持った人材育成
- ④夢を持ち未来を拓く強い精神力と健康な身体を持つ人材育成

- ①文部科学省学習指導要領(平成20年度改訂, 平成25年度入学者から適用)の改訂に伴い、新教育課程を編成し、原則として、平成25年度入学者から、新たな教育を実施する。
- ②生徒、保護者に選ばれる高等学校を作り、学校評価等を通じて社会からの評価及び認知度を高め、もって安定した生徒数を確保する。
- ③学力受験偏差値が「60」以上と評価されることを目指す。

I-3. 沿革

明治23 (1890) 年	9 月	東京獣医講習所開所(現 東京都港区南麻布)
明治27 (1894) 年	1 月	麻布獣医学校開校
明治45 (1912) 年	3 月	麻布獣医畜産学校と改称
大正 9 年	9 月	財団法人麻布獣医畜産学校認可
昭和 9 (1934) 年	4 月	実業専門学校令による麻布獣医専門学校の設置 財団法人麻布獣医専門学校と改称認可
昭和19 (1944) 年	12 月	麻布獣医畜産専門学校と改称
昭和22 (1947) 年	6 月	現在地(神奈川県相模原市)に移転
昭和25 (1950) 年	2 月 4 月	新学制による麻布獣医科大学の設置認可 財団法人麻布獣医学園 麻布獣医科大学として開学
昭和26 (1951) 年	3 月	財団法人から学校法人へ改組, 学校法人麻布獣医学園となる
昭和27 (1952) 年	3 月	麻布獣医畜産専門学校廃止
昭和32 (1957) 年	4 月	麻布獣医科大学獣医学部獣医学専攻科開設
昭和35 (1960) 年	4 月	麻布獣医科大学大学院修士課程開設
昭和36 (1961) 年	5 月	麻布獣医学園測野辺高等学校設立認可
昭和37 (1962) 年	4 月	麻布獣医科大学大学院博士課程開設
昭和40 (1965) 年	4 月	麻布公衆衛生短期大学開学
昭和51 (1976) 年	2 月	麻布獣医科大学獣医学部家畜環境学科認可
昭和53 (1978) 年	2 月 11 月	麻布獣医科大学環境保健学部(環境保健学科及び衛生技術学科)設置認可 麻布獣医科大学獣医学部獣医学専攻科廃止
昭和54 (1979) 年	6 月	麻布公衆衛生短期大学廃止
昭和55 (1980) 年	4 月	麻布獣医科大学を麻布大学に名称変更 獣医学部家畜環境学科を獣医学部環境畜産学科に名称変更
昭和59 (1984) 年	4 月	獣医学教育6年制発足(学校教育法の一部改正による)
昭和60 (1985) 年	10 月	測野辺高等学校を麻布大学附属測野辺高等学校に名称変更
昭和63 (1988) 年	4 月	麻布大学附置生物科学総合研究所開設
平成元 (1989) 年	12 月	麻布大学大学院獣医学研究科博士課程(4年制)認可 獣医学部環境畜産学科, 環境保健学部 臨時定員増認可
平成 5 (1993) 年	3 月 4 月 12 月	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻(修士課程)設置承認 麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻(修士課程)開設 麻布大学獣医学部動物応用科学科設置認可
平成 6 (1994) 年	3 月 4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻(修士課程)設置承認 麻布大学獣医学部環境畜産学科を獣医学部動物応用科学科に改組 麻布大学獣医学部環境畜産学科募集停止 麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻(修士課程)開設
平成 7 (1995) 年	3 月 4 月 12 月	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻(博士課程)設置承認 麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻(博士課程)開設 麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻(博士課程)設置承認
平成 8 (1996) 年	4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境保健科学専攻(博士課程)開設
平成 9 (1997) 年	7 月 7 月 9 月	麻布大学附属動物管理センター設置 麻布大学大学院学生部保健課を麻布大学健康管理センターに組織変更 麻布大学獣医学部環境畜産学科廃止
平成10 (1998) 年	2 月 12 月	麻布大学環境保健学部環境保健学科を環境保健学部健康環境科学科に名称変更認可 麻布大学環境保健学部環境政策学科設置認可 麻布大学獣医学部動物応用科学科, 環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の臨時定員延長認可(平成11年度まで)
平成11 (1999) 年	3 月 4 月 7 月 10 月	麻布大学獣医学部環境畜産学科廃止認可 麻布大学環境保健学部環境政策学科開設 麻布大学獣医学部動物応用科学科, 環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の臨時定員延長認可(平成16年度まで) 麻布大学獣医学部動物応用科学科, 環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の臨時定員廃止に伴う収容定員増認可 麻布大学環境保健学部健康環境科学科・衛生技術学科の編入学定員設定認可
平成12 (2000) 年	4 月	麻布大学附属図書館と麻布大学附属情報処理センターを統合し, 麻布大学附属学術情報センターを設置
平成14 (2002) 年	12 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境衛生政策専攻(修士課程)設置承認
平成15 (2003) 年	4 月	麻布大学大学院環境保健学研究科環境衛生政策専攻(修士課程)開設
平成18 (2006) 年	6 月	麻布大学獣医学部動物応用科学科の入学定員増に係る学則変更認可
平成19 (2007) 年	4 月 7 月	麻布大学獣医学部附属動物病院を麻布大学附属動物病院に組織及び名称変更 麻布大学附属教育推進センター設置 生命・環境科学部臨床検査技術学科, 食品生命科学科及び環境科学科の設置届出 生命・環境科学部臨床検査技術学科, 食品生命科学科及び環境科学科編入学定員設定届出
平成20 (2008) 年	4 月	環境保健学部を改組し, 生命・環境科学部臨床検査技術学科, 食品生命科学科及び環境科学科を開設(環境保健学部健康環境科学科, 衛生技術学科及び環境政策学科は募集停止) 麻布大学研究推進・支援本部を設置

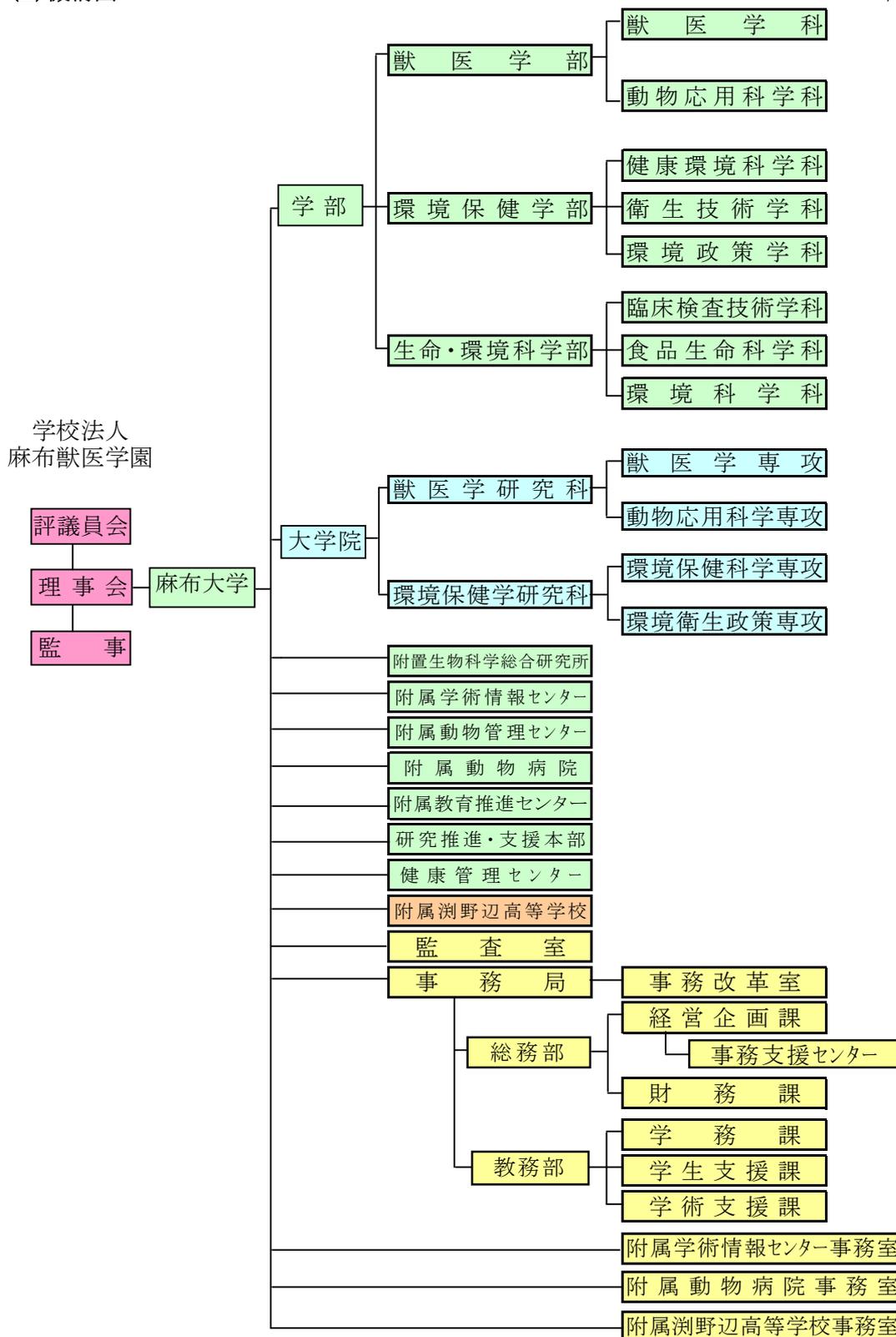
I-4. 設置する学校等

(1) 設置学校

<p>麻布大学 昭和25(1950)年2月 設置認可 所在地：〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71 学長：政岡 俊夫</p>
<p>麻布大学附属淵野辺高等学校 昭和36(1961)年5月 設立認可 所在地：〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-50 校長：政岡 俊夫</p>

(2) 機構図

平成23年5月1日現在



(3) 学生・生徒数の状況

平成23年 5月 1日 現在

①入学定員, 収容定員, 学生・生徒数

(人)

学部・学科等		入学定員	編入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計		
学部	獣医学部	獣医学科	120	—	720	153	156	162	154	155	147	927	
		動物応用科学科	120	—	480	145	147	138	129	—	—	559	
		小計	240	—	1,200	298	303	300	283	155	147	1,486	
	環境保健学部	健康環境科学科	—	—	0	—	—	—	7	—	—	7	
		衛生技術学科	—	—	0	—	—	2	13	—	—	15	
		環境政策学科	—	—	0	—	—	—	19	—	—	19	
		小計	—	—	0	0	0	2	39	—	—	41	
	生命・環境科学部	臨床検査技術学科	2年次	70	5	305	93	104	86	61	—	—	344
			3年次	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—
		食品生命科学科	2年次	70	5	305	96	90	93	57	—	—	336
3年次			—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	
環境科学科	100	4	420	138	120	121	88	—	—	467			
小計	240	14	1,030	327	314	300	206	—	—	1,147			
学部計		480	14	2,230	625	617	602	528	155	147	2,674		
研究科	獣医学研究科	獣医学専攻 博士課程	10	—	40	1	7	1	5	—	—	14	
		動物応用 科学専攻	博士前期 課程	12	—	24	38	28	—	—	—	—	66
			博士後期 課程	4	—	12	5	0	7	—	—	—	12
		小計	26	—	76	44	35	8	5	—	—	92	
	環境保健学研究科	環境保健 科学専攻	博士前期 課程	7	—	14	8	9	—	—	—	—	17
			博士後期 課程	2	—	6	1	0	3	—	—	—	4
		環境衛生政策専攻 修士課程	7	—	14	3	1	—	—	—	—	4	
		小計	16	—	34	12	10	3	—	—	—	25	
	研究科計		42	—	110	56	45	11	5	—	—	117	
	附属刈野辺高等学校		258	—	774	230	247	223	—	—	—	700	
総合計		780	—	3,114	911	909	836	533	155	147	3,491		

②非正規課程履修者

(人)

区分	獣医学部	獣医学研究科	動物病院	生命・環境科学部	環境保健学研究科	合計
研究生	27	0	0	6	0	33
研修生	0	0	0	0	0	0
研修獣医師	0	0	90	0	0	90
聴講生	5	0	0	2	0	7
科目等履修生	2	0	0	1	0	3
単位互換履修生(受入)	0	0	0	0	0	0
外国人研究生	0	0	0	0	0	0
履修証明プログラム履修者	7	0	0	0	0	7
外国人学生	7	2	0	1	0	10
特別聴講学生(受入)	0	0	0	0	0	0
特別研究学生(受入)	0	0	0	0	0	0
聴講生徒	0	0	0	4	0	4
研究室体験生徒	0	0	0	0	0	0
合計	48	2	90	14	0	154

【注】

1. 単位互換履修生として各協定大学に派遣する獣医学部及び生命・環境科学部の各学生は、平成23年度前期は両学部ともになし。
2. 特別聴講学生、特別研究学生として各協定大学大学院研究科に派遣する大学院学生は、両研究科ともになし。

I-5. 役員・教職員の概要

(1) 役員・評議員

平成23年5月1日現在

	定数	現員	任期
理事	10~11人	11人	3年
監事	2人	2人	3年
評議員	28~34人	32人	3年

① 役員

理事・ 監事の 区 別	担当職務等	氏 名	就 任	選 任 区 分 等		常勤/ 非常勤	備 考
			就任年月日 (重任年月日)	寄附行為	選任区分		
理事	理事長	政 岡 俊 夫	平成14年6月25日 (平成22年6月25日)	第8条第1号	大学長	常勤	平成21年6月1日理事長就任
理事	総務・高校 担当	有 嶋 和 義	平成21年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	人事・給与 担当	柏 崎 直 己	平成21年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	財務担当	田 中 智 夫	平成21年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事	管財担当	福 山 正 文	平成12年6月1日 (平成21年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	常勤	
理事		有 賀 誠	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事		高 橋 徹	平成15年6月1日 (平成21年6月1日)	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事		田 中 克 明	平成21年6月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事		小 野 口 勝 巳	平成23年3月1日	第8条第2号	評議員 (評議員会選任)	非常勤	
理事		市 川 正 雄	平成15年6月1日 (平成21年6月1日)	第8条第3号	学識経験者 (理事会選任)	非常勤	平成15年6月1日～平成21年5月31日 寄附行為第8条第2号理事
理事		谷 口 隆 良	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第8条第3号	学識経験者 (理事会選任)	非常勤	
監事		矢 澤 嗣 夫	平9年6月1日 (平成21年6月1日)	第9条		非常勤	
監事		宮 島 成 郎	平成22年6月1日	第9条		非常勤	

② 評議員

氏 名	就 任	選 任 区 分 等		備 考	氏 名	就 任	選 任 区 分 等		備 考
	就任年月日 (重任年月日)	寄附行為	選任区分			就任年月日 (重任年月日)	寄附行為	選任区分	
水 野 裕	平成21年6月1日	第18条第2号	卒業者	議長	小 野 口 勝 巳	平成21年6月1日	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
宮 澤 宏	平成21年6月1日	第18条第2号	卒業者	副議長	有 賀 誠	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
有 嶋 和 義	平成15年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事	田 中 克 明	平9年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事
石 井 孝 良	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第1号	法人職員		田 形 和 敏	平成21年6月1日	第18条第2号	卒業者	
柏 崎 直 己	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事	濱 崎 五 郎	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第2号	卒業者	
五 味 義 幹	平成15年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第1号	法人職員		白 石 政 美	平成21年6月1日	第18条第2号	卒業者	
信 田 卓 男	平成21年6月1日	第18条第1号	法人職員		江 口 徹	平成21年6月1日	第18条第2号	卒業者	
滝 沢 達 也	平成21年6月1日	第18条第1号	法人職員		鈴 木 紀 夫	平成12年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第2号	卒業者	
田 中 智 夫	平成21年6月1日	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事	市 川 正 雄	平成15年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	理事会選任理事
土 屋 亮	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第1号	法人職員		加 山 俊 夫	平成21年6月1日	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
福 山 正 文	平成12年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第1号	法人職員	評議員会選任理事	三 東 崇 秀	平成21年6月1日	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
前 田 正 利	平成21年6月1日	第18条第1号	法人職員		塩 田 浩 平	平成21年6月1日	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
松 田 基 夫	平成21年6月1日	第18条第1号	法人職員		谷 口 隆 良	平成15年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	理事会選任理事
武 藤 眞	平成21年6月1日	第18条第1号	法人職員		田 原 寿 夫	平成18年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第3号	学識経験者 (評議員会選任)	
山本雅子	平成12年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第1号	法人職員		政 岡 俊 夫	平9年6月1日 (平成22年6月25日)	第18条第4号	大学長	平成9年6月1日～平成14 年6月24日寄附行為第18 条第1号評議員 兼理事長(兼高等学校長)
高橋 徹	平成12年6月1日 (平成21年6月1日)	第18条第2号	卒業者	評議員会選任理事					
勝 見 晟	平成21年6月1日	第18条第2号	卒業者		(政 岡 俊 夫)	平成22年4月1日	第18条第5号	高等学校長	(大学長)

平成23年 5月 1日 現在

(2) 教職員

①大学教員(常勤)

(人)

学部・学科等	学長		教授		准教授		講師		助教		助手		特任教員		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
学長	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
獣医学部	獣医学科	—	—	15	2	16	2	8	5	2	2	0	0	3	1	56
	動物応用科学科	(1)	—	11(1)	0	4	1	2	1	0	0	0	0	0	2	21(2)
	基礎教育系	—	—	1	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	小計	(1)	0	27(1)	3	22	3	12	6	2	2	0	0	3	3	83(2)
環境保健学部	健康環境科学科	—	—	(6)	0	(1)	(2)	(1)	0	0	0	0	0	0	0	(10)
	衛生技術学科	—	—	(7)	0	(5)	0	(4)	(1)	0	0	0	0	0	0	(17)
	環境政策学科	—	—	(4)	0	(1)	0	(4)	0	0	0	0	0	0	0	(9)
	教職・学芸員課程	—	—	(1)	0	(0)	0	(1)	0	0	0	0	0	0	0	(2)
	小計	0	0	(18)	0	(7)	(2)	(10)	(1)	0	0	0	0	0	0	(38)
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	—	—	6	0	4	1	3	2	0	0	0	0	0	0	16
	食品生命科学科	—	—	6	0	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	13
	環境科学科	—	—	7	0	2	1	5	0	0	0	0	0	0	0	15
	教職・学芸員課程	—	—	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	小計	0	0	20	0	9	4	11	2	0	0	0	0	0	0	46
大学院	獣医学研究科	—	—	(28)	(3)	(15)	(2)	(8)	(1)	0	0	0	0	0	0	(57)
	環境保健学研究科	—	—	(16)	0	(4)	(2)	(3)	0	0	0	0	0	0	0	(25)
	小計	0	0	(44)	(3)	(19)	(4)	(11)	(1)	0	0	0	0	0	0	(82)
附置生物科学総合研究所	—	—	(3)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1(3)	
附属学術情報センター	—	—	(1)	0	0	0	(1)	0	0	0	0	0	0	0	(2)	
附属動物管理センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)	
附属動物病院	—	—	1	0	2	0	0	0	3	0	0	0	3	1	10	
附属教育推進センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)	
研究推進・支援本部	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)	
健康管理センター	—	—	(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(1)	
合計	1	0	48	3	33	7	24	8	5	2	0	0	6	4	141	

②高等学校教員(常勤)

(人)

	校長		教頭		教諭		契約講師		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
附属刈野辺高等学校	(1)	0	2	0	24	7	2	0	35(1)

③職員(常勤)

(人)

校名等	事務局長		次長		課長 事務長 室長・主監		補佐		主査		主任		一般職		契約職員		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
麻布大学	1	0	1	0	11	2	4	3	10	3	2	2	16	9	3	6	73
附属刈野辺高等学校	—	—	—	—	1	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	5
合計	1	0	1	0	12	2	4	3	10	4	3	2	16	11	3	6	78

常勤教職員

男	195人	女	59人	総合計	254人
---	------	---	-----	-----	------

④非常勤教職員

(人)

学部等	非常勤講師	非常勤職員	合計
獣医学部	45	9	54
環境保健学部	4	0	4
生命・環境科学部	83	5	88
附属刈野辺高等学校	25	0	25
事務組織	0	43	43
合計	157	57	214

【注】1. ()は、兼務者を表す。

2. 非常勤講師欄は、獣医学部、環境保健学部、生命・環境科学部及び附属刈野辺高等学校を兼務するものを含む延べ人数である。

3. 非常勤講師には、業務委託による講師を含む。

4. 非常勤職員には、派遣職員を含む。

II 事業の概要

II-1. 平成22年度事業計画の実施状況

- 平成22年度事業計画は、学園の中期目標・中期計画[平成21年度～平成26年度]を基に、平成22年度に学園全体として事業を推進するに当たり、本学園の役員及び教職員が共通の認識に立って内外ともに明確にしておかなければならない事項を取り上げ作成したものである。[平成22年2月23日開催の理事会及び評議員会で承認]

平成22年度事業計画の実施状況は、次のとおりである。

決算額・予算額(単位:百万円)

平成22年度事業計画	実施状況			
1. 優秀な教職員の確保	決算額	2,879	予算額	2,930
(1) 大学				
① 学部・学科の将来展望を見据えた教員の補充・確保	平成25年度から導入が検討されている新たな教育研究体制の構成を見据えながら、現在実施している教育及び研究活動に支障が生じないよう、教員組織の維持及び退職者の補充・確保に努めた。			
(2) 高等学校				
① 「高等学校における教員能力の向上と組織の活性化」の継続実施	【教員能力の向上】 1. 生徒による授業評価を年2回実施:分析・評価の活用の充実(PDCAサイクルのCAの充実) 2. 教員の積極的研修参加 (1)教科,教育課程(学習指導要領改訂),学校づくり,分掌,人権,道徳教育研修への参加 (2)公私合同研修会への参加 (3)初任者研修,10年経験者研修への参加 (4)教員免許更新制度5人受講 【組織の活性化】 1. 部長制度の充実 (1)部会議で報告と審議を行い,決定事項を職員会議で報告 2. 振替休暇の活用と奨励 3. 危機管理意識の向上:管理職研修会で学んだ資料提示,校内研修会の実施 4. 学校評価及び学校関係者評価の継続実施 (1)学級担任としての自己評価の導入 (2)第三者で構成される学校関係者評価委員会での評価・検証			
(3) 事務局				
① 職員の計画的採用と人材の適正配置	平成22年1月26日開催の理事会において承認された「専任職員／契約・派遣職員の割合見直し計画」に基づき,計画的な採用を実施した。人材の適正配置については,事務改革の組織改革による適正な人員の配置及び採用計画により採用した職員の配置並びに職員の人事異動を実施し,より事務体制の強化が図られるような配置を行った。			
2. 教育事業の見直し・活発化	決算額	794	予算額	813
(1) 大学				
① 学士課程教育と大学院コースワークを見据えた教学方針の確立とこれに基づく教育課程の構築	平成22年度に学部及び大学院の教育理念・目的,教育内容等に応じた教学上の三つの方針(学位授与の方針,教育課程編成・実施の方針,入学者受入れ方針)を定め,明確化した。この学部及び大学院の教学方針に基づき,学士課程教育を踏まえた大学院教育では,さらに学修課題を複数の科目等を通して体系的に履修することを求めるコースワークを見据えた教育課程の編成・実施を,全学的な協力体制の下で検討することとした。			
② 入学時の修学指導の充実	入学者が大学に慣れ,スムーズに大学生活になじみ,学習意欲を高めて学部教育に移行できることを目的に,フレッシュマンゼミを平成22年4月9日～10日の2日間,学内において実施した。その結果,学生相互及び教員との交流を通し,大学生生活の不安を共有でき,また,グループワークを通じて主体的に考え,行動できる「大学生」に成長していることが窓口での学生の態度の変化で感じとれた。			
③ ファカルティ・ディベロップメント活動の推進	教育推進センターが主体となって,本学の教育の改善を図るために,次のFD研修会を全学的に実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・初年次開講科目担当教員のためのFD研修会ーリメディアル教育との連携 初年次に開講されている正課の授業と正課外のリメディアル教育との連携により効果を挙げている事例を参考に全教員を対象に実施した。 ・教務担当者のためのFD研修会 ディプロマポリシーを保証するためのカリキュラムポリシーの具体化や,中期計画に記載されている教務担当教員が実施するべき事項や中等教育の現状について,全学の教務担当教員を対象に解説された。 ・スキルアップのためのFD研修会 授業改善を図る上で必要となる現在の学生像を把握するために,事例紹介やワークショップを取り入れた参加型研修を全教員を対象に行った。 			

平成22年度事業計画	実施状況
④ 国際交流の推進	<p>夏期休暇期間を利用して、学生がそれぞれの協定校で特色ある研修を行う一方、協定校からは、学生や研究者が来訪し、本学での研修を受ける他、講演会を実施するなど、海外の学術交流協定締結機関との交流を積極的に推進した。</p> <p>ただし、チェンマイ大学への派遣研修事業については、タイ王国の政情不安により、実施を見合わせた。</p> <p>平成22年度末現在、交流協定締結機関は11機関、準協定機関は1機関である。</p>
⑤ 自己点検・評価の実施、認証評価の対応	<p>平成21年度に作成した自己点検・評価報告書に基づき、大学基準協会の大学評価(学校教育法に規定する認証評価)を受審した。書面評価及び実地視察(平成22年10月19日)を受け、平成23年3月に同協会の大学基準に適合していると認定[認定期間は、平成30(2018)年3月31日まで]された。</p> <p>なお、助言及び勧告については、平成26(2014)年7月までに対応の上、改善報告書を作成する。また、申請資格充足年度(完成年度+1年)を経過していなかった生命・環境科学部にあっては、改善報告書提出時に併せて完成報告書を提出する。</p>
⑥ 高大連携の推進	<p>新たに県立川崎工科高等学校と協定を締結し、高大連携協定校は、6校(県立相原高等学校、県立麻溝台高等学校、県立川崎工科高等学校、県立座間高等学校、県立城山高等学校、県立大和東高等学校)となった。このほかに複数校と協定について前向きに検討しており、今後更に協定校の増加が見込まれる。</p> <p>連携の内容については、聴講生徒の受入れ(2人)、研究室体験生徒の受入れ(7人)、大学教員の高校に出向いての特別授業等の実施、協定校に対しては、教育実習生の受入れ(2人)、教諭による教職課程科目への出講等を依頼、連携の深化を図っている。</p> <p>このほか、協定校以外でも、教養講座・演習講座・SPP(サイエンス・パートナーシップ・プログラム)を行い、幅広い活動を実践している。</p>
(2) 高等学校	
① 募集定員の確保と全教員による募集活動の実施	<p>浜野辺高等学校を知ってもらうため、受験雑誌への広告発信を行った。</p> <p>なお、管理職による相模原市、横浜市、川崎市、町田市、八王子市の塾訪問(1回)、全教諭による相模原市、横浜市、川崎市、座間市等の15市町村の中学校訪問(2回)を実施するほか、進路指導教諭や3年生の担任教諭に対する学校紹介、入試説明を行った。</p> <p>浜野辺高等学校主催の入試説明会(3回)、塾等が主催する学校説明会(4回)も例年どおり実施し、定員確保に努めた。</p>
② 少人数教育の定着及びきめ細かな生活指導の実施	<p>学校教育目標(1. 学力の向上並びに高校生としての学力の保証, 2. 学習の場には、積極的に参加し、自ら学ぶ意欲を持った人材の育成, 3. 秩序、良識、礼儀を尊重し、他人を思いやる心を持った人材の育成, 4. 夢を持ち、未来を拓く強い精神力を健康な身体を持つ人材の育成)を達成するため、1クラス30～35人の少人数クラス編成を継続し、教えやすい・学びやすい場を創出し、きめ細やかな教育及び生活指導を実践している。</p>
③ 学習指導要領の改訂に伴う教育課程の見直し	<p>カリキュラム委員会(合計7回)を開催し、平成24年度入学生に対応したカリキュラム作成は、ほぼ完成し、県学事振興課の精査を受けることとしている。</p>
④ 高大一貫・他大学との連携の推進	<p>高大一貫情報交換会(合計5回)を開催し、一貫教育としての概論A・Bの授業方法や授業取得等について議論した。</p>
(3) 学生・生徒募集のための広報活動の効果的実施	<p>① オープンセミナーの充実と広報強化により、参加者が1.7倍になった。特に保護者対象説明会の新設は大きな効果があった。また、理教科目のプレ入試は、反響が大きかった。</p> <p>② 高等学校管理システムのスクールカルテのバージョンアップにより、高校訪問や高校内説明会促進等が効率化した。</p> <p>③ 理系(医療系)予備校とのコネクション拡大ができ、新規開拓予備校も含め志願者増につながった。</p> <p>④ 「保護者・進路指導用パンフレット」を新規に作成し募集の強化を図った。</p> <p>⑤ ホームページのリニューアルは、見送った。</p> <p>⑥ 各進学相談会への参加は、停滞気味となった。</p>

平成22年度事業計画	実施状況	
(4) 地域社会との連携強化	平成17年度から実施している相模原市との「街美化アザブ活動」を継続すると共に、近隣小学校における環境理科教室活動を実施し、地域社会との連携強化及び生涯学習の振興を図った。	
3. 研究活動の活発化	決算額	409
(1) 研究推進・支援本部による研究活動の推進・支援	予算額 421	
① 支援計画の策定と活動の点検・評価	年間スケジュールに基づき、随時、活動状況を点検・評価している。	
② 本部機能の充実・強化	先導的研究活動となり得る新たな研究プロジェクトに学内研究助成金を配分し、外部大型競争的資金の獲得に向けた支援を行った。 また、その他の本部補助金の選考に当たっては、独自の競争的原理を導入し、本学の研究基盤の充実を目指した。 なお、これらの業務遂行に当たっては、知財関連コーディネーター及び産学官連携コーディネーターを登用して対応しているほか、外部機関として(株)リクルートテクノロジー・マネジメント開発室も活用している。	
③ 学内競争的資金の効果的活用	学内から募集した研究課題を、学会発表、論文発表等競争的原理を取り入れて評価し、競争的資金獲得に向けた研究の活性化を図った。 なお、私立大学等経常費補助金特別補助が平成22年度から廃止されたため、本学独自の補助金として執行した。	
④ 外部資金獲得の推進	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業については、申請の結果、不採択に終わったが、平成23年度学術研究振興資金にされ、採択されている。 また、科学研究費補助金については、申請率100%を目指したが、87%の申請率にとどまった。(V学部 83.1% L学部 96.9%) なお、共同研究・受託研究については、手続等を含めた本部機能が周知され、契約件数が増加している。	
⑤ 知的資産の蓄積及び活用と産学官連携の推進	国内特許出願を3件、海外特許出願を1件行い、有償での技術移転活動を行うとともに、本学の研究の見える化を図るため、教員へのヒアリングを基に、研究マップを作成、各種イベントではシーズ集を配付した。これらの取組の成果として、共同研究等の件数が大きく増加した。なお、かながわ産学公連携推進協議会に参加した。	
⑥ セミナーの実施	教職員を対象としたセミナーを6回開催し、研究推進活動への積極的な取組の意識付けを行った。	
⑦ 知財教育及びベンチャー企業育成の推進	例年どおり、両学部学生及び大学院生を対象に講義の一部に知財教育を取り入れた。 なお、起業家セミナーは、実施しなかった。	
4. 附置・附属施設の充実	決算額	954
(1) 動物病院の医療器具・機械の計画的整備	予算額 1,076	
(1) 動物病院の医療器具・機械の計画的整備	平成21年度に計画していた放射線治療装置を導入したほか、中小機器の導入について、平成23年度から平成25年度までの整備計画を立てた。	
(2) 学術情報センター機能の充実・強化	情報システム委員会及び全学情報システム改善化部会にて教育支援システム及びポータルサイト・メールシステムのリプレイスに向けた意見交換、システム要件の策定を実施した。 また、学生のPC利用環境の拡大(Office2011提供開始等)、学習支援サービスの拡充(eラーニングシステムを用いた獣医師・臨床検査技師・公害防止管理者の過去問題データベース拡張による国家試験問題対策支援等)、学術情報センターホームページサーバのコンテンツ強化等を実施した。	
5. 教育研究環境の整備	決算額	3,304
(1) 安全・良質な施設の構築	予算額 3,356	
① (仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館の建築	平成22年度末までに、工事出来高(累計)で80.3%の進捗率で、平成23年3月11日に起きた東日本大震災により、一部資材調達に遅延が生じたが、工事の進捗には大きな影響がなく、平成23年9月30日の竣工に向け計画どおり進んでいる。	
② 新キャンパス・マスタープランにおける第Ⅱ期事業の検討	新キャンパス・マスタープランの第Ⅱ期事業の検討については、平成22年7月に設置された「麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会」で取り扱うこととなった。具体的な検討については平成23年度に行う予定である。	

平成22年度事業計画	実施状況	
(2) 緊急連絡・安否登録確認システムの定着・高等学校生徒への適用	緊急連絡・安否登録確認システムの学生登録率は、86.8%(平成22年度末現在)となり、前年度より増加し、このシステムを活用した防災訓練も毎年定期的(5回)に行い定着化を図っている。また、高等学校生徒については、平成22年10月にシステムの運用を開始し、12月に第1回の防災訓練を実施した。	
(3) 労働安全衛生法に基づく学内適用の円滑化と適正運用	安全衛生管理規程が制定されたことに伴い、毎月1回の安全衛生委員会の開催と衛生管理者を中心とした職場の巡視を建物ごとに毎週1回行っている。職場の巡視を行う中で、安全衛生の確保、労働環境の改善等を図り、関係する委員会とも連携しながら職場における職員の安全の確保と健康の保持に努めている。	
6. 業務運営の改善・効率化	決算額	192
	予算額	266
(1) 法人運営の改善		
① 人事・給与制度改革案の推進	平成22年7月に設置された「学園の今後の在り方に関する委員会」において、長年懸案となっていた給与制度改革及び人事並びに労務管理に関する事項の検討を進めている。平成23年度は、委員会で答申を取りまとめ、その結果をもって改革の推進を図る。	
② 教学運営の再構築	教学運営の再構築については、平成22年7月に設置された「麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会」の中で検討を行うこととなった。具体的な検討については平成23年度に行う予定である。	
③ 合理的な資金・資産の運用管理	SMAの資産状況は、毎月開催の理事会において、運用報告を行っているほか、証券会社による勉強会などを開催し、投資環境等の把握に努めている。 また、資金については、四半期ごとに理事会において、収支報告を行っている。	
④ 競争的資金の適正管理	競争的資金を採択された研究者に向け、説明会を開催し、経費の適正執行に係る意識付けを行った。 また、物品の購入に当たっては、物品購買システムを導入することで透明性を確保する等、競争的資金等執行マニュアルに則り、総括管理責任者の下で、適正に執行した。	
⑤ 内部監査の効果的な実施	平成22年度は、前年度に引き続き動物病院及び高等学校の内部監査を実施し、前年度指摘の改善状況等の確認を行ったほか、新たに学術支援課及び財務課(管財担当)について内部監査を実施した。 今後は、学内全部局に関する年間計画を作成し、業務の適正・効率化に向けて、取り組む予定である。	
(2) 情報システムの再構築	安全かつ利便性の高い情報システムの維持と最適化に向けて、基幹事務システム及び教育支援システム及びポータルサイト・メールシステム(利用環境に適した情報機器・アプリケーションのリプレイス、機器二重化、ファイル大容量化等)の整備強化を実施した。ポータルサイト・メールシステムのリプレイスでは、コスト削減とユーザビリティの向上・両立を実現するメールクラウドサービス「Google Apps Education Edition」の「Gmail」を採用し、平成23年度から運用開始する。 また、業務改革の一環として業務の縮減及び効率化を目的とした事務局ホームページの技術支援を行った。	
(3) 事務改革の推進	①人財改革の推進 「事務職員研修概要」に基づき、主査、主任及び一般を対象とした職階別研修及びマナー・クレーム対応研修を実施し、職員の意識改革を図るとともに、希望者対象のパソコンスキルアップ研修を実施し、パソコンスキルの向上に取り組んだ。 ②業務改革の推進 業務改善の一環として、平成22年11月に「事務局ホームページ策定プロジェクトチーム」を組織し、第Ⅰ期として平成23年3月から経営企画課人事・労務担当に係る部分を開設した。今後、第Ⅱ期、第Ⅲ期と段階的に構築し運用する予定である。 また、同年11月には、事務職員による積極的な業務改善提案を促すため、「業務改善提案応募要領」を策定の上、「業務改善『目安箱』」を設けたところ、37件の業務改善提案があった。それらの内容については、精査・検討の上、可能なものから取り組むこととしている。	
(4) 創立125周年に向けた記念行事への取組準備	125周年を機に、これまでの学園のあゆみを振り返り、建学の精神を再認識させるとともに、学園のあるべき姿と今後の果たすべき役割を認識・浸透させ、未来につないでいく機会として、「創立125周年記念事業」を行うこと、その準備段階として、「創立125周年記念事業準備委員会」を設置(設置期間:平成23年5月26日から平成24年3月31日)することとした。	
	合計	決算額 8,532
		予算額 8,862

II-2. 教育研究の概要

(1) 平成22年度の教育実施体制

平成22年5月1日現在

①教員及び学生数

(人)

学部・学科等	教員									学生					
	大学設置基準上の教員数		常勤教員数		常勤教員の平均年齢	常勤教員の学位取得状況			非常勤教員数	入学定員	編入学定員	収容定員	学生数		
	総数	内 教授(学部) 内 研究指導教員 教授(院)	総数	内 教授(学部) 内 研究指導教員 教授(院)		博士	修士 (6年制含む)	学士							
獣医学部	獣医学科	19	10	53	17	49.6	51	2	0	47	120	—	720	939	
	動物応用科学科	10	5	19	10	48.9	19	0	0		120	—	480	558	
	基礎教育系	—	—	6	2	51.8	3	3	0		—	—	—	—	
	小計	—	—	78	29	—	73	5	0		47	240	—	1,200	1,497
環境保健学部	健康環境科学科	—	—	(11)	(6)	—	—	—	—	17	—	—	85	79	
	衛生技術学科	—	—	(17)	(7)	—	—	—	—		—	—	84	82	
	環境政策学科	—	—	(9)	(4)	—	—	—	—		—	—	100	105	
	教職・学芸員課程	—	—	(2)	(1)	—	—	—	—		—	—	—	—	
	小計	—	—	(39)	(18)	—	—	—	—		17	—	—	269	266
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	8	4	16	6	53.9	12	1	3	78	70	2年次 3年次	5 5	225	265
	食品生命科学科	8	4	13	6	53.5	13	0	0		70	2年次 3年次	5 5	225	260
	環境科学科	10	5	16	7	55.9	7	8	1		100	2年次 3年次	4 4	312	349
	教職・学芸員課程	2	1	2	1	44.0	2	0	0		—	—	—	—	—
	小計	—	—	47	20	—	34	9	4		78	240	2年次 3年次	14 14	762
大学設置基準上、大学全体に必要な教員数		26	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
学部計		83	43	125	49	—	107	14	4	142	480	2年次 3年次	14 14	2,231	2,637
大学院研究科	獣医学専攻博士課程	8	4	(40)	(15)	—	—	—	—	—	10	—	40	16	
	動物応用科学専攻 博士前期課程	6	3	(19)	(10)	—	—	—	—		12	—	24	54	
	動物応用科学専攻 博士後期課程	8	3	(19)	(10)	—	—	—	—		4	—	12	12	
	小計	22	10	—	—	—	—	—	—		—	26	—	76	82
	環境保健科学専攻 博士前期課程	12	4	(27)	(10)	—	—	—	—	2	7	—	14	18	
	環境保健科学専攻 博士後期課程	12	4	(21)	(10)	—	—	—	—		2	—	6	5	
	環境衛生政策専攻修士課程	3	2	(12)	(3)	—	—	—	—		7	—	14	1	
小計	27	10	—	—	—	—	—	—	2	16	—	34	24		
研究科計		49	20	(91)	(38)	—	—	—	—	2	42	—	110	106	
附属動物病院		—	—	6(1)	1(1)	45.0	4	2	0	—	—	—	—	—	
附置生物科学総合研究所		—	—	1(2)	(2)	44.0	1	0	0	—	—	—	—	—	
総合計		—	—	132	50	—	112	16	4	144	522	—	2,341	2,743	

②職員数

(人)

	常勤職員	非常勤職員	合計
麻布大学	70	68	138

- 【注】 1. ()は、兼務者を表す。
 2. 非常勤教員は、獣医学部、環境保健学部、生命・環境科学部、大学院、附属刈野辺高等学校を兼務するものを含む延べ人数である。
 3. 非常勤教員には、業務委託による講師を含む。
 4. 非常勤職員には、派遣職員を含む。

(2)教育に関する情報

①入学者の選抜

ア.麻布大学

各学部学科の「アドミッション・ポリシー(求める学生像)」に基づき、入学者選抜を行った。

【獣医学部】

<p>獣医学科 本学科の教育は、獣医師として高い倫理観を有し、高度な専門知識・技術を身に付けて社会に貢献できる人材を養成することを目的としているため、次のような人物を求めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人や動物、自然が好きの人 2. 獣医学に強い関心を持ち、獣医師となることについて明確な問題意識を持っている人 3. 学習意欲が旺盛で、獣医学を学ぶ上で必要な生物・化学など理科の素養を含む基礎学力が十分に備わっている人 4. 獣医師になるための情熱及び他者への思いやりと奉仕の心、高い倫理観を持っている人 <p>動物応用科学科 本学科の教育理念を理解し、自ら学ぶ姿勢を持ち、本学での学習を通して人間と動物と社会の接点で通用するキャリアを身に付け、動物応用科学の諸領域で活躍したいという強い意志と意欲を持った人物を募集する。なかでも次のような人物を求めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校までの基礎学力、特に生物・化学を含む理科の学力が十分にある人 2. 問題意識を持ちチャレンジ精神が旺盛である人 3. リーダーシップと協調性を有し、動物応用科学の社会的使命をよく認識している人
--

【生命・環境科学部】

<p>臨床検査技術学科 本学科の教育理念を十分に理解し、最後まで目標に向かって努力できる強い意志と意欲を持った次のような人を求めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床検査技師として医療分野において活躍したい人 2. 疾病の発症機序や病態について広く興味がある人 3. 臨床検査学を学ぶために必要な基礎学力(特に数学, 生物, 化学)を有する人 <p>食品生命科学科 高等学校までの中等教育で学んだ基礎学力、特に化学, 生物, 英語の学力を有し、次のような人を求めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学科の教育理念を理解するとともに、食品に関する問題とその改善に強い関心を持っている人 2. 自ら考えて問題解決に積極的に挑戦する意欲を持った人 3. 食の安全・安心確保の見地から、正義感と責任感にあふれている人 <p>環境科学科 高等学校までの中等教育で学んだ化学, 生物, 国語, 英語の基礎学力を有し、次のような志向を持つ人を求めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境問題に強い関心がある人 2. 環境改善にチャレンジしようと考えている人 3. 環境の科学について学習意欲がある人 4. 環境科学科の教育理念, 教育方針, 教育内容等を理解し、自然科学的立場あるいは社会科学的立場から環境問題の解決に貢献したいとの強い意欲を持っている人
--

◇ 獣医学部

(人)

学部	区分 学科等	募集 人員	平成23年度												平成22年度	平成21年度		
			志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計		
学 部	獣 医	推薦等	33	92	134	226	92	133	225	11	30	41	11	30	41	254	317	
		一般	75	856	643	1,499	799	627	1,426	85	82	167	60	46	106	1,484	1,677	
		センター 利用	12	140	118	258	140	118	258	27	25	52	2	0	2	225	265	
		計	120	1,088	895	1,983	1,031	878	1,909	123	137	260	73	76	149	1,963	2,259	
	医 学	動物応用科	推薦等	45	27	102	129	27	102	129	10	46	56	10	46	56	101	144
			一般	50	179	267	446	170	255	425	43	83	126	34	32	66	414	500
			センター 利用	25	88	166	254	88	165	253	27	74	101	8	14	22	205	263
			計	120	294	535	829	285	522	807	80	203	283	52	92	144	720	907
	部	合 計	推薦等	78	119	236	355	119	235	354	21	76	97	21	76	97	355	461
			一般	125	1,035	910	1,945	969	882	1,851	128	165	293	94	78	172	1,898	2,177
センター 利用			37	228	284	512	228	283	511	54	99	153	10	14	24	430	528	
		240	1,382	1,430	2,812	1,316	1,400	2,716	203	340	543	125	168	293	2,683	3,166		

◆獣医学部編入学

(人)

学部	区分 学科	募集人員	平成23年度												平成22年度	平成21年度
			志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計
獣医学部	獣医	若干名	46	39	85	45	39	84	2	4	6	2	4	6	70	57
	動物応用科	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	合計	若干名	46	39	85	45	39	84	2	4	6	2	4	6	71	59

◇生命・環境科学部

(人)

学部	区分 学科等	募集人員	平成23年度												平成22年度	平成21年度	
			志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計	
生命・環境科学部	臨床検査技術	推薦等	15	8	24	32	8	24	32	4	23	27	4	23	27	40	48
		一般	50	155	276	431	149	261	410	30	76	106	18	41	59	385	509
		センター利用	5	47	107	154	47	107	154	11	31	42	1	3	4	144	202
		計	70	210	407	617	204	392	596	45	130	175	23	67	90	569	759
	食品生命科	推薦等	20	15	16	31	15	16	31	15	16	31	15	16	31	28	25
		一般(I期)	45	156	144	300	151	136	287	42	65	107	22	24	46	253	248
		一般(II期)	若干名	7	3	10	7	3	10	2	3	5	1	2	3	11	13
		センター利用(I期)	5	74	101	175	74	101	175	25	43	68	5	3	8	191	217
		センター利用(II期)	若干名	4	6	10	4	6	10	1	4	5	1	1	2	10	19
		計	70	256	270	526	251	262	513	85	131	216	44	46	90	493	522
環境科	推薦等	30	23	13	36	23	13	36	23	12	35	23	12	35	30	54	
	一般(I期)	55	141	77	218	132	72	204	81	37	118	35	21	56	146	212	
	一般(II期)	5	10	3	13	10	3	13	7	1	8	4	2	6	15	12	
	センター利用(I期)	5	129	67	196	129	67	196	74	44	118	17	9	26	178	191	
	センター利用(II期)	5	11	4	15	11	4	15	7	2	9	4	1	5	21	18	
	計	100	314	164	478	305	159	464	192	96	288	83	45	128	390	487	
学部合計	推薦等	65	46	53	99	46	53	99	42	51	93	42	51	93	98	127	
	一般(I期)	150	452	497	949	432	469	901	153	178	331	75	86	161	784	969	
	一般(II期)	5	17	6	23	17	6	23	9	4	13	5	4	9	26	25	
	センター利用(I期)	15	250	275	525	250	275	525	110	118	228	23	15	38	513	610	
	センター利用(II期)	5	15	10	25	15	10	25	8	6	14	5	2	7	31	37	
	計	240	780	841	1,621	760	813	1,573	322	357	679	150	158	308	1,452	1,768	

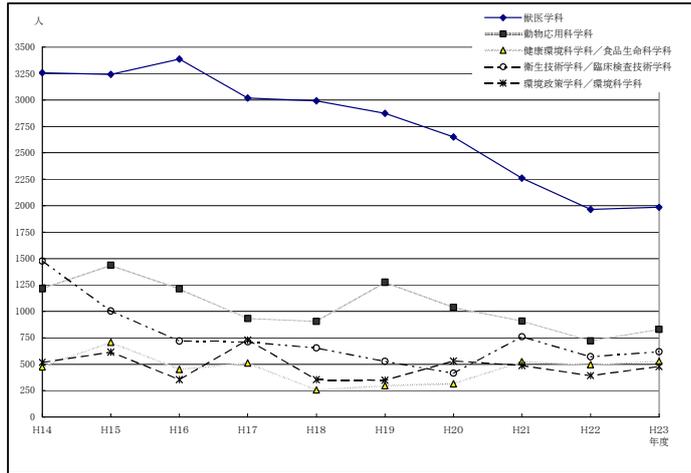
◆生命・環境科学部編入学

(人)

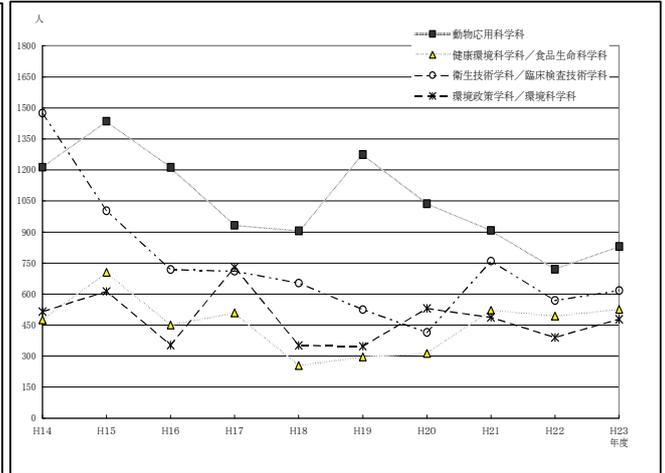
学部	区分 学科等	募集人員	平成23年度												平成22年度	平成21年度	
			志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計	
生命・環境科学部	2年次	臨床検査技術	5	1	2	3	1	2	3	0	1	1	0	1	1	4	3
		食品生命科	5	3	1	4	3	1	4	2	1	3	2	1	3	2	3
		環境科	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
		小計	14	4	3	7	4	3	7	2	2	4	2	2	4	8	6
	3年次	臨床検査技術	5	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
		食品生命科	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
		環境科	4	3	1	4	3	1	4	3	1	4	3	1	4	2	2
		小計	14	4	1	5	4	1	5	3	1	4	3	1	4	4	5
合計	28	8	4	12	8	4	12	5	3	8	5	3	8	12	11		

【麻布大学 志願者数の推移】

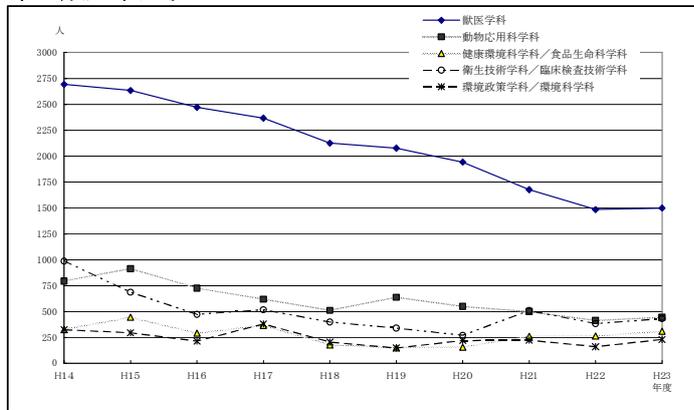
◇麻布大学入学試験[推薦等・一般・センター利用]



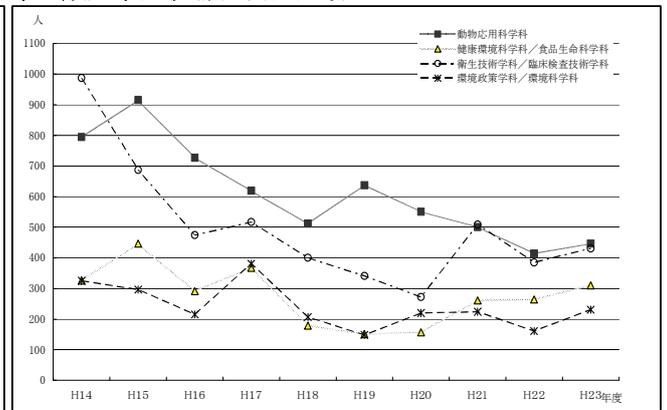
◇麻布大学(獣医学科を除く。)入学試験[推薦等・一般・センター利用]



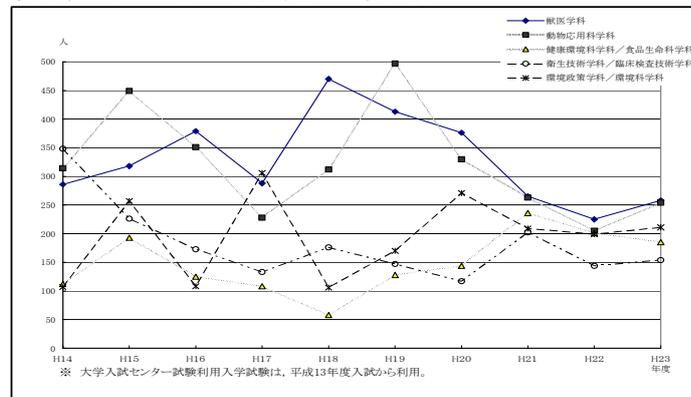
◇一般入学試験



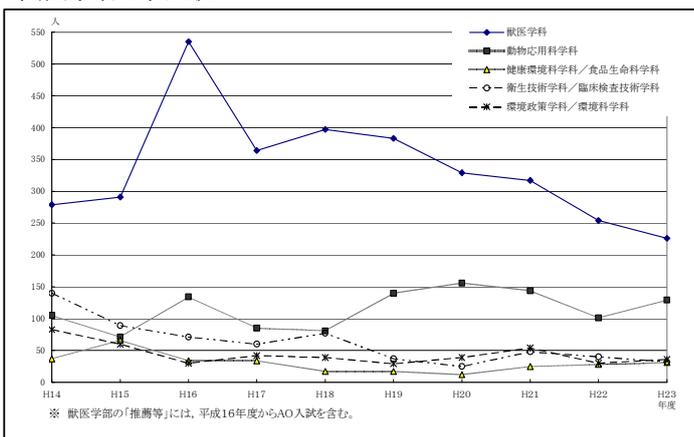
◇一般入学試験(獣医学科を除く。)



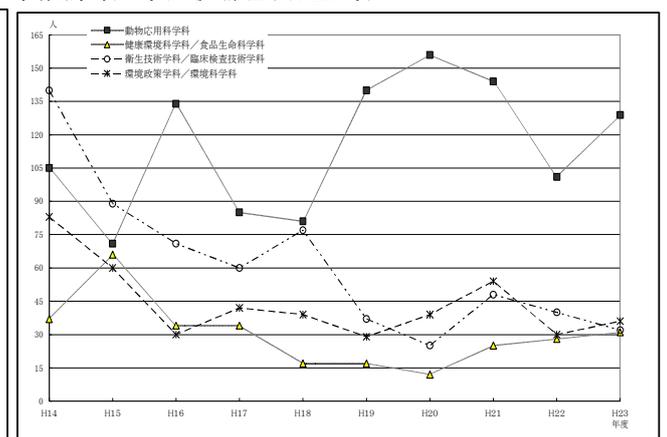
◇大学入試センター試験利用入学試験



◇推薦等入学試験



◇推薦等入学試験(獣医学科を除く。)



イ. 麻布大学 大学院

各研究科・専攻の「アドミッション・ポリシー(求める学生像)」に基づき、入学者選抜を行った。

【獣医学研究科】

獣医学専攻 博士課程

獣医学専攻博士課程では、より高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 獣医学に関連する諸科学の基礎知識を持ち、かつ国際的な視点を持ち合わせている人
2. 獣医学に関する新たな知識の創造及び新技術の開発に取り組み、それによって人類と動物の健康維持に貢献しようとする意識のある人
3. 獣医学にとどまらず、新たな学際的な研究領域に対しても果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

動物応用科学専攻 博士前期課程

博士前期課程(修士課程)では、人と動物の健康社会を科学する高度な専門性職業人の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 学部の専門にかかわらず、人と動物の健康を科学する動物応用科学の基礎となる生物学、化学の基礎知識を持ち、かつ国際化に対応できるだけの語学力を備えている人
2. 動物応用科学に強い関心を持ち、新しい知識の吸収意欲があり、かつそれらの知識を科学的発見及び問題解決に結びつけようとする意識のある人
3. 動物応用科学の社会的使命をよく認識し、リーダーシップと協調性を持って問題解決に果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

動物応用科学専攻 博士後期課程

博士後期課程では、博士前期課程で修得した広い視野に立って、より高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者の養成を目指す。そのために次のような人物を求めている。

1. 動物応用科学に関連する諸科学の基礎知識を持ち、かつ国際的な視点を持ち合わせている人
2. 動物応用科学に関する新たな知識の創造及び新技術の開発に取り組み、それによって人類と動物の福祉、社会の平和、生物としての共生並びに文化の進展に貢献しようとする意識のある人
3. 動物応用科学にとどまらず、新たな学際的な研究領域に果敢に挑戦しようとする意欲を持っている人

【環境保健学研究科】

環境保健科学専攻 博士前期課程

博士前期課程では、国の内外を問わず、またこれまでの大学・学部での専攻学科にとらわれず高い基礎学力と、将来に対する明確な目標とそれぞれの各研究分野に対して強い興味を持った人物を求めている。

1. 環境保健科学に強い関心を持ち学習意欲に富んだ人
2. 社会人等でこれらの分野にかかわる業務に就いている人

環境保健科学専攻 博士後期課程

博士後期課程では、8つの専門分野あるいは関連する研究分野で修士号を取得した者又は取得見込みの者を求めている。

1. 高度な研究者、技術者あるいは統括指導者として活躍したい人
2. 社会人等でこれら分野にかかわる業務に就いている人

環境衛生政策専攻 修士課程

大学までに学んだ様々な分野の知見を踏まえて、更に環境衛生に関する専門的知見を身に付け社会全体の環境衛生レベルの向上について取り組みたい人物を求めている。

1. 人間社会にとって、人の健康と環境保全に関する、最も身近な政策である環境衛生政策に強い関心のある人
2. 自然科学・社会科学・人文科学など学問の全分野と深くかかわった政策を検討しようとする意欲を持っている人

◇ 獣医学研究科

(人)

研究科	区分 専攻	募集人員	平成23年度												平成22年度	平成21年度	
			志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計	
獣	獣医学専攻 博士課程	1期	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2
		2期	若干名	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	4	1
		小計	10	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	8	3
医	動物応用 科学専攻 博士前期課程	1期	12	17	27	44	17	27	44	14	21	35	12	19	31	32	36
		2期	若干名	3	5	8	3	4	7	3	4	7	3	4	7	4	11
		小計	12	20	32	52	20	31	51	17	25	42	15	23	38	36	47
学	動物応用 科学専攻 博士後期課程	1期	4	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	5
		2期	若干名	3	1	4	3	1	4	3	1	4	3	1	4	1	3
		小計	4	4	1	5	4	1	5	4	1	5	4	1	5	2	8
合計			26	24	34	58	24	33	57	21	27	48	19	25	44	46	58

◇ 環境保健学研究科

(人)

研究科	区分 専攻	募集人員	平成23年度												平成22年度	平成21年度	
			志願者			受験者			合格者			入学者			志願者	志願者	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	計	計	
環	環境保健 科学専攻 博士前期課程	1期	7	3	3	6	3	3	6	3	3	6	3	2	5	9	6
		2期	若干名	4	0	4	4	0	4	2	0	2	2	0	2	2	5
		小計	7	7	3	10	7	3	10	5	3	8	5	2	7	11	11
保	環境保健 科学専攻 博士後期課程	1期	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	2
		2期	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		小計	2	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	4
学	環境衛生 政策専攻 修士課程	1期	7	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	0	0
		2期	若干名	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0
		小計	7	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	1	0
合計			16	10	4	14	10	4	14	8	4	12	8	3	11	12	15

*環境保健科学専攻博士前期課程(第1期)合格者のうち、平成22年度10月入学希望者(女性1人)は、平成23年度入学者数に含まれていない。

②教育課程

ア. 麻布大学

各学部学科の「カリキュラム・ポリシー(教育の実施に関する基本的な方針)」に基づき、教育を実施した。

【獣医学部】

獣医学科

本学科の教育理念・目的に基づき、以下のような特徴あるカリキュラムとなっている。

1. 初等年次では、教養から基礎獣医学まで幅広い知識や倫理観を身に付けるために基礎系教員と獣医学系教員の協力による総合的なカリキュラムの設定や選択科目を増やした学生の自主性を尊重したカリキュラムを設定している。
2. 中等年次では、基礎獣医学から臨床獣医学、応用獣医学まで獣医師として必要な要素を身に付けるために獣医学系教員による専門的なカリキュラムを設定している。このため専門教育を基礎獣医学系、病態獣医学系、生産獣医学系、臨床獣医学系及び環境獣医学系の5系のカテゴリーに分け、系内及び系外教員との協力体制の下に教育を展開している。
3. 高等年次では、小動物臨床獣医師、産業動物臨床獣医師あるいは公衆衛生獣医師などの獣医師としての専門性を身に付け、実践力を体得するためのカリキュラムを設定している。
4. 獣医師として、社会に巣立つための獣医師ライセンスの取得を目的とした獣医師国家試験対策のために、専門教育5系に属する獣医学系全教員の連携による総合的なカリキュラムを設定している。

動物応用科学科

動物生命科学コースでは、分子、細胞、組織、器官、個体及び生態系と様々な段階における生命現象について、その機能を解析し、動物資源の利用・開発とその保全・増殖並びに人と動物に対する安全の観点から学際的な分野を含む広範な動物生命科学の総合的な知識と技術、バイオテクノロジーの多様な応用領域について幅広い知識と技術を身に付けた人材の育成を目標とする。

動物人間関係学コースでは、自然科学と人文科学・社会科学の境界領域の学問分野として、すべての動物を対象に人と動物のより良い関係を学び、動物と人の健康・福祉・教育への貢献、また人と野生動物とのより良い関係及び野生動物の生息地管理などについて幅広い知識を備えた人材の育成を目標とする。

このような基本方針に基づき、以下のような特徴あるカリキュラムを用意した。

1. 初年次教育から卒業時まで在学期間全体を通して、社会人・職業人として必要な知識・技術の習得が可能となるようにキャリア形成科目を各年次に計画的に配分した。
具体的には、人文科学・社会科学など一般教養や英語を主とした語学力並びにコミュニケーション能力、情報処理能力などである。
2. 動物科学の基礎学力の向上を起点とし、2年次までに動物応用科学が目指す人間社会と動物とのより良い共生につながる幅広い教育科目群を配当した。
1年次前期から生物学、化学、生態学などの科目配当で基礎学力を身に付け、その後段階的に専門基礎科目を配当し、動物の形態と機能、動物の特性及び基本的な病態について教育する。
また、本学科の全教員による動物応用科学概論、基礎ゼミなどを通じて、動物応用科学の広がり認識し、その中で自らの修学意欲を高める教育を行っている。
3. 3年次以降においては、拡大・深化した動物応用科学の諸領域を動物の生命活動とその資源の利用・開発にかかわる動物生命科学コースと、人と動物のより良き共生関係を目指す動物人間関係学コースの2コースの教育科目を設けた。
動物生命科学コースでは、遺伝子から、細胞、組織・臓器、微生物、個体、群集、生態系までの種々の段階における生命現象を、保全・増殖、機能解析、利用・開発並びに人と動物に対する安全の観点から、分子から個体までの多様なレベルで総合的に学ぶ。
動物人間関係学コースでは、伴侶動物、介在動物、野生動物を対象に、人の福祉や教育の現場に活用できるような、これらの動物の特性とその応用及び人と動物と環境の共生について総合的に学ぶ。
4. 4年次には、卒業論文や専門ゼミによってそれぞれの領域における動物応用科学の専門性の追求と、それを基礎とした人間社会への貢献の在り方を学ぶ。
具体的には、社会最先端の実験手法、それを基にした動物機能性製品や新たな動物飼育法、社会調査、フィールド・ワークの実場面を体験し、そのデータ解析やレポート作成などを通じて、最新の研究情報を社会へ発信する能力、逆に社会ニーズに対応するための問題発見・解決能力を兼ね備える人材の教育を目指す。

【生命・環境科学部】

臨床検査技術学科

本学科の教育理念と教育目標を具体化したカリキュラムは、「臨床検査技師学校養成所指定規則」第2条第3号に規定されている「臨床検査技師養成教育」に必要な専門科目80単位を基本とし、これに本学科独自の科目を加えて構成されている。すなわち、高い倫理観を養うための生命倫理学、科学英語論文を理解するための基礎科学英語や医学英語を取り入れた教養科目、及び疾病並びにチーム医療を理解させるための医学系科目や介護学、看護学概論を配当した。さらに、履修した科目の内容を総合的に理解させるとともに、早い時期から国家試験を意識させ、合格率を高めるために、教育の進行に合わせて総合臨床検査学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ(合計15単位)を開講する。

1. 1～2年次において教養科目20単位(必修16単位、選択4単位)の他、解剖学、組織学、生理学、微生物学、生化学、病理学、免疫学、衛生・公衆衛生学などの専門基礎科目51単位(必修)及び病理組織細胞学、医動物学、検査管理総論、RI検査技術学などの専門科目13単位(必修)を配当し、基礎学力並びに専門基礎学力を身に付ける。
2. さらに、3～4年次において臨床病理学、臨床血液学、臨床化学、臨床微生物学、臨床免疫学、臨床生理学などに加えて、内科学概論などの医学系科目を含め、専門科目59単位(必修53単位、選択6単位)を配当し、臨床検査技師教育の専門分野を展開する。
3. 卒業論文(6単位)は、2～4年次の3年間で履修させる選択科目とした。これは、学生を各研究室に所属させ、研究テーマの決定、研究活動に必要な知識と実験手技の習得、文献の講読、実験の実施、データの解析・考察法、論文作成などを通して、問題に取り組む能力、必要な最新の情報を収集する能力及びプレゼンテーション能力など社会で要求される幅広い能力を身に付ける。

食品生命科学科

本学科の教育目標を達成するためのカリキュラムの設定方針としては、次のようなカリキュラム(教育課程)を組み立てている。

1. 高等学校までの基礎学力があることを前提として、1年次前期に生物学、有機化学などの自然科学系科目を配当する。また、1年次前期から専門基礎科目を配当し、食の安全及び生命科学について学ぶ専門基礎学力を育成する。一方、学生の学習意欲を増進させるために、1年次前期に社会の第一線で活躍する企業人などによる各専門分野のエキスパートを講師としたフード・バイオビジネス概論及び専門教育を担当する教員による食環境論などの導入科目を配当する。さらに、学生として必須の自学自習の習慣付けの強化、資料の読解とレポート作成能力を強化するために基礎科目の実習も1年次前期より配当し、さらにローテーション方式による少人数のプレ専門ゼミを1年次後期に配当する。
2. 社会人・職業人として最低限必要な教養とスキルの修得については、1年次から2年次にかけての人文科学、社会科学などの一般教養、食生活と健康科学等を通して、多面的・倫理的に物事を考察できる能力が身に付くように配慮している。また、1年次から2年次にわたり、英語を主とした語学力の向上を図るとともに情報処理及びデータ解析能力の基礎を身に付ける。
3. 2年次以降においては、食の安全及びバイオの科学コースの2コースを設けて、それぞれのコースにおいて専門教育を十分に展開する。2コースに共通する科目は専門共通科目群として2、3年次に配当する。
4. 4年次には、専門ゼミや卒業論文に取り組むことより、食品生命科学領域の深さと広がり認識し、最新の必要情報を収集する能力と問題発見・解決能力及びプレゼンテーション能力を身に付ける。

環境科学科

持続可能な社会の担い手を養成するために、以下のポリシーに従ってカリキュラムを編成している。

1年次には、教養科目・基礎専門科目として経済学・社会学・法学などの社会科学の基本的な科目を置くほか、大気環境学、水環境学、土壌環境学、廃棄物リサイクル論などの環境の基礎に関する科目を配置する。また、コース選択の指針を与える環境科学概論を配置し、1年次終了時点で適切なコース選択が行えるよう配慮する。

2年次以降のコース別教育では、次のような教育カリキュラムを編成している。

「環境技術コース」

1. 2年次に、水質衛生学、食品衛生学などの保健衛生に関する科目、機器分析化学、病原微生物学など、環境に悪影響を及ぼす因子やその分析に関する科目などを配置して、「環境の分析・調査能力」を養成する。
2. 3年次には、化学物質毒性評価学、農薬化学、環境リスク評価論など環境の評価に関する科目を配置し、分析結果に基づいて「環境の質を評価」する能力を養う。
3. 2年次後期から3年次後期にかけて、化学物質管理学、衛生管理学、水質汚染制御学、水処理工学・同演習など環境の維持・改善及び環境管理に関する科目を配置し、「環境の保護・保全に必要な技術やシステムを提案」できる能力を高める。
4. 4年次では卒業論文の完成とその発表を通して、情報の整理、伝達、プレゼンテーションの能力を培う。

「環境と社会コース」

1. 2年次に、環境社会学、環境統計学、社会調査法などを配置し、「環境の社会的分析・調査に必要な能力」を養成する。
2. 3年次には環境影響評価論、リスクコミュニケーション論、環境管理論などを配置し、「社会調査等に基づく環境の質の評価手法」や「環境の維持・改善のための対策立案」する能力を養う。
3. 2、3年次には、まちづくり論、ピオトープ論、市民環境活動論、都市計画論、エネルギー環境論など、持続可能性の観点から社会を分析・評価し、政策を提言する方法論を学ぶ。さらに「使える英語」教育の徹底を図り、グローバル化した社会における新しいライフスタイルの確立に向けた実践的なコミュニケーション能力を高める。
4. 4年次では卒業論文の完成とその発表を通して、情報の整理、伝達、プレゼンテーションの能力を培う。

イ. 麻布大学大学院

各研究科・専攻の「カリキュラム・ポリシー(教育の実施に関する基本的な方針)」に基づき、教育を実施した。

【獣医学研究科】**獣医学専攻 博士課程**

1. 獣医学に関する専攻科目の専門的知識を、各専攻科目に配当された授業科目の講義、演習並びに実験・実習により習得させる。
2. 各研究室において、それぞれの指導教員との討論の基、自ら主体的に各分野の先端的な研究課題に取り組み、博士論文としてまとめる。これにより、課題解決方法、論理的思考、発展的な課題設定方法についてより深く学ばせる。
3. 研究成果を学内の課程博士論文中間発表会及び論文発表会で発表させるとともに、国内外の学会及び学術誌において発表することを支援する。これにより、日本語のみならず、英語を始めとする外国語でのプレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。また、対外的な評価を受けることで、自己の研究能力を客観的に評価する機会を与える。

動物応用科学専攻 博士前期課程

1. 動物応用科学に関する専攻科目の専門的知識を、各専攻科目に配当された授業科目の講義、演習並びに実験・実習により習得させる。
2. それぞれの指導教員の下、研究指導を受けながら研究課題に積極的に取り組み、修士論文としてまとめる。これにより、科学的な課題設定方法、論理的思考、各分野の先端的知識及び実験手法について学ばせる。
3. 研究成果を学内の課程修士論文中間発表会及び論文発表会で発表させるとともに、学外の学会等において発表することを支援する。これにより、プレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。

動物応用科学専攻 博士後期課程

1. それぞれの指導教員との討論のもと、自ら主体的に各分野の先端的な研究課題に取り組み、博士論文としてまとめる。これにより、課題解決方法、論理的思考、発展的な課題設定方法についてより深く学ばせる。
2. 研究成果を学内の課程博士論文中間発表会及び論文発表会で発表させるとともに、国内外の学会及び学術誌において発表することを支援する。これにより、日本語のみならず、英語を始めとする外国語でのプレゼンテーション及び質疑応答能力を養わせる。また、対外的な評価を受けることで、自己の研究能力を客観的に評価する機会を与える。

【環境保健学研究科】**環境保健科学専攻 博士前期課程**

1. 8つの専門分野のいずれかに所属し、必修科目として開講されている授業科目の講義、実験及び実習により、その専門分野の基礎となる幅広い知識を修得する(22単位)。
2. 他の専門分野の講義を4単位及び共通科目として開設されている「科学英語」(ネイティブスピーカーが担当)及び「科学者・研究者論」を含め8単位を修得させる(合計30単位)。
3. 授業科目の修得を通じて、環境保健科学分野の幅広い基礎知識を習得させる。
4. 授業科目を2年間で修得するとともに、修士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副研究指導教員を決定し、3人の指導教員による総合的で綿密な指導を行う。

環境保健科学専攻 博士後期課程

1. 各専門分野及び環境保健科学分野の基礎となる幅広い知識を土台に、更に高度な専門的知識を習得させる。
2. 所属する専門分野の「特別演習」及び「特別実験」を3年間にわたって履修させる(合計12単位)。
3. 授業科目の修得を通じて、高度で専門的な博士(学術)にふさわしい学識を習得させる。
4. 授業科目を3年間で修得させるとともに、博士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副指導教員を決定し、3人の指導教員による総合的で綿密かつ高度な研究指導を行う。

環境衛生政策専攻 修士課程

1. 環境衛生政策を立案するために必要な自然科学的知識、社会科学的知識及び人文科学的知識にかかわる授業科目の講義及び演習により習得させる(合計30単位)。
2. 世界の最新情報を身に付けるためのネイティブ教員による科学英語を開講する。
3. これらの学問を2年間で修得し、修士論文を完成させるために入学後、早期に1人の研究指導教員及び2人の副研究指導教員を決定し、3人の指導教員による綿密な指導を行う。
4. 研究成果を学内の課程修士論文中間発表会で発表させるとともに、大学院を担当する全教員による総合的指導を行う。

③学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準

ア. 麻布大学

◇ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標), 必要単位修得数及び取得可能学位

【獣医学部】

獣医学科

本学科の定められた教育課程を修了することで、次のような人材が育成されることを目標とする。

1. 獣医師としての専門分野の学問内容についての知識を習得している。
2. 獣医師として、臨床・予防衛生・公衆衛生に対応できる専門家としての実践能力を習得している。
3. 獣医師としての高い倫理観を有し、高度な専門職業人として責任をもった行動をとることができる。
4. 獣医師である高度な専門職業人として、課題発展能力・問題解決能力を習得し、獣医療の進歩や生命科学に関する社会のニーズの変化に、持続的に対応できる柔軟さと学習意欲を持つ。

動物応用科学科

本学科の定めた教育課程に在籍し、本学科の教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を履修し、基準となる単位数を修得することが学位授与の要件である。修得すべき授業科目には、講義科目のほか、演習や実習、フィールド・ワークや卒業論文作成等の科目が含まれる。この卒業要件を満たすことで、次のような人物が育成されることを目標とする。

1. 社会から求められる幅広い知識、教養と高い社会倫理を習得した人物
2. 社会から求められる語学力、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力を習得した人物
3. 動物応用科学の領域の特性、その社会的責任、また動物応用科学の知識と技術を基に人間社会への貢献に寄与する人物
4. 動物応用科学における最新の科学技術に立脚した生命科学と社会の発展に貢献する、論理的で科学的な思考を習得した人物

獣医学科(平成22年度入学者)

区分	単位数
基礎科目	
必修	5
選択必修	12
選択	23
専門科目	
必修	135
※選択	7
計	182

※1・2年次相当の選択科目から4単位以上、
3年次以上相当の選択科目から3単位以上

取得可能学位 学士(獣医学)

動物応用科学科(平成22年度入学者)

区分	単位数
基礎教育科目	
必修	24
選択必修	6
選択	5
専門教育科目	
必修	63
※選択	26
計	124

※ただし、専門共通科目群及び専攻するコース科目に配当された専門ゼミを除く選択の演習・実習から7単位以上を含む。

取得可能学位 学士(動物応用科学)

【生命・環境科学部】

臨床検査技術学科

本学科は、次のような能力・知識を有する卒業生を輩出する。

1. 臨床検査技師国家資格を取得できる学力
2. 医療従事者としての高い倫理観
3. 各種の疾患を理解し、疾患と臨床検査成績との関連性を深く把握できる能力
4. チーム医療を理解し、実践できる能力
5. 自分の考えを論理的に口頭発表したり、記述できる総合的能力(卒業論文を通して)

上記の能力・知識の習得について、定期試験・追再試験などを行い、厳格な単位認定を行う。また、必修科目133単位、選択科目10単位の計143単位を卒業要件とし、これを修得した者に対して卒業認定を行う。

食品生命科学科

本学科では、多くの実習・演習を通じて、食品衛生学・食品生命科学分野の諸領域における幅広い知識と専門技術に加え、高度なバイオ技術を用いた研究方法を修得し、以下のとおり、社会で活躍できる人材の育成を目指している。そのための卒業要件として、基礎科目と専門教育科目からそれぞれ19単位及び105単位、合計124単位以上を修得することが義務付けられていて、目標を達成した学生に対して単位を認定する。

1. 生物学的及び化学的な分析の知識・技術に精通し、得られた実験・調査成績に基づいて適切な評価・解決策を講じられる。
2. 食の安全・安心分野でリーダーシップを発揮し、問題の追求と解決に情熱を持って取り組む。
3. 広い識見と創造性に富み、人の健康にかかわる専門分野で実践・活躍できる実力を身に付ける。

環境科学科

卒業要件として、環境技術コースでは必修95単位、選択29単位以上、環境と社会コースでは必修66単位、選択58単位以上、合計124単位以上の修得を義務付けている。これらの単位の認定に当たって、それぞれの科目担当者は、学生の学力を十分考慮しつつ一定レベルの到達目標を定め、その目標に達した学生にのみ単位を与えることとしている。

本学科の教育課程は次のような人材の育成を目標としている。

1. さまざまな環境問題に遭遇した時に、その問題の本質がどこにあるのかを自然科学的あるいは社会科学的に正しく捉えることのできる問題発見能力と問題解決能力を身に付ける。
2. 環境技術コース履修者にあつては、対象となる環境の理化学的、生物的分析・評価と環境の維持・改善のための技術的な提案を通して、社会に貢献できる。
3. 環境と社会コース履修者にあつては、社会科学的な視点に立って、環境問題に対する政策的な立案と実践を通して、社会に貢献できる。

臨床検査技術学科(平成22年度入学者)

区分	単位数
必修科目	133
選択科目	10
教養科目	4
専門科目	6
計	143

取得可能学位 学士(保健衛生学)

食品生命科学科(平成22年度入学者)

区分	単位数
必修科目	114
選択科目	10
基礎・教養科目	4
専門科目	6
計	124

取得可能学位 学士(保健衛生学)

環境科学科(平成22年度入学者)

コース	区分	単位数
環境技術 コース	必修科目	95
	選択科目	29
	教養科目	10
	専門科目	19※
	計	124
環境と社会 コース	必修科目	66
	選択科目	58
	教養科目	18
	専門科目	40
	計	124

※19単位のうち、6単位以上を4年次に修得すること。

取得可能学位 学士(環境科学)

イ. 麻布大学大学院

◇ディプロマ・ポリシー(修了時の到達目標)及び必要単位修得数及び取得可能学位

【獣医学研究科】**獣医学専攻 博士課程**

1. 博士課程にあつては、所定の修業年限である4年以上在学し、必修20単位、選択10単位計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、かつ博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に、博士(獣医学)の学位を与える。
2. ただし、博士課程に3年以上在学し、定められた授業科目につき課程修了必要単位を修得し、かつ、特に優れた研究業績を上げ、指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し、博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修業年限の特例により博士(獣医学)の学位を与える。
3. また、博士課程修了にあつては、以下の水準に到達していることを目安とする。
 - 1) それぞれの専門領域における高度な学識(専門的知識と見識)並びに研究技術を習得している。さらに、その学識と研究技術に基づいて独自に課題を設定し、それを解決・展開できる能力を身に付けている。
 - 2) 必要に応じて他の研究者及び研究機関との連携を図ることができる能力を身に付けている。
 - 3) 研究成果を国際的に公表するために必要な英語でのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力及び論文作成能力を身に付けている。

上記3点の能力を通じて、獣医学における高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者として社会に貢献できるようにする。

動物応用科学専攻 博士前期課程

1. 博士前期課程(修士課程)にあつては、所定の修業年限である2年以上在学し、必修・選択両科目を併せて30単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、かつ修士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に、修士(動物応用科学)の学位を与える。

2. ただし、博士前期課程(修士課程)に1年以上在学し、所定の課程修了必要単位数を修得し、かつ特に優れた研究業績を上げ、指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し、修士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修業年限の特例により修士(動物応用科学)の学位を与える。
3. 博士前期課程(修士課程)修了に当たっては、以下の水準に到達していることを目安とする。
 - 1) 動物、微生物などに由来する遺伝子、細胞、タンパク質などの機能解析とその応用、食品科学における危険要因の低減、除去及び生理活性マテリアルとしての環境改善への応用、更に「健康な動物」の持つ機能の人間生活への活用、野生動物の保全・人間社会との軋轢の軽減などの研究領域に関する高度な専門知識を習得している。
 - 2) それぞれの専門領域における科学的な課題設定方法、論理的思考、各分野の先端的知識の収集及び実験手法など基本的な研究技術を習得している。
 - 3) それぞれの研究成果を学会等において公表するために必要なプレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を身に付けている。

動物応用科学専攻 博士後期課程

1. 博士後期課程にあつては、所定の修業年限である3年以上在学し、必修科目12単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、かつ博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者に、博士(学術)の学位を与える。
2. ただし、博士後期課程に2年以上在学し、所定の課程修了必要単位数を修得し、かつ特に優れた研究業績を上げ、指導教員を含む3人以上の本研究科委員会委員が推薦し、博士論文を提出した者について行う学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、修業年限の特例により博士(学術)の学位を与える。
3. 博士後期課程修了に当たっては、以下の水準に到達していることを目安とする。
 - 1) それぞれの専門領域における高度な学識(専門的知識と見識)並びに研究技術を習得している。さらに、その学識と研究技術に基づいて独自に課題を設定し、それを解決・展開できる能力を身に付けている。
 - 2) 必要に応じて他の研究者及び研究機関との連携を図ることができる能力を身に付けている。
 - 3) 研究成果を国際的に公表するために必要な英語でのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力及び論文作成能力を身に付けている。
4. 上記3点の能力を通じて、人と動物の健康社会に貢献する高度な専門性を持つ職業人、研究者及び教育者としての資質を備えている。

獣医学専攻 博士課程

区分	単位数
必修 *1	20
選択 *1	10
計	30

取得可能学位 博士(獣医学)

- *1 授業科目のうち、自己の属する専攻科目の特論、特別演習及び特別研究(計20単位)を必修とし、他の専攻科目の授業科目から10単位以上を選択し、合計30単位以上を履修する。

動物応用科学専攻 博士前期課程

区分	単位数
必修 *2	26
選択 *2	4
計	30

取得可能学位 修士(動物応用科学)

- *2 授業科目のうち、自己の属する専攻科目の特別演習及び特別研究はすべて必修(24単位)とし、講義については自己の属する専攻科目の2単位(必修)を含む6単位以上を選択し、計30単位以上を履修する。

動物応用科学専攻 博士後期課程

区分	単位数
必修 *3	12
計	12

取得可能学位 博士(学術)

- *3 授業科目のうち、自己の属する専攻科目の特別演習及び特別研究(計12単位)を必修とする。

【環境保健学研究科】

環境保健科学専攻 博士前期課程

1. 博士前期課程にあつては、高い倫理観を養うとともに、コメディカルな分野に新しいバイオテクノロジーを導入した臨床検査技術学と生命科学及び環境科学にかかわる諸問題を解明する基礎的かつ応用的能力を身に付けて修了させる。
2. 高度な専門知識と技術を備えた有能な中堅研究者、技術者又は統括指導者を育てる。
3. 教育研究職等で活躍できる能力を持った人材を養成する。

環境保健科学専攻 博士後期課程

1. 博士後期課程にあつては、独創性の高い研究能力を培い、関連する分野で自立した研究者、技術者又は統括指導者になる能力を身に付けて修了させる。
2. 自立した研究者、技術者又は指導者として活躍できる人材を養成する。

環境衛生政策専攻 修士課程

1. 人間社会の身近な環境衛生政策分野に関連する自然科学・社会科学の両方の専門知識を備えた能力を身に付けて修了させる。
2. 環境衛生政策を直接担当する地方公共団体等の行政機関や環境衛生に関する一般企業において活躍できる能力を持った人材を養成する。

環境保健科学専攻 博士前期課程

区分	単位数
必修 *1	26
選択 *1	4
計	30

取得可能学位 修士(環境保健科学)

- *1 授業科目のうち、自己の属する専門分野の授業科目はすべて必修(22単位)とする。共通科目2科目を必修(4単位)とし、他の専門分野の授業科目(特論から2科目(4単位)以上を選択して、計30単位以上を修得する。

環境保健科学専攻 博士後期課程

区分	単位数
必修 *2	12
計	12

取得可能学位 博士(学術)

- *2 授業科目のうち、自己の属する専攻科目の特別演習及び特別研究(計12単位)を必修とする。

環境衛生政策専攻 修士課程

区分	単位数
必修 *3	22
選択 *3	8
計	30

取得可能学位 修士(環境衛生政策)

- *3 3専門分野の中の各1科目と共通科目の中の1科目(計8単位)を必修とする。さらに自己の所属する専門分野の授業科目のうち、特講科目を2科目(4単位)、演習科目を1科目(10単位)必修とし、選択科目として、他の専門分野の特講科目から2科目以上並びに共通科目と併せて計8単位以上合計30単位以上になるよう履修する。

◇博士・修士学位授与数

研究科・専攻等	学位授与数		
	修士	博士(獣医学)	博士(学術)
獣医学専攻	-	2 ※2	-
動物応用科学専攻	24	-	3
麻布大学学位規則第3条第3項に該当する者 ※1	-	2	0
小計	24	4	3
環境保健科学専攻	8	-	2
麻布大学学位規則第3条第3項に該当する者 ※1	-	-	2
小計	8	-	4
合計	32	4	7

※1 【麻布大学学位規則】 第3条

- 3 博士の学位は、本学大学院の博士課程を経ない者であっても、論文を提出して、その審査に合格し、かつ、前項に該当する者と同等以上の学力があることを確認された場合には授与することができる。

- ※2 博士(獣医学)を授与した者のうち1人は、優れた研究業績をあげたため、麻布大学大学院学則第10条第4項のただし書に基づき、学位を授与した。

【麻布大学大学院学則】 第10条

- 4 獣医学専攻の博士課程に4年以上在学して所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、優れた研究業績をあげた者については、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。

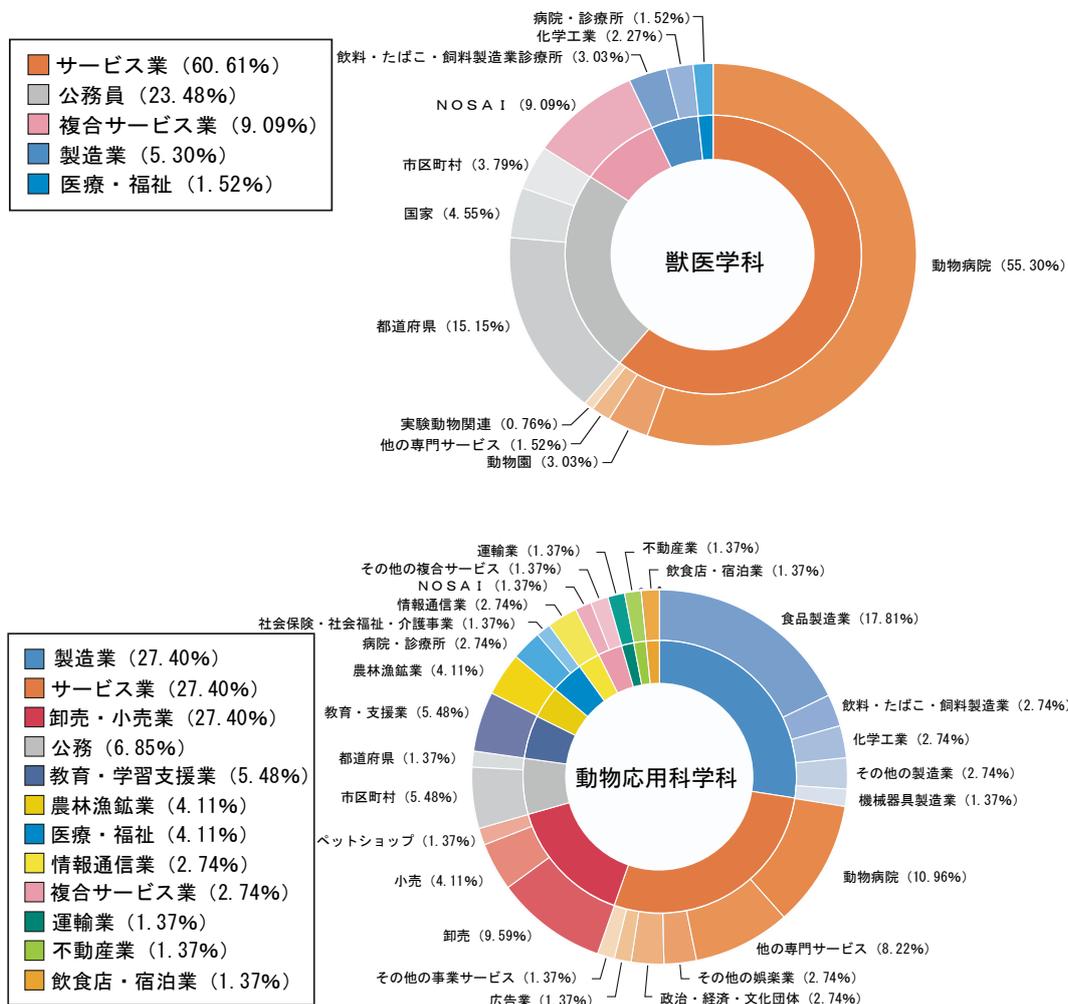
④平成22年度卒業生・修了者数及び進路状況

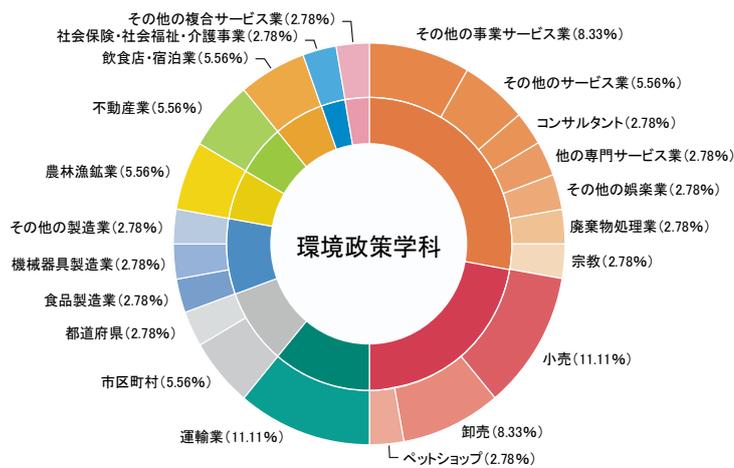
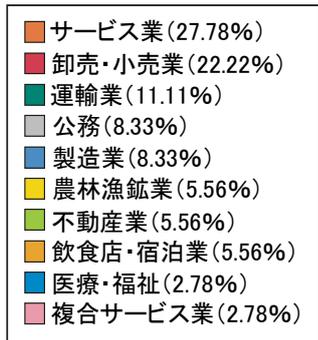
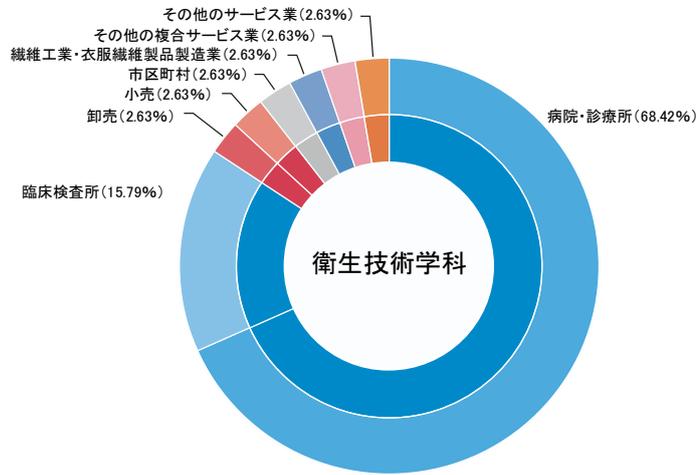
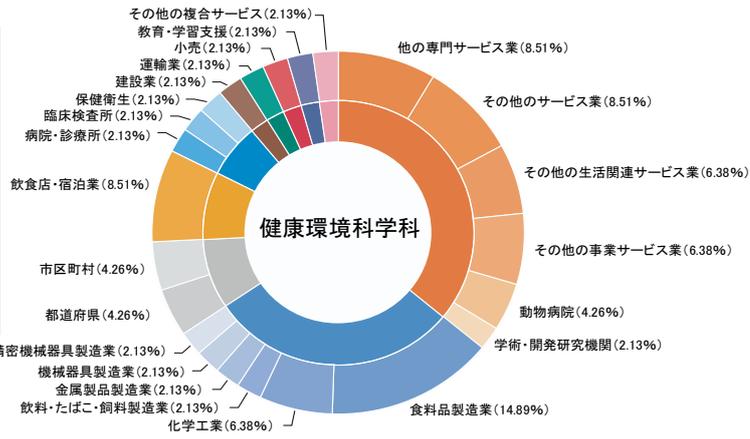
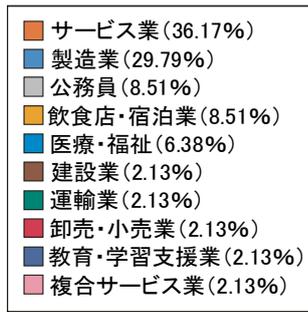
(人)

卒業生・修了者 (平成22年度)	麻布大学					麻布大学大学院				計
	獣医学科	動物応用科学科	健康環境科学科	衛生技術学科	環境政策学科	獣医学専攻	動物応用科学専攻*	環境保健科学専攻*	環境衛生政策専攻	
卒業生・修了者数	165	132	69	65	77	2	27	10	0	547
進路状況										
就職	132	73	47	38	36	1	22	6	0	355
進学	2	53	10	9	6	0	5	2	0	87
その他(浪人等)	31	6	12	18	35	1	0	2	0	105
[進学先内訳]										
自大学院	0	34	1	4	2	0	5	0	0	46
他大学院	1	8	6	2	2	0	0	0	0	19
自大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他大学	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専門学校・各種学校	0	4	2	1	1	0	0	0	0	8
その他(留学等)	1	6	1	2	1	0	0	1	0	12

*麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻及び環境保健学研究科環境科学専攻の欄は、博士前期課程及び博士後期課程を合算した人数である。

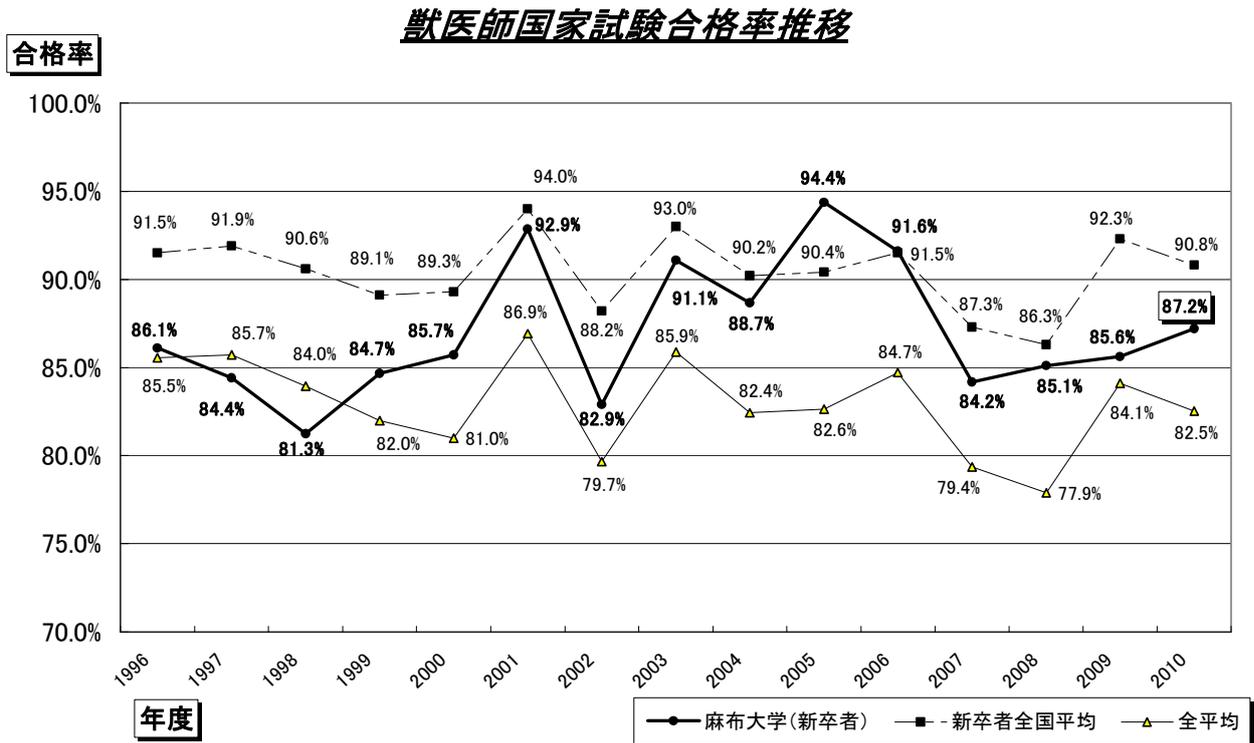
[就職先内訳](麻布大学)



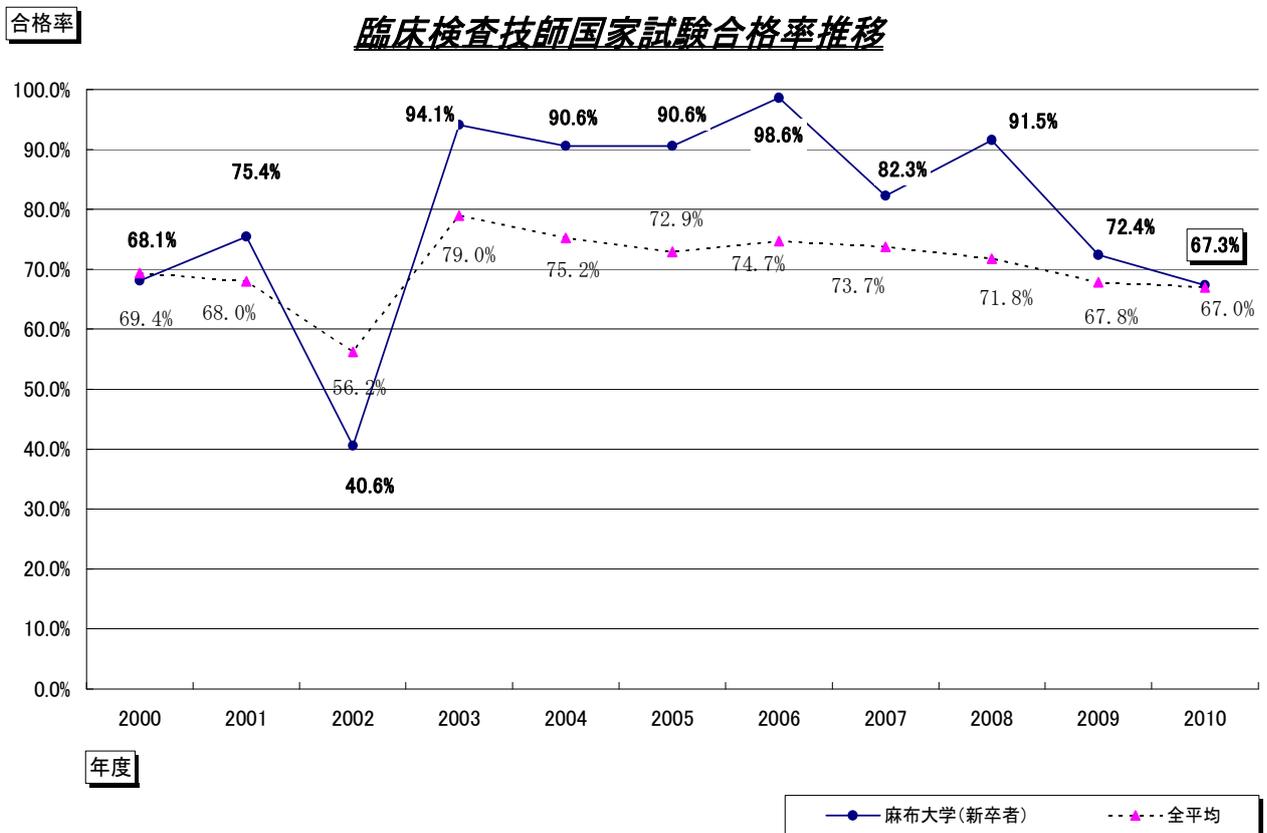


⑤ 国家試験合格率の推移

ア. 獣医師国家試験(麻布大学 獣医学部獣医学科)



イ. 臨床検査技師国家試験(麻布大学 環境保健学部衛生技術学科)



⑥年度別退学者数

平成23年5月1日現在

ア. 麻布大学

(人)

学部	区分	学科	獣医学部						生命・環境科学部						環境保健学部										
			獣医学科			動物応用科学科			臨床検査技術学科		食品生命科学科		環境科学科		健康環境科学科		衛生技術学科		環境政策学科						
			平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度		
1年次	男	0	1	1	3	1	1	2	3	0	4	4	5	3	6	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-
	女	1	0	1	3	6	3	3	1	0	3	2	2	1	1	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	計	1	1	2	6	7	4	5	4	0	7	6	7	4	7	6	-	-	-	-	-	5	-	-	-
2年次	男	0	5	2	1	1	0	2	3	-	2	0	-	5	3	-	-	-	3	-	1	2	-	-	5
	女	1	0	0	1	3	2	4	2	-	4	1	-	2	1	-	-	-	2	-	1	1	-	-	3
	計	1	5	2	2	4	2	6	5	-	6	1	-	7	4	-	-	-	5	-	2	3	-	-	8
3年次	男	0	0	0	0	0	0	0	0	-	2	-	-	2	-	-	1	1	1	1	0	0	-	2	3
	女	0	0	0	0	1	0	1	-	-	1	-	-	0	-	-	0	0	0	0	3	2	-	1	0
	計	0	0	0	0	1	0	1	-	-	3	-	-	2	-	-	1	1	1	1	3	2	-	3	3
4年次	男	1	0	1	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	5	5	2
	女	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0	0	0	0	2	0	0
	計	1	0	1	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0	0	0	0	7	5	2
5年次	男	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	0	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	0	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6年次	男	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		3	7	5	8	12	6	12	9	0	16	7	7	13	11	6	2	1	6	1	5	10	7	8	13

イ. 麻布大学 大学院

(人)

研究科	区分	専攻	獣医学研究科						環境保健学研究科																
			獣医学専攻博士課程			動物応用科学専攻博士前期課程		動物応用科学専攻博士後期課程	環境衛生政策専攻修士課程		環境保健科学専攻博士前期課程		環境保健科学専攻博士後期課程												
			平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度								
1年次	男	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2年次	男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3年次	男	0	2	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	0	0	0	0
	女	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	0	0	0	0
	計	0	2	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	0	0	0	0
4年次	男	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		0	2	0	1	3	3	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦学習環境

平成22年5月1日現在

ア. キャンパス等

区分		敷地面積(㎡)
淵野辺キャンパス	神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71	110,078.31
信濃研修場	長野県佐久市布施字御牧原15-156	4,339.90
桜川市実習場(旧岩瀬町)	茨城県桜川市大泉	14,950.38
敷地面積合計		129,368.59

イ. 建物

区分	建物名称	建物の主な内容	床面積(㎡)	構造・階建
淵野辺キャンパス 麻布大学	獣医学部棟	獣医学部実習室, 研究室, 実験サポート室, 共用機器室	19,348.37	鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根7階建
	3号館	生命・環境科学部実習室, 研究室, 談話室	5,492.12	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建地下1階
	4号館	学生食堂, 留学生研修室	1,605.73	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建
	5号館	実習室, 標本室	2,656.39	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建地下1階
	6号館	研究室, 食肉加工場, 水生生物飼育室	2,685.03	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	7号館	研究室, 手術室, X線室	1,233.86	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	8号館	講義室, コンピュータ・LL教室, 百周年記念ホール, 事務局各課	6,271.31	鉄骨鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺8階建
	9号館	メディアステーション, 講義室, 研究室	4,704.40	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根4階建
	大教室		468.22	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建
	生物科学総合研究所	事務室, 飼育室, 実験室	3,423.22	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
	本館	事務局各課, 学生相談室, 就職相談室, 会議室	1,656.95	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建
	学術情報センター(図書館)	図書館	1,846.96	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建地下1階
	獣医臨床センター	附属動物病院, 小動物飼育施設, ハイテク・リサーチセンター	5,583.43	鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付6階建
	コンパニオン・ドッグ・ラボラトリ	「動物トレーニング実習」を本格的に行う施設	214.11	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建
	教育用動物繋留施設		164.03	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	学生ホール	生協, 部室	1,276.08	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	クラブハウス1	部室, 音楽練習場, 土俵, ボクシング練習場	729.75	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	クラブハウス2	部室, 多目的ルーム	207.36	鉄骨造鉄板葺2階建
	百十周年記念会館	学生食堂, 同窓会事務室, 会議室	764.01	鉄骨造ルーフィング葺2階建
	空手道場		197.55	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	馬術部部室		99.00	軽量鉄骨プレハブ造2階建
	小動物舎1		280.50	鉄骨造陸屋根平家建
	小動物舎2	手術室, 飼育室	213.84	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
	鶏舎1		51.84	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	鶏舎2		25.92	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	厩舎		476.97	鉄骨造鉄板葺一部2階建
	厩舎(小)		18.90	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建
	豚舎		597.34	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建
	羊舎		40.71	軽量鉄骨プレハブ造平家建
	牛舎		728.72	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
	危険物倉庫		7.68	コンクリートブロック造波スレート葺平家建
	ボイラー室		49.20	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建(平家建)
	更衣室		180.18	木造波トタン葺平家建
	倉庫(守衛所横)		38.66	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建
	正門守衛所		28.57	鉄筋コンクリート造平家建
	東門守衛所		5.05	軽量鉄骨プレハブ造平家建
床面積小計			63,371.96	

区分	建物名称	建物の主な内容	床面積(㎡)	構造・階建	
淵野辺キャンパス	附属高等学校	高校1号棟	教室, 食堂, 売店	4,325.82	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建
	高校2号棟	教室, 事務室	3,026.29	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建	
	体育館		1,082.61	鉄骨鉄筋コンクリート鉄板葺中2階建	
	武道館		777.49	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	
	高校部室	部室	337.60	鉄骨造鉄板葺2階建	
	高校倉庫		138.80	鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建	
	総合グラウンド管理棟	体育教員室, 更衣室	222.31	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	
	総合グラウンド倉庫棟	倉庫	280.80	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建	
	床面積小計		10,191.72		
信濃研修場	研究棟		559.54	鉄骨造ルーフィング葺2階建	
	職員棟		165.62	木造ルーフィング葺平家建	
	床面積小計		725.16		
床面積合計			74,288.84		

ウ. 主な厚生補導施設等

施設等	概要
学生ホール	1階には談話室, シャワー室, 生協店舗(売店)等があり, 2階にはクラブ部室(25室)がある。学生は, 憩いとコミュニケーションの場として活用している。
クラブハウス1	学生ホールに隣接して建設しており, 1階には防音設備完備の音楽練習場, 弓道場, 相撲部土俵, ボクシング練習場があり, 2階には学生自治会及びクラブ部室(11室)がある。学生は, クラブ活動の拠点として大いに活用している。
クラブハウス2	クラブハウス1の北側に建設しており, 1階にはクラブ部室(4室), 2階には筋力トレーニングやミーティングといった様々な用途に利用可能な多目的ルーム(3室)がある。クラブハウス1と同様, 学生は, クラブ活動の拠点として大いに活用している。
麻布総合グラウンド	敷地面積は15,906㎡。各種球技(野球, サッカー, ラグビー等)及び陸上競技に使用できる総合グラウンドである。 学生は, クラブ活動等で利用するほか, 大学祭などの各種イベントの会場として活用している。また, 附属高等学校では, 授業や部活動等で大いに利用している。
麻布総合グラウンドの管理棟・倉庫棟	麻布総合グラウンド西側に大学と附属高等学校の共同施設として建設。管理棟2階には, 多目的室(2室)があり, クラブハウス2と同様の設備がそろう, 筋力トレーニングやミーティング等に利用できる。倉庫棟には広い収納スペースがある。
4号館	1階には生協が運営するカフェテリア方式の学生食堂(300席)があり, 2～3階には教員室や留学生研修室等がある。学生は, 食堂利用のほか, 授業の合間の休憩, 自主学習やコミュニケーションの場として活用している。
百十周年記念会館	創立百十周年を記念し, 平成14年10月に竣工した。1階にはカフェテリア方式の食堂(150席)があり, 2階には多用途に利用できる会議室や麻布大学同窓会の事務室がある。
バーベキュー場	4号館横に設置しており, 学生はルールを厳守の上, 懇親の場として活用している。
談話室	3号館1階に設置しており, 学生は, 授業の合間や昼食時に懇親の場として利用するほか, 放課後の自主学習の場としても活用している。
ラウンジ	獣医学部棟1階の一部を, ラウンジとして開放している。学生は, 授業の合間の休憩や懇親の場として利用するほか, 放課後の自主学習の場としても活用している。
自習室	獣医学部棟1階115室, 116室及び117室を学生用自習室として開放している。なお, 116室及び117室については, 11月初旬から2月下旬にかけて, 獣医師国家試験を控えた獣医学科6年次学生優先の自習室としている。
大学テニスコート	敷地面積は1,517.7㎡, 設置コートは2面。クラブハウス2の北側に設置しており, 学生は, クラブ活動等で利用している。
附属高等学校テニスコート	敷地面積は1,424.5㎡, 設置コートは2面。附属高等学校2号棟の北側に設置しており, 主に附属高等学校の授業やクラブ活動で利用される。
武道館	床面積は, 777.49㎡。1階には柔道場があり, 2階には剣道場がある。主に附属高等学校の授業やクラブ活動で利用されるほか, 大学の学生も, クラブ活動等で使用している。
附属高等学校食堂・売店	附属高等学校1号館1階に設置しており, 食堂の収容数は120席である。また, 食堂の隣には生協が運営する売店を設置している。生徒等は, 昼食時に利用するほか, 憩いの場として活用している。
信濃研修場	昭和52年6月, 学生・生徒等の学外教育施設として開設した。研修棟には宿泊室(7室), 宿泊室兼研修室(1室), 研修室兼食堂があり, 職員棟には宿泊室(4室)及び応接室兼会議室(1室)がある。

⑧学生納付金

ア. 麻布大学

平成20年度以降入学に係る学納金

(単位 円)

学部・学科・コース		年次	1年次		2年次以降		
			前期	後期	前期	後期	
獣医学部	獣医学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	200,000	200,000	200,000	200,000	
		授業料	625,000	625,000	625,000	625,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
		教育充実費	150,000	150,000	150,000	150,000	
	合計	1,325,000	1,075,000	1,075,000	1,075,000		
	動物応用科学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000		
合計	975,000	725,000	675,000	675,000			
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000	
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000	
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000	
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
	食品生命科学科	食の安全コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
			授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
			実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
			教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
		合計	975,000	725,000	675,000	675,000	
		バイオの科学コース	入学金	250,000	—	—	—
			施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
			授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
			実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
	教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000	
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
環境科学科	環境技術コース	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	350,000	350,000	425,000	425,000	
		実験実習費	—	—	100,000	100,000	
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000	
	合計	800,000	550,000	675,000	675,000		
	環境と社会コース	入学金	250,000	—	—	—	
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000	
		授業料	350,000	350,000	350,000	350,000	
		実験実習費	—	—	—	—	
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000		
合計	800,000	550,000	500,000	500,000			

(注) 1 入学金は、入学年度のみ適用する。

2 編入学者の初年度の学納金については、「2年次以降」の金額に入学金を加えた金額を適用する。

平成19年度以前入学に係る学納金

(単位 円)

学部・学科		年次	1年次		2年次以降	
			前期	後期	前期	後期
獣医学部	獣医学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	200,000	200,000	200,000	200,000
		授業料	625,000	625,000	625,000	625,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	150,000	150,000	150,000	150,000
	合計	1,325,000	1,075,000	1,075,000	1,075,000	
	動物応用科学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000	
合計	975,000	725,000	675,000	675,000		
環境保健学部	健康環境科学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000	
	衛生技術学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	425,000	425,000	425,000	425,000
		実験実習費	100,000	100,000	100,000	100,000
		教育充実費	50,000	50,000	50,000	50,000
	合計	975,000	725,000	675,000	675,000	
	環境政策学科	入学金	250,000	—	—	—
		施設設備費	150,000	150,000	100,000	100,000
		授業料	350,000	350,000	350,000	350,000
実験実習費		—	—	—	—	
教育充実費		50,000	50,000	50,000	50,000	
合計	800,000	550,000	500,000	500,000		

(注) 1 入学金は、入学年度のみ適用する。

2 編入学者の初年度の学納金については、「2年次以降」の金額に入学金を加えた金額を適用する。

イ. 麻布大学大学院

(単位 円)

項目	区分 年度	動物応用科学専攻 博士前期課程		獣医学専攻博士課程・ 動物応用科学専攻博士後期課程		環境衛生政策専攻 (修士課程)		環境保健科学専攻 博士前期課程		環境保健科学専攻 博士後期課程	
		初年度	次年度以	初年度	次年度以	初年度	次年度以	初年度	次年度以	初年度	次年度以
学 納 金	入学金	250,000	—	250,000	—	250,000	—	250,000	—	250,000	—
	授業料	600,000	600,000	600,000	600,000	500,000	500,000	600,000	600,000	600,000	600,000
	実験・実習費	200,000	200,000	200,000	200,000	—	—	200,000	200,000	200,000	200,000
	施設設備費	150,000	—	150,000	—	150,000	150,000	150,000	—	150,000	—
	合計	1,200,000	800,000	1,200,000	800,000	900,000	650,000	1,200,000	800,000	1,200,000	800,000

- 注) 1 施設設備費は本学を卒業した者に限り免除とする。
2 本学の博士前期課程修了者が博士後期課程に入学した場合の入学金は免除する。

【授業料の免除・徴収猶予】

○麻布大学学則

第62条 経済的理由によって納付が困難であり、かつ学業が優秀と認める場合、その他やむを得ない事情があると認めた場合は、授業料・実験実習費・教育充実費及び施設設備費の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

○麻布大学大学院学則

第19条の2 経済的理由によって学納金納付が困難であり、かつ学業が優秀と認めた場合又はその他やむを得ない事情があると認めた場合は、授業料・実験実習費及び施設設備費の全部若しくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

第19条の3 この学則に定めるもののほか、本大学院入学検定料及び本大学院学納金の取扱いについては、本学学則を準用する。

⑨ 学生支援と奨学金

ア. 学生支援体制(麻布大学・麻布大学大学院)

支援内容	支援組織等	場所	具体的な支援内容等
就職支援・ 進路相談	学生支援課	8号館1階	進路・就職についての相談、斡旋、就職相談室の受付、就職に必要な事務手続、キャリア形成支援、インターンシップ、就職活動関係講座等の開催、企業等説明会の開催など
	就職閲覧室	8号館1階	就職及び進学に関する資料の展示・配付、求人情報の提供、就職情報検索専用パソコンの設置など
	キャリア・就職相談室	本館2階	相談員による就職相談、模擬面接など
教育支援・ 履修支援	附属教育・推進センター	8号館1階	リメディアル授業の開講、チューターによる個別指導、履修相談、学生による授業評価の実施など
	学生支援課	8号館1階	履修・成績に関する事項及びそれに伴う願出や届出といった教務全般、履修相談、入学者・在学者オリエンテーションの実施など
研究支援	研究推進・支援本部 学術支援課	本館2階	知的財産権等研究成果及び競争的資金を含む外部資金(共同研究、受託研究など)に関すること等の研究活動支援全般
生活支援	学生支援課	8号館1階	学生生活相談、各種証明書の発行、自転車・ロッカーの登録、課外活動支援など
経済支援	学生支援課	8号館1階	各種奨学金の案内、学納金の徴収猶予・免除等の相談、アルバイト求人案内など
保健・衛生	健康管理センター	8号館1階	健康相談、応急処置、定期健康診断、健康診断証明書の発行、検査など
メンタルヘルス	学生相談室	本館2階	カウンセラー(学外の臨床心理士等)による相談
ハラスメント 防止	ハラスメント防止委員会	—	セクシュアル・ハラスメント等の人権侵害の防止と被害からの救済・回復、啓発活動
	セクシュアル・ハラスメント等相談員	—	学内相談員(教職員)によるハラスメント相談
	ハラスメント相談室	本館2階	学外相談員によるハラスメント相談

クラス担任

麻布大学では、学生の最も身近な相談相手として、各学科各年次に2～3人の「クラス担任」を置いている。
クラス担任は、クラス全体の問題を始め、学生生活で直面する学習上の問題、健康、生活、経済面などの個人的な悩みについても相談に応じ、助言等を行っている。

イ. 奨学金

◇麻布大学・麻布大学大学院

種類	貸与の種類	対象・条件	金額
麻布大学奨学金	無利子	2年次以上(原則)	学納金相当額
麻布大学父母会奨学金	無利子	2年次以上	学納金相当額
麻布大学同窓会奨学金	無利子	最終学年	学納金相当額
日本学生支援 機構 (JASSO)	第1種	学部学生	
		自宅通学者	54,000円又は30,000円より選択(月額)
		自宅外通学者	64,000円又は30,000円より選択(月額)
		大学院学生(修士・博士前期)	50,000円又は88,000円より選択(月額)
	大学院学生(博士後期)	80,000円又は122,000円より選択(月額)	
第2種	有利子	学部学生	30,000円, 50,000円, 80,000円, 100,000円, 120,000円より選択(月額) (獣医学科は、140,000円も選択可)
		大学院学生 (修士・博士前期・博士後期)	50,000円, 80,000円, 130,000円, 150,000円より選択(月額)

ウ. 平成22年度 各種奨学金貸与状況

平成23年3月31日現在

◇麻布大学

(人)

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	小計	合計
麻布大学奨学金	1	3	2	1	0	1	-	8
麻布大学父母会奨学金	0	3	2	0	1	0	-	6
麻布大学同窓会奨学金	0	0	0	0	0	0	-	0
日本学生支援機構奨学金(JASSO)	224	258	216	197	77	65	-	1,037
獣医学科 (学生数938人)	第1種	14	20	13	19	26	19	111
	第2種	39	48	64	49	51	46	297
	(併用者)	(5)	(10)	(8)	(6)	(11)	(8)	(48)
動物応用科学科 (学生数553人)	第1種	15	13	12	8	-	-	48
	第2種	36	41	38	33	-	-	148
	(併用者)	(3)	(5)	(3)	(2)	-	-	(13)
健康環境科学科 (学生数76人)	第1種	-	-	0	3	-	-	3
	第2種	-	-	0	15	-	-	15
	(併用者)	-	-	0	(0)	-	-	(0)
衛生技術学科 (学生数80人)	第1種	-	-	1	8	-	-	9
	第2種	-	-	3	30	-	-	33
	(併用者)	-	-	(2)	(3)	-	-	(5)
環境政策学科 (学生数102人)	第1種	-	-	-	4	-	-	4
	第2種	-	-	-	28	-	-	28
	(併用者)	-	-	-	(4)	-	-	(4)
臨床検査技術学科 (学生数259人)	第1種	6	12	9	-	-	-	27
	第2種	34	41	25	-	-	-	100
	(併用者)	(2)	(5)	(1)	-	-	-	(8)
食品生命科学科 (学生数253人)	第1種	8	5	3	-	-	-	16
	第2種	28	27	19	-	-	-	74
	(併用者)	(3)	(2)	(0)	-	-	-	(5)
環境科学科 (学生数341人)	第1種	3	8	3	-	-	-	14
	第2種	41	43	26	-	-	-	110
	(併用者)	(1)	(1)	(1)	-	-	-	(1)
合計	225	264	220	198	78	66	-	1,051

※ 日本学生支援機構奨学金(JASSO)の併用者は、内数

◇麻布大学大学院

(人)

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	小計	合計
日本学生支援機構奨学金(JASSO)						
獣医学専攻 博士課程	第1種	2	0	3	1	6
	第2種	0	0	1	1	2
	(併用者)	0	0	(1)	(1)	(2)
動物応用科学専攻 博士課程前期	第1種	11	13	-	-	24
	第2種	6	7	-	-	13
	(併用者)	(2)	(6)	-	-	(8)
動物応用科学専攻 博士課程後期	第1種	1	5	3	-	9
	第2種	0	1	0	-	1
	(併用者)	0	(1)	0	-	(1)
環境保健科学専攻 博士課程前期	第1種	4	6	-	-	10
	第2種	4	1	-	-	5
	(併用者)	(2)	(1)	-	-	(3)
環境保健科学専攻 博士課程後期	第1種	0	2	1	-	3
	第2種	0	1	0	-	1
	(併用者)	0	(1)	0	-	(1)
環境衛生政策専攻 修士課程	第1種	1	0	-	-	1
	第2種	1	0	-	-	1
	(併用者)	(1)	0	-	-	(1)
合計	30	36	8	2	-	76

※1 日本学生支援機構奨学金(JASSO)の併用者は、内数

※2 日本学生支援機構奨学金(JASSO)第1種奨学金貸与者で、平成22年度中に貸与終了となった者のうち、在学中に特に優れた業績をあげた者として、貸与額の全額免除2人、半額免除4人が認定されている。

⑩学生表彰制度

ア. 麻布大学

◇学業成績優秀者

年度始めに、各学科から年次ごとに原則として3人(獣医学科及び動物応用科学科は4人)の学業成績及び人物の優秀な者を表彰する。さらにこの賞は、複数回受賞することができ、賞状・副賞及び奨学金が授与される。
また、卒業時には、越智賞受賞者を除く各学科から原則として3人(獣医学科及び動物応用科学科は4人)が受賞し、賞状及び副賞が授与される。

◇越智賞

麻布獣医学園越智基金により、昭和63年度から設けられた制度で、毎年度の卒業生で学業成績及び人物が優秀な者に対して、各学科1人を表彰する。表彰は、卒業式に行われ、賞状と副賞が授与される。

◇学生功労賞

麻布大学の学生及び団体が、スポーツ若しくは文化活動において、顕著な業績を上げ、又は社会に対して模範となることを行い、もって本学の名誉を著しく高めた場合に表彰する。また、受賞者には、賞状と副賞が授与される。(年間表彰予定数:個人5人, 3団体)

◇日本獣医師会優等卒業生

日本獣医師会より、獣医学教育の振興のため、獣医学科の優秀な卒業生1人に対し、優等卒業生の表彰等が卒業式に行われる。

⑪学生の課外活動の状況

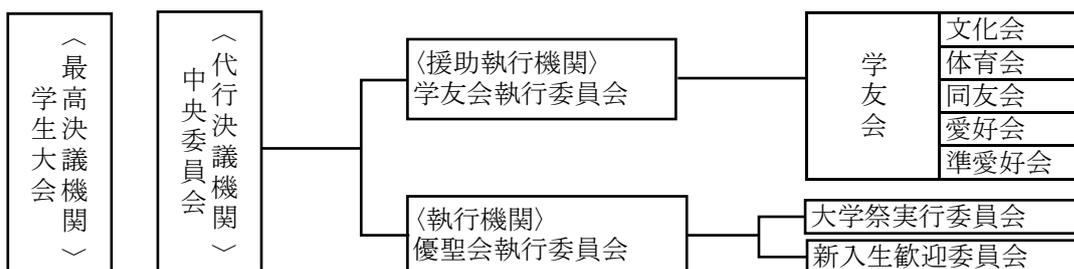
ア. 学生団体・生徒会

◇麻布大学全学学生自治会

本会は、本学学部学生全員(獣医学科5, 6年次及を除く。)で構成され、全員の民主的精神, 自主的活動により、大学生生活の維持充実を図り、学生自治の健全化に努め、学風・環境の刷新に資することを目的に活動している。

サークル活動を取りまとめ、学生大会等で学生から出た要望などについて大学と話し合いを行い、学生生活がより充実したものになるように活動している。

また、「大学祭」や「新入生歓迎週間」についても、学生自治会中央委員会が中心になり、各実行委員会を組織し活動を行っている。



◇獣医学科5・6年生会

獣医学科5・6年次の学生生活を充実させるため、獣医師国家試験対策、獣医学科卒業記念アルバム作製等を中心とした活動を行っている。

全学学生自治会とは独立した固有の自治団体として運営され、中央委員会、国家試験対策委員会、アルバム委員会によって構成される。

◇謝恩会実行委員会

獣医学科、動物応用科学科、生命・環境科学部の最終年次の学生で構成され、毎年3月に実施されるそれぞれの謝恩会に企画・運営を行う。

◇卒業アルバム委員会

獣医学科、動物応用科学科、生命・環境科学部の最終年次の学生で構成され、卒業アルバムの発行に向けて外部業者と共同作業で作製・編集に関する活動を行う。

イ. クラブ・サークル活動

◇麻布大学・麻布大学大学院

クラブ・サークル名	部員数(人)	活動日	活動時間	活動場所	顧問名	部費(年額)・[入会金]
農村文化研究会	50	火	13:20～13:40	学生ホール2階	入来	2,000円・[0]
美術部	44	放課後ほぼ毎日	部会(金13:20～14:00)	部室	斉藤(康)	0
麻布大学茶道部	10	月	14:00～17:00	茶道先生宅	須永	2,000円・[0]
野鳥研究部	22	不定期(見学は月～木)	16:00～19:00	鳥のいるところ、部室	田中(智)	3,000円・[0]
軽音楽部	115	月・木	部会(13:20～13:40)	部室	石井	12,000円(1,000円/月)・[2,000円]
吹奏楽部	75	火・木・金	18:00～21:00	大教室	山本(雅)	9,000円・[0]
童遊会	30	水	部会(13:00～13:30)	学生ホール2階部室	松井	0
探検部	15	長期休み・土・日	部会(水曜日 昼)	学外	佐俣	0
動物研究会	39	月	13:20～	部室	佐原	3,000円・[0]
写真部	33	月・金	13:15～13:45	部室	角野	3,000円・[0]
麻布大学応援団	5	—	—	—	柏崎・猪股	0
空手道豪友会	8	月・火・木・金	18:00～20:00	空手道場	有嶋・白井	0・[3,000円]
柔道部	7	月・火・木	19:00～20:00	渕野辺高校柔道場	和田	0
剣道部	20	火・木	18:30～20:30	渕野辺高校武道館	菅沼	0
空手道部	3	月・水・木	18:00～20:30	空手道場	堂ヶ崎	0
ラグビー部	22	月・水・金	19:00～21:00	麻布総合グラウンド	浅利・田原口	5,000円・[0]
麻布大学サッカー部	34	火・木・金	19:00～22:00	麻布総合グラウンド	其木・柏崎・落合	3,000円・[10,000円(ユニホーム代)]
ボクシング部	26	火・木	18:00～21:00	クラブハウス棟1階ボクシングジム	古畑	0
麻布大学体育会準硬式野球部	13	水・金	19:00～21:00	麻布総合グラウンド	信田	大会登録による・[0]
麻布大学体育会合気道部	5	月～金	18:30～20:30	渕野辺高校柔道場	西田	0(原則)・[0]
麻布大学体育会弓道部	40	月～金	16:00～19:00	弓道場	藤田	6,000円・[0]
麻布大学体育会射撃部	17	水	18:00～20:00	3140教室	阪口	6,000円・[1,000円]
馬術部	6	毎日	6:30～9:00	厩舎	武藤	36,000円(3,000円/月)・[0]
籠球部	22	火・木・土	19:00～22:00	—	川上	12,000円・[0]
陸上競技部	19	月・水・金	18:00～21:00	学校の周辺、横山公園グラウンド	並河	3,600円・[0]
アメリカンフットボール部	18	月・火・木・金	19:00～21:00	麻布総合グラウンド	岡林	0
麻布大学硬式庭球部	16	月・木(土)	(10:00～13:00) 18:00～20:00	大学テニスコート	荻原	10,000円・[0]
麻布大学拳志会館	8	月・水・木	月19:00～21:00, 水18:30～20:30, 木18:00～20:00	大野北中・学内道場・青少年ホール	村上	8,000円・[5,500円]
CAPC	37	毎日	8:00～22:00	クラブハウス棟2階部室	並河	1,500円・[1,500円]
麻布大学バレーボール同好会	25	火・木・土	19:00～22:00	体育館	—	3,000円・[3,000円]
バドミントン同好会	39	月・水・金	19:00～21:00(22:00)	体育館	植竹	8,000円・[2,000円]
地球サークル環境村	16	金	18:00～	学内・学外	原田	0
A.T.P jovial	35	水	18:00～21:00	大学テニスコート	—	2,000円・[0]
太極拳サークル孝雄の部屋	15	木・金	13:10～13:45	空手道場	川上	0
ソフトボール同好会	90	火・水・木	19:00～22:00	麻布総合グラウンド	本庄	0・[3,000円]
ZERRIA	30	月・金	19:00～22:00	麻布総合グラウンド	坂口	3,000円・[0]
フットサル同好会blossom	35	月・木	19:00～22:00	麻布総合グラウンド	—	0～500円・[0]
矢部鍵盤	39	不定期	18:00～21:00	青少年センター8号館ホール	—	35,000円・[0]
水泳同好会	9	金	13:20～14:00	8号館7階	植竹	50,000円・[0]
tire～人と動物の関係を考える会～	36	火	13:10～13:50	3103教室	菊水	1,000円・[0]
英会話サークルESS	22	水・金	13:00～14:00	9号館4階会議室	リンチ	10,000円・[0]
デジタルツール研究会	42	月・火・金	13:00～13:50	9307教室	—	0
じ～な	18	毎日	部会(月13:00～13:40)	9号館ゴミ箱(9306教室)	村山(史)	0
ハンドボール同好会	31	火・木	18:00～21:00	麻布総合グラウンド	坂田	3,000円・[0]

クラブ・サークル名	部員数(人)	活動日	活動時間	活動場所	顧問名	部費(年額)・[入会金]
麻布大学国際交流会	13	不定期	不定期	-	-	0
SeaDancer	51	月1回(6～11月, 3月)	部会(木13:20～)	伊豆の海, 海外(グアテマラ), 8405教室(部会)	-	3,000円・[0]
梅部愛好会	6	金・土・日	不定期	不定	-	0
4S freestyle	15	不定期	-	-	-	0
麻布大学ISO委員会	9	月	13:00～14:00	9号館4階ゼミ室	久米	0
Green Nova☆	23	水	13:05～13:45	9203教室	村山(史)	0
テニスサークルスマッシュ	104	火・金	18:00～21:00	大学テニスコート	-	1,000円・[5,000円]
弦楽サークルsforzando	16	不定期	18:00～21:00	3101教室又は8号館7階	-	1,000円・[0]
麻布大学ブラジリアン歌術サークル	25	水・金	19:00～21:00	淵野辺高校柔道部	坂田	0
麻舞TRIBE	90	月～金	18:00～21:00	9301教室	坂田	5,000円・[0]
フォークソングサークル ～Light's～	32	毎日	平日18:00～ 21:00, 休日9:00～ 21:00	3108教室	-	0
A.T.Cばびんぼん	41	月又は水	18:30～22:00	市営体育館	-	0
D.D	45	日	18:30～22:00	淵野辺東小学校	-	0
日本獣医学生協会(JAVS)麻布支部	38	不定期	不定期	-	阪口	1,000円・[0]
UNIVERSE	38	毎週土, 日	19:00～22:00	麻布総合グラウンド	-	5,000円・[0]
水生生物研究部	46	土・日	部会不定期	水族館, 動物園, 博物館, (部会8号館)	-	0
麻布学術研究会～知的 好奇心をくすぐる会 ～	23	不定期	不定期	-	阪口	0

愛好会

(3) 研究に関する情報

① 競争的資金等受入状況 (平成22年度)

ア. 文部科学省 科学研究費補助金 ※

交付元	研究種目	件数 (件)		交付金額 (千円)		
				直接経費	間接経費	計
文部科学省	基盤研究(A) 海外	新規	0	0	0	0
		継続	1	3,400	1,020	4,420
	基盤研究(A)	新規	0	0	0	0
		継続	0	0	0	0
	基盤研究(B)	新規	0	0	0	0
		継続	1	3,100	930	4,030
	基盤研究(C)	新規	7	11,600	3,480	15,080
		継続	15	12,400	3,720	16,120
	挑戦的萌芽研究	新規	1	2,200	0	2,200
		継続	1	1,500	0	1,500
	若手研究(A)	新規	0	0	0	0
		継続	1	3,700	1,110	4,810
	若手研究(B)	新規	2	3,200	960	4,160
		継続	3	3,100	930	4,030
	研究活動スタート 支援	新規	0	0	0	0
		継続	1	1,010	303	1,313
	特別研究員奨励費	新規	1	700	0	700
		継続	0	0	0	0
小計	新規	11	17,700	4,440	22,140	
	継続	23	28,210	8,013	36,223	
合計		34		45,910	12,453	58,363

※本学教員が「研究代表者」となっているもの。

イ. その他の競争的資金等

交付元	研究助成名/課題	研究代表者等	受入金額 (千円)
文部科学省 (科学技術振興 機構)	JST 平成22年度研究開発施設共用等促進費補助金 (ナショナルバイオリソースプロジェクト)	獣医学部 教授 柏崎直巳	7,500
	JST平成22年度地域の科学舎推進事業地域活動支援	生命・環境科学部 准教授 森田重光	771
内閣府	内閣府 食品健康影響評価技術研究	生命・環境科学部 教授 守口徹	3,000
厚生労働省	医薬基盤研究所 保健医療分野における基礎研究推進事業	獣医学部 教授 菊水健史	6,000
農林水産省	農林水産省 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業	獣医学部 講師 河合一洋	1,680
自治体	神奈川県産業技術センター 平成22年度知的財産活用促進コーディネート事業	獣医学部 准教授 伊東正吾	2,000
	さがみはら産業創造センター 平成22年度バイオベンチャー人材活用事業	獣医学部 教授 阪口雅弘	11,464
財団等	2010年度 クリニカルニュートリション研究 会 スカラシッププログラム	「食餌中の塩化ナトリウム含量の違いがイヌの薬物 代謝酵素CYP3A活性に与える影響」 獣医学部 志賀俊紀 (獣医学部 准教授 折戸謙介)	800
	財団法人ビル管理教育センター 平成22年度建築物環境衛生管理に関 する調査研究助成金	Methylobacterium aquaticumの塩素抵抗性に関 する研究 生命・環境科学部 准教授 古畑勝則	500
	2010年度 国立遺伝学研究所共同研 究A	MSMコンソミックマウス系統におけるオス求愛歌の 解析 獣医学部 教授 菊水健史	113
受入金額合計(千円)			33,828

②学内競争的資金の状況

学内競争的資金	件数	金額(千円)	
大学院整備重点化経費	獣医学研究科	29	57,800
	環境保健学研究科	10	15,200
特色ある大型研究プロジェクト経費	獣医学部	1	5,000
若手育成研究経費	獣医学部	2	1,000
	生命・環境科学部	1	500
	附属動物病院	1	500
知財展開研究経費	獣医学部	2	5,477
	生命・環境科学部	1	2,000

③知的財産データ〔平成14年度～平成22年度の推移(職務発明を対象とする。)]

年度	22	21	20	19	18	17	16	15	14	合計
出願・登録										
国内特許出願	3	3	5	4	2	6	-	-	2	25
海外特許出願	1	0	-	1	3	-	-	-	-	5
特許登録	1	0	-	-	1	-	-	-	-	2
商標登録	0	0	2	-	1	2	-	-	-	5

ア. 国内特許出願

年度	所属	研究者名	タイトル	出願番号
14	獣医学部	太田 光明	魚食性動物用餌	特願2002-231639
	環境保健学部	荻原 喜久美	ブタインターロイキン8の製造方法	特願2003-329010
17	環境保健学部	其木 茂則	ダイオキシン分解能を有する形質転換植物体, 及びその製造に用いられるプラスミドベクター及び遺伝子, 並びにこの遺伝子でコードされるタンパク質	特願2005-161233
	獣医学部	森田 英利	抗肥満剤及び抗肥満食品	特願2007-528471
	環境保健学部	其木 茂則	ダイオキシン類汚染のスクリーニング用DNAアレイ, 及びスクリーニング方法, 並びにダイオキシン類モニター用遺伝子	特願2005-231551
	獣医学部	菅沼 常德	動物座標決め固定装置	特願2005-307858
	環境保健学部	村山 洋	標的配列の特異的高感度増幅法	特願2007-552021
	環境保健学部	森田 重光	流動微小物質用の放射線線量計, 及び放射線線量の測定方法	特願2008-506234
18	獣医学部	江口 祐輔	害獣の侵入防止用電気柵システム	特願2006-242277
	環境保健学部	村山 洋	RNAスプライシングの検出システム	特願2009-500262
19	環境保健学部	岩橋 和彦	ジアゼパム結合阻害物質(DBI)遺伝子の多型分析	特願2007-157189
	環境保健学部	堂ヶ崎 知格	キク科植物由来の抗酸化剤及びその製造方法並びに2,4-ヘキサジエナル誘導体	特願2007-159809
	獣医学部	田中 和明	ブタバータ3アドレナリンレセプター遺伝子の多型に基づくブタ形質診断方法	特願2007-149480
	獣医学部	折戸 謙介	閉塞性の末梢動脈疾患治療剤	特願2008-065448
20	生命・環境科学部	久松 伸	核酸構成塩基の偏在性を表す方法	特願2008-195049
	生命・環境科学部	荻原 喜久美	イヌインターロイキン8(IL-8)および腫瘍壊死因子(TNF- α)持続産生細胞株の作出	特願2008-243310
	生命・環境科学部	久松 伸	塩基配列間の類似性を解析する方法	特願2008-257190
	獣医学部	西田 利徳	腎疾患の検出方法	特願2008-317179
	獣医学部	植竹 勝治	被毛ミネラル組成による診断方法	特願2009-70475
21	生命・環境科学部	高田 直子	植物への重金属吸収促進および土壌の浄化方法	特願2009-183739
	獣医学部	菊水 健史	マウスフェロモン	特願2009-211748
	獣医学部	菊水 健史	(現時点では未公開特許)	特願2010-043308
22	附属動物病院	印牧 信行	(現時点では未公開特許)	特願2010-213880
	生命・環境科学部	守口 徹	(現時点では未公開特許)	特願2010-258565
	獣医学部	上家 潤一	(現時点では未公開特許)	特願2011-29205

イ. 海外特許出願

年度	所属	研究者名	タイトル	出願番号
18	獣医学部	森田 英利	ANTI-OBESITY AGENT AND ANTI-OBESITY FOOD	PCT/JP2006/314640
	環境保健学部	村山 洋	SPECIFIC AND SENSITIVE METHOD FOR AMPLIFYING TARGET SEQUENCE	PCT/JP2006/326200
	環境保健学部	森田 重光	RADIATION DOSIMETER FOR FLUID VERY SMALL SUBSTANCES, AND METHOD FOR MEASURING RADIATION DOSE	PCT/JP2007/54665
19	環境保健学部	村山 洋	SYSTEM FOR DETECTING RNA SPLICING	PCT/JP2008/053130
22	獣医学部	菊水 健史	MOUSE PHEROMONE	PCT/JP2010/065759

ウ. 特許登録

年度	所属	研究者名	タイトル	登録番号
18	環境保健学部	荻原 喜久美	ブタインターロイキン8の製造方法	特許第3876386号 (JP)
22	生命・環境科学部	森田 重光	RADIATION DOSIMETER FOR FLUID VERY SMALL SUBSTANCES, AND METHOD FOR MEASURING RADIATION DOSE	(US)

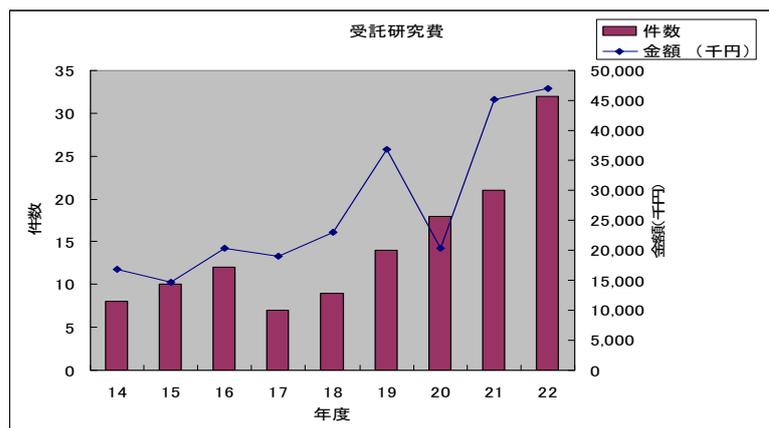
エ. 商標登録

年度	商標番号	商標名称
17	第4852942号	スタディ・ドッグ・スクール Study・Dog・school
	第4928799号	ゲノスキャン・テラーメイドサービス
18	第4982847号	サイコスキャン・テラーメイドサービス
20	第5175657号, 第5175658号	校章, 麻布大学

④受託研究等の受入状況（平成14年度～平成22年度までの推移）

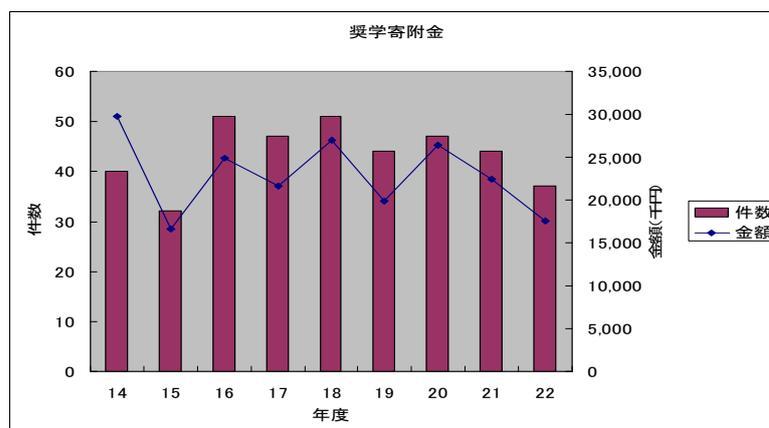
受託研究

年度	金額(千円)	件数
14	16,885	8
15	14,613	10
16	20,362	12
17	19,045	7
18	22,936	9
19	36,799	14
20	20,386	18
21	45,243	21
22	46,989	32



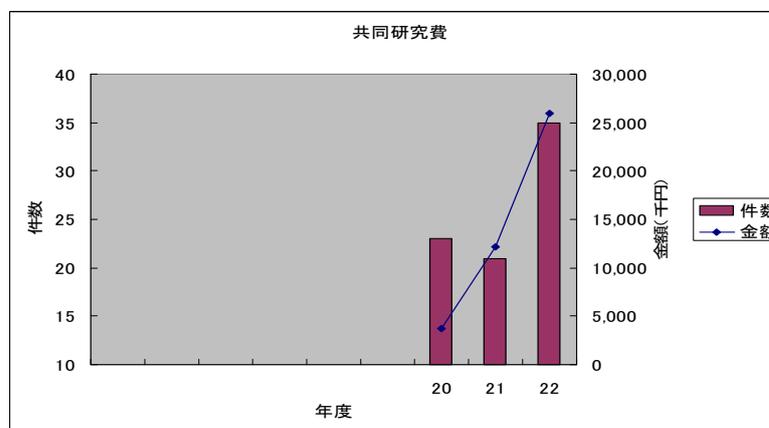
奨学寄附金

年度	金額(千円)	件数
14	29,790	40
15	16,570	32
16	24,938	51
17	21,665	47
18	26,932	51
19	19,864	44
20	26,445	47
21	22,421	44
22	17,612	37



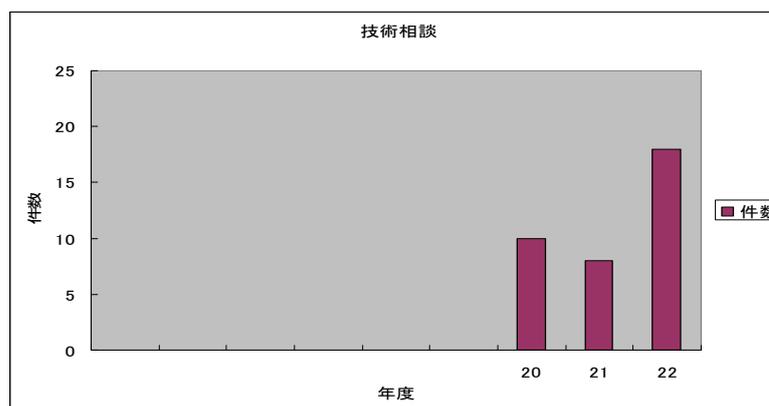
共同研究

年度	金額(千円)	件数
20	3,730	23
21	12,121	21
22	25,979	35



技術相談

年度	件数
20	10
21	8
22	18



※件数及び金額は、契約した年度をもって記載した。

(4)麻布大学附属瀧野辺高等学校に関する情報

①教育理念

夢を語り、学問を追究・実践し、誠実なる校風の基、平和社会建設に貢献する。

②教育方針

1. 生徒の個性を伸ばし、確かな学力の向上と未来を切り拓く力の育成 →【学力の向上】
2. 豊かな人間性や望ましい社会性を具え、国際社会に対応できる人材の育成 →【生きる力】
3. 命の大切さを自覚すると共に、人には博愛の心で接し、他人の痛みが分かる人材の育成 →【命の大切さ】

③学校教育目標

1. 学力の向上並びに高校生としての学力の保証
2. 学習の場には積極的に参加し、自ら学ぶ意欲を持った人材の育成
3. 秩序・良識・礼儀を尊重し、他人を思いやる心を持った人材の育成
4. 夢を持ち、未来を拓く強い精神力を健康な身体を持つ人材の育成

④教職員数

平成22年5月1日現在
(人)

	校長	教頭	教諭	契約講師	非常勤講師	専任職員	合計
教職員数	1	2	32	0	26	4	61

⑤コース・クラス別生徒数及び必要単位修得数

平成22年5月1日現在

学年	コース・クラス	組	生徒数(人)	必修科目	選択必修科目	ホームルーム活動	単位数合計	
1年	一般コース	-	-					
	進学クラス	A	35					
		B	35					
	一般クラス	C	30	32			1	33
		D	31					
		E	30					
		F	31					
	G	31						
体育系コース	H	30	27		1	28		
生徒数小計(人)			253					
2年	一般・理系コース	-	-					
	麻布大・進学クラス	A	30	28	4	1	33	
		B	29					
	理系クラス	C	27	28	2	1	31	
		D	26					
	一般・文系コース	-	-					
	進学クラス	E	40	28	4	1	33	
	文系クラス	F	36	28	2	1	31	
体育系コース	G	40	25	2	1	28		
生徒数小計(人)			228					
3年	一般・理系コース	-	-					
	麻布大・進学クラス	A	39	28	2	1	31	
		B	39					
	理系クラス	C	35	28	2	1	31	
		D	30					
	一般・文系コース	-	-					
	進学クラス	E	27	26	4	1	31	
	文系クラス	F	28	26	4	1	31	
体育系コース	G	28	25	2	1	28		
生徒数小計(人)			226					
生徒数合計(人)			707					

⑥学納金

(単位 円)

項目		初年度	次年度以降
学納金	入学金	200,000	—
	授業料	396,000	396,000
	教材充実料	24,000	24,000
	施設設備資金	200,000	—
	合計	820,000	420,000

【授業料の免除・徴収猶予】

○麻布大学附属渋野辺高等学校学則

第25条の2 本校は、体育系コースに有為な人材確保と育成に資することを目的として、優秀であると認められた場合は、授業料及び入学金を免除することがある。

○麻布大学附属渋野辺高等学校普通科体育系コース規則

第7条 学則第25条の2により、本コースの奨学生として決定され、本校に入学する者について授業料及び入学金を免除することができる。

⑦奨学金

種類	貸与・給付の別	対象・条件	金額
麻布大学附属渋野辺高等学校普通科体育系コース奨学生	給付 (免除)	普通科体育系コースに入学を希望する者で中学校在学中におけるクラブ活動で一定の成績を修めた者	授業料相当額(3年間) 入学金相当額
高等学校等就学支援金(国の制度)	給付	高等学校等在学者(全在学者)	月額9,900円(年額118,800円) 加算支給の場合あり
神奈川県	私立高等学校等生徒学費補助金	神奈川県内の私立の高等学校等在学者で、生徒・保護者が共に神奈川県在住であり、保護者の住民税の内、市町村民税所得割額が一定の基準を満たす場合	入学金 99,000円 授業料(年額) 118,800円～420,000円 (市町村民税所得割額等の基準により異なる。)
	私立学校生徒学費緊急支援補助金	神奈川県内の私立の小・中学校、高等学校等在学者で、生徒・保護者が共に神奈川県在住であり、保護者の前年4月1日以降に生じた会社都合による退職、倒産、死亡、離婚等により、家計が急変して当年中の所得金額が一定の所得基準に該当する場合	高等学校等の授業料(年額) 59,400円又は118,800円(所得により異なる。)
	高等学校奨学金	神奈川県在住で、県内の高等学校等に在学する者又は保護者が神奈川県在住で、高等学校等に在学する者 収入要件及び成績要件を満たす者	私立 30,000円、40,000円より選択(月額)
東京都私学財団	私立高等学校等授業料軽減助成	生徒・保護者が共に東京都内住であり、東京都域外にある私立の高等学校等に在学する者で、所得等が一定の基準を満たす場合	授業料(年額) 99,400円～179,400円 (所得等の基準により異なる。)
	東京都育英資金	生徒・保護者が共に東京都内住であり、高等学校等に在学する者で、経済的理由により修学が困難であること等	私立高等学校 35,000円(月額)

【奨学金貸与・給付者数】

平成23年3月31日現在
(人)

区分	1年次	2年次	3年次	小計	合計
麻布大学附属渋野辺高等学校普通科体育系コース奨学生	3	3	3	—	9
神奈川県					
私立高等学校等生徒学費補助金	91	60	67	218	242
私立学校生徒学費緊急支援補助金	0	0	0	0	
高等学校奨学金	14	4	6	24	
公益財団法人東京都私学財団					
私立高等学校等授業料軽減助成	18	18	16	52	57
東京都育英資金	4	0	1	5	
合計	130	85	93	—	308

⑧生徒表彰

◇成績優等賞

各学年で教科・科目の成績が優秀な者で、出席常にして品行方正で他の模範たるものを表彰する。
特典として、2・3学年の生徒は、授業料が免除される。(学年で各3人)
また、卒業時には、越智賞(1人)及び竹岸・越智賞(6人程度)を授与することがある。

◇1か年精勤賞

欠席1日以内の者で、欠課時数が6時間以内の者を表彰する。

◇3か年精勤賞

各学年間で精皆勤の者を表彰する。

◇皆勤賞(1か年・3か年)

各学年間欠席・遅刻・早退・欠課が皆無の者を、1・2学年にあつては学年末に、3学年は卒業式に表彰する。
なお、3か年皆勤者には、特典として卒業時に記念品が授与される。

◇特別功労賞

次の(1)～(5)の功績等を挙げ、学校の名譽を著しく高めた生徒を卒業時に表彰する。なお、1・2年生においても、特別の場合は表彰することがある。

- (1) 体育クラブ: 関東大会・全国大会・国体・国際試合等の代表となった個人及びチーム
- (2) 文化クラブ: 研究・作品発表等で優秀であり、県大会以上で受賞したもの
- (3) 読書感想文等のコンクールで優秀であり、県大会以上で受賞したもの
- (4) 人命救助等で善行賞に相当する栄誉又は評価を受けたもの
- (5) (1)～(4)以外のもので、選考委員会において選出されたもの

⑨平成22年度卒業生数及び進路状況

平成23年5月1日現在
(人)

	卒業生数	就職	進学					その他(浪人等)
			麻布大学	他大学	短期大学	専門学校・各種学校	その他(留学等)	
一般コース	198	1	25	96	10	32	2	32
体育系コース	28	0	0	13	1	8	0	6
合計	226	1	25	109	11	40	2	38

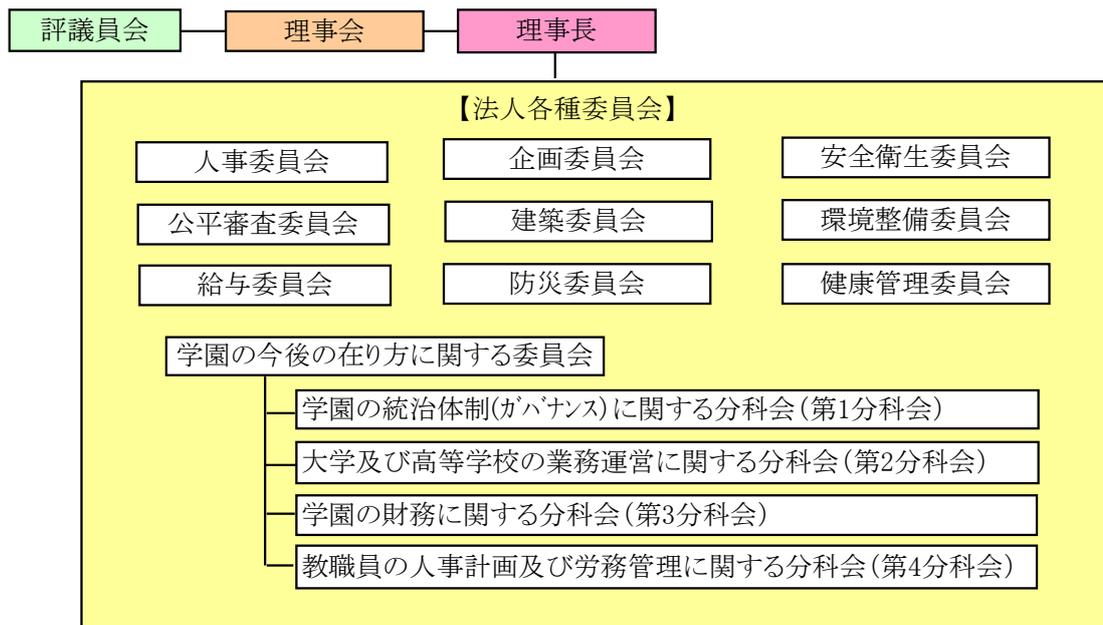
⑩平成23年度入学者選抜結果

平成23年5月1日現在
(人)

区分	募集人員	平成23年度						平成22年度				平成21年度			
		志願者		合格者	入学者			志願者	入学者			志願者	入学者		
		計	計	計	男	女	計	計	男	女	計	計	男	女	計
推薦入試	129	89	89	89	55	34	89	99	51	48	99	95	58	37	95
一般入試	129	399	397	394	59	82	141	384	69	85	154	283	48	87	135
合計	258	488	486	483	114	116	230	483	120	133	253	378	106	124	230

II-3. 管理運営の概要

(1) 学園運営に係る会議等



(2) 会議等の開催状況

① 理事会

月 日	会議等	議 事 内 容
4月27日	第1回理事会	I 審議事項 1) 理事長の選任について 2) 学長の給与格付けについて 3) 「8号館1階増築工事」の工事名称変更及び当該工事の設計・監理業務の委託について(案) 4) 「麻布大学事務局新設工事」の見積要項書及び施工業者の選定について(案) II 報告事項 1) 職員の人事異動について 2) 平成21年度麻布大学・大学院及び附属淵野辺高等学校の卒業生数及び修了者数について 3) 平成22年度麻布大学・大学院及び附属淵野辺高等学校の入学生数について 4) 第61回獣医師国家試験結果について 5) 第56回臨床検査技師国家試験結果について 6) 平成22年度法人各種委員会委員について 7) (仮称)学校法人麻布獣医学園訴訟総括委員会報告について 8) SMAによる資産運用状況について 9) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について 10) 「コンパニオン・ドッグ・ラボラトリ」及び「テニスコート」の竣工について 11) 大学評議会報告について 12) 高等学校職員会議報告について III その他 1) 臨時理事会の開催について 2) その他 ①平成22年度役員研修会について
5月20日	第1回臨時理事会	I 審議事項 1) 資産運用について 2) 「麻布大学事務局新設工事」の設計・監理金額について(案) II その他 1) 監事1人の辞任について 2) 平成22年度役員研修会について

月 日	会議等	議 事 内 容
5月27日	第2回理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成21年度事業の実績及び決算について <ol style="list-style-type: none"> (1) 事業報告書 (2) 資金収支計算書及び消費収支計算書 (3) 貸借対照表 (4) 財産目録 (5) 監事監査報告書 2) 「麻布大学事務局新設工事」の実施設計図書の決定について(案) 3) (仮称) エネルギーセンターの設計変更に伴う実施設計図書の決定について(案) 4) 「麻布大学(仮称)新3号館・新体育館の建築に係る借入金」の借入内容の変更について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) SMAによる資産運用状況について 2) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について 3) 競争的資金等(公的機関)獲得状況について 4) 大学評議会報告について 5) 高等学校職員会議報告について 6) 決議無効確認等請求事件に係る訴訟の第9回口頭弁論について 7) 会計検査院の实地検査結果について 8) 平成22年度卒業生子女対象大学説明会・見学会について 9) その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 厳重注意処分無効確認請求控訴事件の判決確定について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 中期目標・中期計画(平成21年度～平成26年度)の実施状況について 2) その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 宮崎県の口蹄疫発生に伴う支援等について
5月27日	第3回理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成21年度事業の実績及び決算について <ol style="list-style-type: none"> (1) 事業報告書 (2) 資金収支計算書及び消費収支計算書 (3) 貸借対照表 (4) 財産目録 (5) 監事監査報告書 2) 「麻布大学(仮称)新3号館・新体育館の建築に係る借入金」の借入内容の変更について
6月29日	第4回理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 「麻布大学事務局新設工事」の施工業者の決定について(案) <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 監事の選任について 2) 事務職員の人事について 3) (仮称)学園の今後の在り方に関する検討委員会の設置(案)について 4) SMAによる資産運用状況について 5) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について 6) 学長として3期目を務めるに当たって 7) 大学評議会報告について 8) 麻布大学としての口蹄疫への取組について 9) 高等学校職員会議報告について 10) 事務職員の資質向上について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 日本獣医師会からの産業動物診療活動復興を期しての支援活動の依頼について ② 麻布大学附属澁野辺高等学校の管理運営体制について

月 日	会議等	議 事 内 容
7月27日	第5回理事会	<p>I 審議事項</p> <p>1) 教員の人事(案)について</p> <p>2) (仮称)学園の今後の在り方に関する検討委員会の設置(案)について</p> <p>II 報告事項</p> <p>1) 事務職員の人事について</p> <p>2) 事務職員の募集について</p> <p>3) 第1・四半期の資金収支報告について</p> <p>4) 第1・四半期の資金残高及び資産運用報告について</p> <p>5) SMAによる資産運用状況について</p> <p>6) 第1・四半期の麻布大学附属動物病院の運営状況報告について</p> <p>7) 大学教育・学生支援推進事業「大学教育推進プログラム」の申請について</p> <p>8) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について</p> <p>9) 宮崎県口蹄疫被害に対する義援金の送付について</p> <p>10) 大学評議会報告について</p> <p>11) 高等学校職員会議報告について</p> <p>III その他</p> <p>1) 日本獣医師会からの産業動物診療活動復興を期しての支援活動の依頼について</p>
9月28日	第6回理事会	<p>I 審議事項</p> <p>1) 平成22年度給与の取扱い(案)について</p> <p>2) 「非常勤職員の手当に係る取扱いについて」の一部改正(案)について</p> <p>3) 平成23年度予算編成大綱(案)について</p> <p>II 報告事項</p> <p>1) 事務職員の人事について</p> <p>2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について</p> <p>3) (仮称)学校法人麻布獣医学園訴訟総括委員会報告について</p> <p>4) SMAによる資産運用状況について</p> <p>5) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について</p> <p>6) 学校教育法第109条第2項に基づく平成22年度大学基準協会認証評価に係る実地視察について</p> <p>7) 大学評議会報告について</p> <p>8) 高等学校報告について</p> <p>9) 決議無効確認等請求に係る訴訟の第10回口頭弁論について</p> <p>10) その他</p> <p>①構内の喫煙対策について</p> <p>②麻布大学ホームカミングデーについて</p>
10月26日	第7回理事会	<p>I 審議事項</p> <p>1) 寄附講座の設置(案)について</p> <p>2) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の正式建物名称について(案)</p> <p>3) 学校法人麻布獣医学園事務組織規程の一部改正(案)について</p> <p>II 報告事項</p> <p>1) 事務職員の人事について</p> <p>2) 給与制度改革に係るこれまでの経緯について</p> <p>3) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について</p> <p>4) (仮称)学校法人麻布獣医学園訴訟総括委員会報告について</p> <p>5) 第2・四半期の資金収支報告について</p> <p>6) 第2・四半期の資金残高及び資産運用報告について</p> <p>7) SMAによる資産運用状況について</p> <p>8) 第2・四半期の麻布大学附属動物病院の運営状況報告について</p> <p>9) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について</p> <p>10) 「(仮称)新3号館・新体育館」竣工式の日程について</p> <p>11) 「麻布大学事務局新設工事」の竣工について</p> <p>12) 学校教育法第109条第2項に基づく平成22年度大学基準協会認証評価に係る実地視察結果について</p> <p>13) 大学評議会報告について</p> <p>14) 高等学校報告について</p> <p>15) 決議無効確認等請求に係る訴訟の判決について</p> <p>III その他</p> <p>1) 学校法人麻布獣医学園に関わる訴訟の総括について(第1次答申)の取扱いについて</p>

月 日	会議等	議 事 内 容
11月30日	第8回理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の人事(案)について 2) 麻布大学寄附講座及び寄附研究部門に関する規程の制定(案)並びに同規程の制定に伴う関係規則の一部改正(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事務職員の人事について 2) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について 3) SMAによる資産運用状況について 4) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について 5) 学校法人の監事研修会の出席報告について 6) 大学評議会報告について 7) 高等学校報告について 8) 麻布大学ホームカミングデーの実施結果について
12月21日	第9回理事会	<p>I 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 事務職員の人事について 2) 平成23年度麻布大学推薦等入学試験・編入学試験結果について 3) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について 4) SMAによる資産運用状況について 5) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について 6) 麻布大学に対する大学評価(認証評価)結果(委員会案)について 7) 大学評議会報告について 8) 高等学校報告について 9) 麻布大学附属沼野辺高等学校普通科体育系コース規則及び同コース奨学生規則の一部改正について 10) 決議無効確認等請求に係る訴訟の控訴状の受理について <p>II その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の退職に伴う補充について
1月25日	第10回理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成23年度予算要望(人員)(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について 2) (仮称)学校法人麻布獣医学園訴訟総括委員会報告について 3) 麻布大学(仮称)新3号館の建築に係る借入金について 4) 第3・四半期の資金収支報告について 5) 第3・四半期の資金残高及び資産運用報告について 6) SMAによる資産運用状況について 7) 第3・四半期の麻布大学附属動物病院の運営状況報告について 8) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について 9) 平成22年度「口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備」の申請について 10) 平成23年度麻布大学一般入学試験等の志願者状況について 11) 大学評議会報告について 12) 高等学校報告について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成23年度予算概要について

月 日	会議等	議 事 内 容
2月24日	第11回理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 理事及び評議員の補充について 2) 教員の人事(案)について 3) 麻布大学大学院学則の一部改正(案)について 4) 平成23年度事業計画(案)について 5) 平成23年度予算(案)について 6) 創立125周年記念事業準備委員会の設置について(案) <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について 2) SMAによる資産運用状況について 3) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について 4) 平成23年度麻布大学入学試験結果について 5) 平成23年度麻布大学附属淵野辺高等学校入学試験結果について 6) 平成22年度「口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境の整備」の申請結果について 7) 大学評議会報告について 8) 高等学校報告について 9) 決議無効確認等請求控訴事件等に係る訴訟の第1回口頭弁論について 10) 麻布獣医学園職員会からの2010年度要求書について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成23年度理事会・評議員会開催予定(案)について 2) 麻布大学及び麻布大学附属淵野辺高等学校の卒業式について
2月24日	第12回理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成23年度事業計画(案)について 2) 平成23年度予算(案)について
3月22日	第13回理事会	<p>I 審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 麻布大学附属淵野辺高等学校校長の人事(案)について 2) 教員の人事(案)について 3) 契約職員の採用(案)について 4) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会第1次答申の取扱いについて 5) 学校法人麻布獣医学園消防計画及び関係規程の一部改正(案)について 6) 動物病院診療料金の一部改定(案)について <p>II 報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職員の処分について 2) 契約講師の採用について 3) SMAによる資産運用状況について 4) 「麻布大学(仮称)新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について 5) 第62回獣医師国家試験結果について 6) 大学評議会報告について 7) 高等学校報告について 8) 決議無効確認等請求控訴事件等に係る訴訟の判決について 9) 東北地方太平洋沖地震の発生に伴う対応について <p>III その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成23年度 麻布大学・麻布大学附属淵野辺高等学校の行事予定について

②理事懇談会

月 日	行 事	議 事 内 容
4月27日	第1回理事懇談会	1) 投資環境の現状と今後の見通しについて
9月28日	第2回理事懇談会	<ol style="list-style-type: none"> 1) ダイワグローバル債券ファンドの運用状況報告及び今後の見通し 2) SMA(投資一任契約)による資産運用について
10月26日	第3回理事懇談会	1) SMA(投資一任契約)による資産運用について

③評議員会

月日	行事	議事内容
5月27日	第1回評議員会	I 報告事項 1) 「麻布大学（仮称）新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について 2) 学園の資産運用状況について 3) 中期目標・中期計画（平成21年度～平成26年度）の実施状況について II 審議事項 1) 平成21年度事業の実績及び決算について (1) 事業報告書 (2) 資金収支計算書及び消費収支計算書 (3) 貸借対照表 (4) 財産目録 (5) 監事監査報告書 2) 「麻布大学（仮称）新3号館・新体育館の建築に係る借入金」の借入内容の変更について 3) 監事1人の辞任に伴う補充について
2月24日	第2回評議員会	I 報告事項 1) 平成23年度麻布大学入学試験結果について 2) 平成23年度麻布大学附属渋野辺高等学校入学試験結果について 3) SMAによる資産運用状況について 4) 「麻布大学（仮称）新3号館・エネルギーセンター・新体育館建築工事」の進捗状況について 5) 麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会報告について 6) 創立125周年記念事業準備委員会の設置について II 審議事項 1) 理事の逝去に伴う対応について 2) 平成23年度事業計画（案）について 3) 平成23年度予算（案）について III その他 1) 平成23年度評議員会開催予定（案）について 2) 評議員選挙管理委員会委員について

④麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会

月日	行事	議事内容
9月29日	第1回麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会	1. 委員会設置に至る経緯について 2. 各検討事項について 3. 検討の進め方について 4. その他
2月15日	第2回麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会	1. 学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会(第1分科会)からの第1次報告について

⑤学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会[麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会 第1分科会]

月日	行事	議事内容
10月6日	第1回学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会	1. 委員会設置に至る経緯について 2. 第1分科会検討事項について 3. 検討の進め方について 4. その他
11月9日	第2回学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会	1. 学園の統治(ガバナンス)体制に関する検討課題の確認について 2. 各課題の検討について 3. その他
12月16日	第3回学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会	1. 各課題(寄附行為関係事項)の検討について 2. その他
2月7日	第4回学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会(持ち回り)	1. 第1分科会第1次報告(案)について

⑥学園の財務に関する分科会 [麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会 第3分科会]

月日	行事	議事内容
3月23日	第1回学園の財務に関する分科会	1. 委員会設置に至る経緯について 2. 第3分科会検討事項について 3. 検討の進め方について 4. その他

⑦教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会 [麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会 第4分科会]

月日	行事	議事内容
12月14日	第1回教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会	1. 委員会設置に至る経緯について 2. 第4分科会検討事項について 3. 検討の進め方について 4. その他
2月8日	第2回教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会	1. 給与制度の見直しについて 2. 教職員の人事計画及び労務管理について 3. その他

⑧給与委員会

月日	行事	議事内容
4月27日	第1回給与委員会	平成22年4月1日付け昇格に伴う格付について
6月29日	第2回給与委員会	平成22年7月1日付け新規採用者の格付について 平成22年10月1日付け昇格に伴う格付について
7月27日	第3回給与委員会	平成22年8月1日付け新規採用特任教員の給与について 平成22年10月1日付け昇格に伴う格付について
9月28日	第4回給与委員会	平成22年10月1日付け新規採用者の格付について
11月30日	第5回給与委員会	平成23年4月1日付け新規採用者の格付について 平成22年12月1日付け新規採用特任教員の給与について
1月25日	第6回給与委員会	平成23年4月1日付け新規採用者の格付について
3月22日	第7回給与委員会	特任教員の給与について 平成23年4月1日付け昇格に伴う格付について

⑨防災委員会

月日	行事	議事内容
3月2日	第1回防災委員会	1. 学校法人麻布獣医学園消防計画の一部改正(案)について 2. その他

⑩環境整備委員会

月日	行事	議事内容
5月14日	第1回環境整備委員会	1. 委員の一部変更について 2. 受動喫煙防止対策について 3. その他
8月3日	第2回環境整備委員会	1. 学校敷地内禁煙化に関するアンケートの途中報告について 2. その他

⑪安全衛生委員会

月日	行事	議事内容
4月26日	第1回安全衛生委員会	1. 平成22年度安全衛生管理実施計画(案)について 2. その他
5月31日	第2回安全衛生委員会	1. 学内巡視の状況について 2. その他
6月28日	第3回安全衛生委員会	1. 学内巡視の状況について 2. 職員会推薦委員の推薦依頼について 3. その他
7月22日	第4回安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成22年度安全衛生委員会議事要旨の周知について 2. 事務職員の超過勤務状況について 3. その他

月 日	行 事	議 事 内 容
8月26日	第5回安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成22年7月の事務職員の超過勤務状況について 2. その他
9月27日	第6回安全衛生委員会	1. 学内巡視の状況について 2. その他
10月25日	第7回安全衛生委員会	1. 学内巡視の状況について 2. その他
11月26日	第8回安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成22年10月の事務職員の超過勤務状況について 2. その他
12月21日	第9回安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成22年11月の事務職員の超過勤務状況について 2. その他
1月24日	第10回安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成22年12月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他
2月21日	第11回安全衛生委員会	1. 平成23年度安全衛生委員会開催日程及び職場巡視日程(案)について 2. 平成23年度安全衛生管理活動計画表(案)について 3. その他
3月23日	第12回安全衛生委員会 (持ち回り)	1. 平成23年2月の事務職員の超過勤務状況について 2. 学内巡視の状況について 3. その他

⑫健康管理委員会

月 日	行 事	議 事 内 容
10月25日	第1回健康管理委員会 (持ち回り)	1. 平成23年度事業計画について 2. 平成23年度予算について

(3)平成22年度 麻布獣医学園・麻布大学・麻布大学附属沼野辺高等学校 行事報告

	麻布獣医学園	麻布大学				麻布大学附属 沼野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
4月	26日 第1回 安全衛生委員会	1日 在学生健康診断 (～5日)	6日 教授会	2日 学部教務委員会 (持ち回り)	14日 環境保健学 研究科委員会	5日 始業式
	27日 第1回理事懇談会	5日 入学式	27日 学部教務委員会	12日 教授会	26日 獣医学研究 科委員会	5日 職員会議
	27日 第1回理事会	6日 入学者健康診断		23日 学部教務委員会 (持ち回り)		6日 部長会議
	27日 第1回給与委員会	6日 入学者オリエン テーション(～10日)				7日 入学式
		7日 授業開始 (在学生)				8日 オリエンテーション①
		9日 フレッシュマンゼミ (～10日)				12日 オリエンテーション②
		12日 授業開始 (入学者)				13日 部長会議
		12日 生物研運営委員会				15日 運営委員会
		20日 研究推進・支援 本部会				20日 部長会議
		21日 評議会				27日 部長会議
		23日 学生委員会				30日 8/30代替授業
		26日 動物病院運営 会議				
	5月	14日 第1回 環境整備委員会	10日 合同地方自治体 (公務員)説明会	6日 教授会	10日 教授会	13日 環境保健学 研究科委員会
18日 平成21年度決算に 係る学内監査		10日 生物研運営委員会 (持ち回り)	31日 学部教務委員会 (持ち回り)		24日 獣医学研究 科委員会	11日 部長会議
20日 第1回臨時理事会		12日 就職活動対策 講座(～6/16 毎週水曜日)				15日 後援会総会
24日 会計検査院による 実地検査(～25日)		15日 父母会理事会				17日 全校模試
27日 第2回理事会		19日 評議会				18日 部長会議
27日 第1回評議員会		19日 生物研セミナー				20日 運営委員会
27日 第3回理事会		23日 卒業生子女対象 大学説明会・ 見学会				25日 中間試験 (～27日)
31日 第2回 安全衛生委員会		24日 キャリア・就職対策 支援委員会				
		25日 動物病院運営 会議(持ち回り)				
		25日 生物研セミナー				
		26日 研究推進・支援 本部会				
		28日 生物研プロジェクト 成果報告会				
		31日 初年次開講科目 担当教員 FD研修会				
	31日 合同企業面接会					

麻布獣医学園	麻布大学				麻布大学附属 沼辺高校	
	全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院		
6月	28日 第3回 安全衛生委員会	1日 国際交流委員会 (持ち回り)	7日 教授会	3日 学部教務委員会 (持ち回り)	28日 獣医学研究 科委員会	1日 部長会議
	29日 第4回理事会	6日 オープンセミナー	25日 学部教務委員会 (持ち回り)	14日 教授会		8日 部長会議
	29日 第2回給与委員会	11日 研究推進・支援 本部セミナー				9日 麻布大学入試 説明会
		14日 生物研運営委員会				10日 職員会議
		16日 合同動物病院 説明会(就職)				11日 塾対象説明会
		17日 研究推進・支援 本部会				14日 修学旅行 (～19日)
		18日 学術情報センター 運営委員会				15日 部長会議
		19日 父母会定期 総会・代議員会				17日 運営委員会
		21日 動物病院運営 会議				22日 部長会議
		21日 ファッションセミナー(就職)				29日 部長会議
		23日 評議会				30日 学校評議員会
		23日 学業成績 優秀者表彰式				30日 学校評価委員会
		28日 キャリア・就職支援 対策委員会				
		29日 生物研運営委員会 (持ち回り)				
		30日 国際ハイEXPO (～7/2)				
7月	15日 役員研修会 (～16日)	2日 NOSAI採用説明会	5日 教授会	12日 教授会	21日 環境保健学 研究科委員会	6日 部長会議
	22日 第4回 安全衛生委員会 (持ち回り)	6日 教職員健康診断 (～7日)			26日 獣医学研究 科委員会	6日 期末試験 (～9日)
	27日 第5回理事会	8日 生物研セミナー				13日 部長会議
	27日 第3回給与委員会	11日 オープンセミナー				17日 進路ガイダンス (～18日)
		12日 生物研運営委員会				21日 夏期休業 (～8月31日)
		15日 臨時研究推進・ 支援本部会				
		21日 教務委員会				
		21日 評議会				
		22日 学生委員会				
		23日 前期定期試験 (～30日)				
		26日 キャリア・就職支援 対策委員会				
		26日 動物病院運営 会議				
		27日 研究推進・支援 本部会				
		27日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)				
		28日 市民大学 (～9/1, 全5回)				
		29日 教務担当者 FD研修会				
		31日 オープンキャンパス (～8/1)				

	麻布獣医学園	麻布大学				麻布大学附属 刈野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
8月	3日 第2回 環境整備委員会 26日 第5回 安全衛生委員会 (持ち回り)	1日 夏期休業 (~9/14) 4日 研究推進・支援 本部取扱補助金 パネル報告会 5日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 8日 父母会広島会場 地区懇談会 9日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 10日 生物研運営委員会 (持ち回り) 21日 父母会仙台会場 地区懇談会 28日 麻布獣医学会 29日 父母会さいたま 会場地区懇談会	2日 教授会	3日 教授会	5日 環境保健学 研究科入学 試験 6日 環境保健学 研究科委員会 9日 環境保健学 研究科入学 試験合格発表	22日 学校説明会 23日 転入学・編入 学試験
9月	9日 (仮称)学校法人麻布獣医 学園訴訟総括委員会 27日 第6回 安全衛生委員会 28日 第2回理事懇談会 28日 第6回理事会 28日 第4回給与委員会 29日 第1回麻布獣医学園 の今後の在り方に関 する委員会	5日 オープンセミナー 6日 スキルアップのための FD研修会 9日 職務発明審査 委員会 9日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 12日 父母会大阪会場 地区懇談会 15日 前期追再試験 (~24日) 22日 評議会 22日 自己点検・評価 委員会 24日 業界セミナー:酪農・ 乳業メーカー編 (就職) 27日 キャリア・就職支援 対策委員会 27日 後期授業開始 27日 動物病院運営 会議 29日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り) 29日 就職活動実戦 講座①(~11/24 毎週水曜日) 29日 研究推進・支援 本部会	25日 AO入試(2次) 27日 学部教務委員会	22日 学部教務委員会 24日 環境科学科 インターンシップ 報告会	2日 獣医学研究 科獣医学専 攻入学試験 2日 獣医学研究 科動物応用 科学専攻入 学試験(~3日) 7日 獣医学研究 科委員会 8日 獣医学研究 科合格発表	2日 職員会議 7日 部長会議 8日 体育祭 9日 塾対象説明会 11日 文化祭 (~12日) 17日 前期終業式 21日 部長会議 24日 8/31代替授業 26日 体育系コース 修学旅行 (~30日) 27日 後期始業式 28日 部長会議 30日 運営委員会

麻布獣医学園	麻布大学				麻布大学附属 刈野辺高校
	全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
10月	6日 第1回学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会	1日 研究推進・支援本部セミナー	1日 学部教務委員会(持ち回り)	4日 学部教務委員会(持ち回り)	5日 部長会議
	21日 (仮称)学校法人麻布獣医学園訴訟総括委員会	4日 教育推進センター・教務委員会合同会議	1日 AO入試(2次面接)(~5日)	12日 教授会	7日 職員会議
	25日 第7回安全衛生委員会	4日 女子学生リクルートメイク&ファッションセミナー(就職)	4日 教授会	18日 臨時教授会	25日 獣医学研究科委員会
	25日 第1回健康管理委員会(持ち回り)	8日 業界セミナー:食肉卸業界編(就職)	21日 臨時教授会	29日 学部教務委員会	12日 部長会議
	26日 第3回理事懇談会	10日 オープンセミナー	25日 AO入試合否通知日		17日 学校説明会
	26日 第7回理事会	11日 グループ・ディスカッション対策実習	25日 学部教務委員会		19日 部長会議
		12日 キャリア・就職支援対策委員会(持ち回り)	26日 動物応用科学科インターンシップ報告会		19日 中間試験A(~21日)
		12日 生物研運営委員会			26日 部長会議
		14日 臨時研究推進・支援本部会			
		14日 消防訓練			
		15日 業界セミナー:製薬業界(MR)編(就職)			
		16日 父母会関東甲信越地区個人面談			
		18日 教務委員会(持ち回り)			
		18日 動物病院運営会議			
		19日 大学基準協会による認証評価実地視察			
		20日 評議会			
		22日 業界セミナー:中食業界編(就職)			
		25日 キャリア・就職支援対策委員会			
		25日 研究推進・支援本部会			
		26日 教務委員会(持ち回り)			
		26日 学生委員会			
		27日 研究推進・支援本部セミナー			
		27日 キャリア・就職支援対策委員会(持ち回り)			
		28日 動物慰霊祭			
		28日 生物研セミナー			
		29日 学術情報センター運営委員会			
		29日 大学祭(~31)			
		31日 ホームcomingデー			

	麻布獣医学園	麻布大学				麻布大学附属 刈野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
11月	9日 第2回学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会	4日 キャリア・就職支援対策委員会(持ち回り)	1日 教授会	8日 教授会	10日 環境保健学 研究科委員会	1日 全校模試
	26日 第8回安全衛生委員会(持ち回り)	6日 麻布環境科学 研究会	15日 動物応用科学 科進路報告会	13日 指定校特別 推薦入学試験	22日 獣医学研究 科委員会	2日 部長会議
	30日 第8回理事会	7日 オープンセミナー	20日 獣医学部 推薦・特別 入学試験	13日 環境特別 入学試験		4日 運営委員会
	30日 第5回給与委員会	7日 文章力強化講座 ①(就職)	21日 獣医学部 編入学試験	19日 環境科学科 就活報告会		9日 部長会議
		8日 生物研運営委員会	26日 臨時教授会	20日 生命・環境科学部 推薦・特別入学 試験, 編入学 試験(I期)		11日 職員会議
		10日 キャリア・就職支援 対策委員会 (持ち回り)	29日 学部教務委員会	25日 臨時教授会		12日 1・2年生対象 麻布大学 説明会
		10日 就職活動実戦 講座②(~11/24 毎週水曜日)				16日 部長会議
		12日 業界セミナー:検査 業界編(就職)				28日 学校説明会
		14日 文章力強化講座 ②(就職)				30日 部長会議
		15日 研究推進・支援 本部セミナー				
		15日 研究推進・支援 本部会				
		17日 教務委員会				
		17日 評議会				
		21日 模擬面接対策実習				
		22日 キャリア・就職支援 対策委員会				
		22日 動物病院運営 会議				
		24日 アグリビジネス創出 フェア2010(~26日)				
	29日 合同企業説明会 (~11/30)					

	麻布獣医学園	麻布大学				麻布大学附属 刈野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
12月	14日 第1回教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会 16日 第3回学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会 21日 第9回安全衛生委員会(持ち回り) 21日 第9回理事会 27日 (仮称)学校法人麻布獣医学園訴訟総括委員会	1日 キャリア・就職支援対策委員会(持ち回り) 6日 教育推進センター・教務委員会合同会議 7日 研究推進・支援本部セミナー 8日 就活大質問会 11日 父母会理事会 13日 キャリア・就職支援対策委員会(持ち回り) 13日 生物研セミナー 13日 生物研運営委員会 13日 動物病院運営会議 15日 評議会 16日 フレッシュヤーズセミナー担当者会議 17日 マイナビ・就活ガイダンス 17日 職務発明審査委員会 20日 教務委員会(持ち回り) 22日 研究推進・支援本部会 23日 冬期休業(~1/7)	1日 獣医学部推薦・特別入学試験,編入学試験合格発表 6日 教授会 7日 動物応用科学科インターシップ報告会(~10日) 21日 学部教務委員会	1日 生命・環境科学部推薦・特別入学試験,編入学試験合格発表 1日 学部教務委員会 13日 教授会 14日 学部教務委員会(持ち回り) 24日 臨時教授会	8日 環境保健学研究科委員会 20日 獣医学研究科委員会	6日 中間試験B(~9日) 16日 第1回内選会議 20日 第2回内選会議 22日 職員会議 22日 転入学・編入学試験 22日 第3回内選会議 25日 冬季休業(~1/7)
1月	24日 第10回安全衛生委員会(持ち回り) 25日 第10回理事会 25日 第6回給与委員会	11日 学術情報センター運営委員会(持ち回り) 11日 授業開始 15日 大学入試センター試験(~16日) 17日 生物研運営委員会(持ち回り) 19日 評議会 24日 キャリア・就職支援対策委員会 24日 動物病院運営会議 25日 学生委員会 25日 教務委員会 26日 生物研セミナー 26日 研究推進・支援本部会 27日 研究推進・支援本部セミナー 28日 教務委員会(持ち回り)	11日 教授会 31日 学部教務委員会	17日 教授会 17日 学部教務委員会(持ち回り)	12日 環境保健学研究科委員会 25日 臨時環境保健学研究科委員会 31日 獣医学研究科委員会	11日 授業開始 12日 部長会議 18日 卒業認定会議 18日 部長会議 20日 運営委員会 21日 推薦入学試験 24日 学校評議員会 25日 部長会議 31日 全校模試

	麻布獣医学園	麻布大学				麻布大学附属 沼野辺高校
		全学	獣医学部	生命・環境科学部	大学院	
2月	7日 第4回学園の統治体制(ガバナンス)に関する分科会(持ち回り)	1日 キャリア・就職支援対策委員会(持ち回り)	3日 獣医学科一般入学試験	5日 生命・環境科学部一般入学試験(A日程)	9日 環境保健学研究科委員会	1日 部長会議 3日 職員会議
	8日 第2回教職員の人事計画及び労務管理に関する分科会	8日 後期定期試験(～15日)	4日 動物応用科学科一般入学試験	6日 生命・環境科学部一般入学試験(B日程)	25日 環境保健学研究科入学試験	8日 部長会議 10日 一般入学試験
	15日 第2回麻布獣医学園の今後の在り方に関する委員会	10日 キャリア・就職支援対策委員会(持ち回り)	10日 教授会	7日 生命・環境科学部一般入学試験(C日程)	28日 獣医学研究科委員会	11日 入試判定会議 12日 一般入学試験合格発表
	21日 第11回安全衛生委員会	14日 生物研運営委員会	15日 獣医学部一般入学試験等合格発表	14日 教授会	28日 臨時環境保健学研究科委員会	14日 体育系コーススキー実習(～17日)
	24日 第11回理事会	21日 動物病院運営会議	16日 学部教務委員会(持ち回り)	16日 学部教務委員会(持ち回り)		
	24日 第2回評議員会	21日 公務員ガイダンス	24日 動物応用科学科センター試験利用入試(Ⅱ期)	16日 生命・環境科学部一般入学試験合格発表		15日 部長会議
	24日 第12回理事会	22日 研究推進・支援本部会				22日 部長会議
		23日 後期追再試験(～3/1)				24日 職員会議
		23日 職務発明審査委員会				
		25日 フレッシュアップセミナー担当者会議				
		28日 キャリア・就職支援対策委員会				
		28日 キャリア・就職支援対策委員会(持ち回り)				
3月	2日 第1回防災委員会	2日 公務員試験対策集中講座(～11日)	3日 教授会	3日 学部教務委員会(持ち回り)	2日 環境保健学研究科入学試験合格発表	1日 卒業式 4日 一般入学試験(二次)
	22日 第13回理事会		4日 獣医学部転学部・転学科試験	5日 食品生命科学科一般入学試験(Ⅱ期)	3日 獣医学研究科獣医学専攻入学試験	7日 学年末試験(～10日)
	22日 第7回給与委員会	2日 教務委員会(持ち回り)				8日 部長会議
	23日 第12回安全衛生委員会(持ち回り)	2日 学生委員会	4日 動物応用科学科センター試験利用入試(Ⅱ期)可否発表	5日 環境科学科一般入学試験(Ⅱ期)	3日 獣医学研究科動物応用科学専攻入学試験(～4日)	14日 生徒臨時休業(～25日) 18日 職員会議
	23日 第1回学園の財務に関する分科会	3日 フレッシュアップセミナーサポート学生研修会(～4日)	16日 臨時教授会	7日 教授会		22日 部長会議
		4日 学術情報センター運営委員会(持ち回り)		10日 臨時教授会		
		7日 臨時学生委員会		11日 生命・環境科学部転学部・転学科試験	9日 環境保健学研究科委員会	
		9日 評議会		11日 生命・環境科学部一般入学試験(Ⅱ期)合格発表	9日 獣医学研究科入学試験合格発表	
		9日 学生功労賞表彰式				
		14日 動物病院運営会議(持ち回り)		17日 臨時教授会		
		15日 卒業式		24日 学部教務委員会		
		16日 研究推進・支援本部会				
		18日 平成22年度1年次クラス担任連絡会				
		24日 臨時評議会				
		25日 春期休業(～31日)				
		28日 生物研運営委員会				
		28日 キャリア・就職支援対策委員会				
		31日 国際交流委員会				

II-4. 前年度決算監査における監事要望事項の履行状況

1 全学共用機器整備管理について

〔要望事項〕

「麻布大学全学共用機器整備管理運営要項」に基づく全学共用機器整備管理運営委員会が事実上機能していない。新3号館竣工を視野に入れ、早期に取り組める体制を整備するよう要望する。

〔履行状況〕

平成21年度に定めた本学の中期目標において「教育効果を発揮するために必要な設備・機器・備品等については、整備計画を策定するとともに、必要な予算を確保する。併せて、その整備と有効活用に配意し、維持管理のためにその責任体制を明確化して、効率的な運用を図る。」こととした。このことから、平成22年度はこれまでの規程を整理し、新たな「全学共用機器整備基本方針」を策定「全学共用機器管理規程」を制定し、全学共用機器委員会を設置した。今後は、この委員会で新3号館に必要な機器を含め、向こう5年間の整備計画を策定することとしている。

なお、平成23年度予算には、全学共用機器の購入資金として、1億6千5百万円を予算計上している。

2 遊休不動産の有効活用等について

〔要望事項〕

永年にわたる未利用地で将来とも活用方法がない土地（茨城県桜川市）の処分や利用頻度が極めて低い施設（長野県信濃研修場）の有効活用等について検討するよう要望する。

〔履行状況〕

信濃研修場（長野県）及び茨城県桜川市（旧岩瀬町：町村合併による。）の不動産施設については、平成17年度にも処分の検討について要望があり、理事会としても現地視察や地元関係者との協議等検討を行ってきたところであるが、それら経過と現時点での状況は次のとおりである。

(1) 信濃研修場

建物施設の老朽化や利用率の低下等から、地元同窓会とも相談しながら、取りあえず平成19年度をもって使用を中止し、その後は、処分又はその他利活用の可能性について、検討することとしたところである。

平成21年7月に獣医学部動物応用科学科の野生動物学研究室から、①野生動物学実習の実施、②周辺住民・行政との交流、講演会、③卒業研究・大学院生の研究の拠点、等の施設として活用したいとの要望があり、教学面での利用となることから平成22年度から使用を再開した。

今後は、施設の整備も含め、使用上の安全確保に努めながら、継続して活用することとしたい。

(2) 茨城県桜川市

土地処分検討のため、平成21年度、22年度と現地視察を行った。

平成22年度の現地視察については、学外関係者も同行し現地視察を行ったが、前年度視察時と比べ竹藪の面積が相当拡大しており、周辺住宅等への影響が懸念されること及び定期的な手入れの必要性が生じてきていることを確認するとともに、同行学外関係者からも、現状では活用できる見込みではない等の見解が示された。

これらのことから、寄附、売却等も含め何らかの形で活用する場合にあっても、取付け道路がないことから極めて困難が予想されるが、早急に学園として対応方針をまとめることとしたい。

3 資産運用について

〔要望事項〕

SMA（投資一任契約）による施設設備引当特定預金 30 億円の運用については、毎月直近の資産運用状況を理事会に報告するなど規定に基づき適正に事務処理が行われている。また、理事会においても外部講師を招き勉強会を開催するなど運用に関する検討が行われている。しかし、決算時の時価評価額においては評価損を来していることから、今後、学園経営に大きな損失を及ぼさないよう対処方について理事会で慎重に検討するよう要望する。

〔履行状況〕

平成 19 年 7 月に開始した SMA による資産運用は、直後の平成 19 年秋頃に米国で発生したサブプライム・ローン問題により投資環境が悪化し、現在においてもその不調が続いている。

理事会では、これらに対処するため、毎月、運用状況を確認、検討しながら、証券会社による勉強会などを開催して投資環境の把握に努めているところである。

このような状況の下、理事会としては、平成 22 年 5 月 27 日開催の理事会において、「当面の資産運用方針について」を決定し、この中で、今後の方針として、①財政基盤を確実なものとするため、今後は、元本の保証のある資産運用以外には行わない。②現在運用している SMA の運用については、5 年間の投資期間をもって開始したこと及び現理事会が引き受けた以降、評価額が回復基調にあること等から、当面元本回収の見込みが立つまで保有する。③現在運用している SMA については、現理事会において終了させることが望ましいと考える。との結論に達した。

上記方針を踏まえ、引き続き投資環境の一層の把握に努めているが、現理事会の残任期間がほぼ 1 年となったことを踏まえ、本年 5 月の理事会及び評議員会までに、処分時期の考え方やその後の運用の在り方など、より具体的な対応方針を検討することとしている。

4 国家試験合格率の向上について

〔要望事項〕

本学園のアドバンテージとして、獣医師や臨床検査技師の国家試験受験資格がある。しかし、このところ国家試験合格率が低調である。それぞれ国家試験対策に取り組んでいるが、更に合格率向上について特段の努力を要望する。

〔履行状況〕

(1) 獣医師国家試験について

獣医学科では、獣医師国家試験対策として最終学年の 6 年次後期に「総合獣医学」を配当し、国家試験科目を総復習する時間に当てている。この教科は獣医学科長及び獣医学科の 5 つの教育系の系主任が持ち回りで共同コーディネーターとなり、前年度の授業評価などで寄せられた学生からの意見や試験問題の解析等を行って、学生の理解度を深める授業を行っている。具体的には、この授業科目を単なる補習という捉え方でなく獣医師国家試験対策としての位置付けを確認し、最近の国家試験の出題傾向を把握しながら、必要に応じて外部から非常勤講師を招聘したり、過去の出題問題を含め基礎獣医学系の科目から臨床・応用獣医学系まで全ての科目を網羅した模擬問題を各教員が作成、試験結果を毎回公表解説する等の形式をとって、学習の到達度を検証している。このことにより、学生は自らの弱点を知ることができ、次に向けての学習計画に結び付ける等して、国家試験の合格率向上を期している。

(2) 臨床検査技師国家試験について

臨床検査技術学科では、臨床検査技師国家試験対策として総合臨床検査学Ⅰ～Ⅴを 2 年次後期から 4 年次後期まで配当し、履修科目の総復習を行っている。このうち、総合臨床検査学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲでは、国家試験の概要や各科目の出題傾向を十分に把握させるとともに、既に履修した基礎的

内容の復習に重点を置いている。また、4年次前期に開講される総合臨床検査学Ⅳでは、過去10年間の国家試験出題問題を繰り返し行うことで、国家試験の回答形式に慣れさせるとともに、実力アップにつなげている。さらに4年次後期に開講される総合臨床検査学Ⅴでは、各科目担当教員の講義と独自に作成した問題を定期的に行うことにより、これまで科目ごとに履修してきた検査学を総合的に復習し、国家試験の合格を目指している。

5 監査室の機能充実について

〔要望事項〕

かねてから要望していた内部監査組織については、事務組織改組に伴い「監査室」が設置され、附属動物病院と附属浜野辺高等学校の实地調査が行われるなど機能し始めた。学園のガバナンス確保に大いに期待される場所である。将来的には、理事長直属の組織として機能の充実を図るよう要望する。

〔履行状況〕

これまでも回答してきたとおり、本学園の規模から、専任の内部監査体制を見送ってきた経緯があるが、平成21年度監査室を設置するに当たり、内部統制を意識しつつ、まずは学園の業務運営の根幹となる事務執行面で、法令順守、合法かつ合理的な業務執行意識の醸成、そして学園全体の業務改善につながるようなコンサルティング機能が生まれることを目指して取り組んだところである。今後は、教学監査も念頭に置いた理事長直属の組織として機能することも考慮しなければならないが、監査室が設置されてまだ間もないことから、当面は、監査室の人材育成及び機能の向上を図りつつ、経験を重ねながら内部統制の強化に努めることとしたい。

6 平成21年度実施の内部監査報告書に基づく要望について

〔要望事項〕

1) 附属浜野辺高等学校について

予算書作成時の事業計画及び執行方法に不備があるため、資金収支の実績が予算を大きく超過する支出項目があるなどの問題が生じている。今後、適確な計画に基づく予算の策定と予算の適正執行を要望する。

〔履行状況〕

要望のあった平成22年度の予算執行については、生徒確保の観点から年度途中に発生した広告及び塾訪問の増加で令達科目の予算を超過する事態が生じてしまったが、今後は各科目単位での予算を尊重した業務執行に努めることとしたい。

また、平成23年度予算案の作成に当たっては、従前からの事務主導型による予算案の作成から脱却し、各分掌、教科、学年ごと年間事業計画及びシラバスに添って、必要となる消耗品、消耗備品及び備品を部署内で協議検討し、予算に反映させた。なお、平成21年度の決算書及び平成22年度の予算執行状況も精査し、平成23年度予算を策定した。

〔要望事項〕

2) 附属動物病院について

昨年の監査時に指摘した薬品庫の管理については、管理者を設置するなど概ね改善された。薬品庫の管理失宜は重大な事故につながるリスクがあるので、監査室による定期的なモニタリングを願いたい。

また、病院の未収入金は、カード使用により幾分解決しつつあるが、長期の未収入金が見られる。未収入金の処理について、現実に即応した規定を設け、対処するようお願いしたい。

なお、病院の収益が計画を下回っている。収益を上げる諸策について、理事会でも積極的に検討するよう要望する。

〔履行状況〕

(1) 動物病院薬品庫のモニタリングについて

附属動物病院薬品庫のモニタリングについては、監査法人の行う期中監査時や監査室による内部監査時に、薬品庫の管理状況を実地確認し、状況説明を受けたところである。今後も継続したモニタリングを行っていく予定である。

なお、薬品庫の管理については、担当者として契約職員の獣医師を採用し業務に当たらせており、円滑な業務遂行が期されていることを確認している。

(2) 未収入金の処理について

未払者に納入督促をするも、結果的に3年を経過した未収入金の処理については、一般病院の診療債権の消滅時効が民法第170条第1号の「医師、助産師又は薬剤師の診療、助産又は調剤に関する債権」として、3年の短期消滅時効を適用していることから、これを準用することとしたい。

今後、規定化も含め、未収入金の発生を未然に防止する方策についても、紹介病院との関係を考えるなど、併せて検討することとしたい。

(3) 動物病院の収益を上げる諸策について

動物病院の収益を上げる諸策については、平成22年7月に動物病院長も交え、理事の情報交換として意見交換を行った。

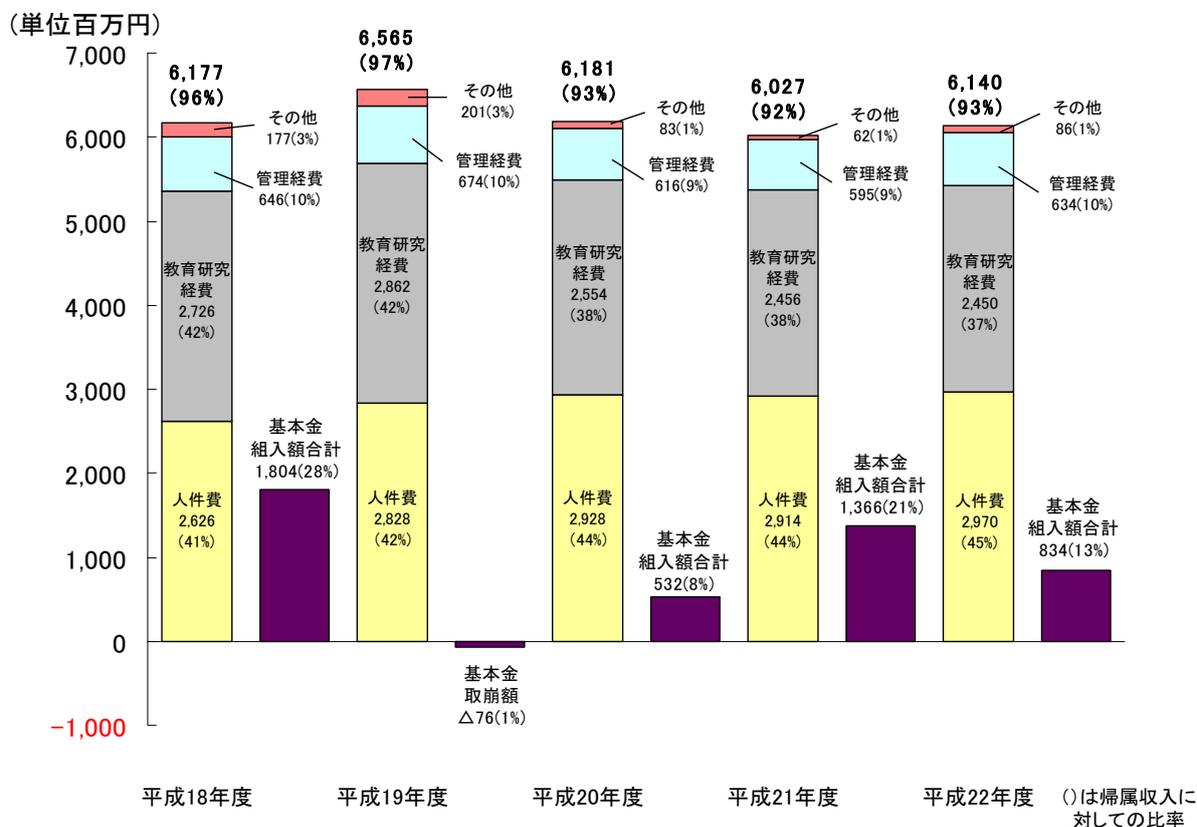
その中で、平成19年度の大学附属化の際に掲げた動物病院の役割と大学附属化の効果として、①教育・研究機能の強化、②高度獣医療の提供、③社会貢献度の増大（一般動物病院への技術支援・指導充実）、④教員の後継者育成機能向上、⑤動物病院収支の透明化、⑥大学ブランド・学生募集力への貢献、であること、また、大学附属化後5年間の収支シミュレーション等を再確認した。

その上で、これまでに取り組んだ対策として、検診センターの設置、診療料金の改定、特任教員採用等による稼働率向上や経費節減対策を実施してきた結果、検診センター機能は見直しを行わざるを得ないものの、収入は着実に伸びており、今後は、診療に従事する人材確保、施設・設備の有効活用等に配慮し、機能の向上に努めることとした。

III 財務の概要

III-1. 財務状況の推移

消費支出及び基本金組入額



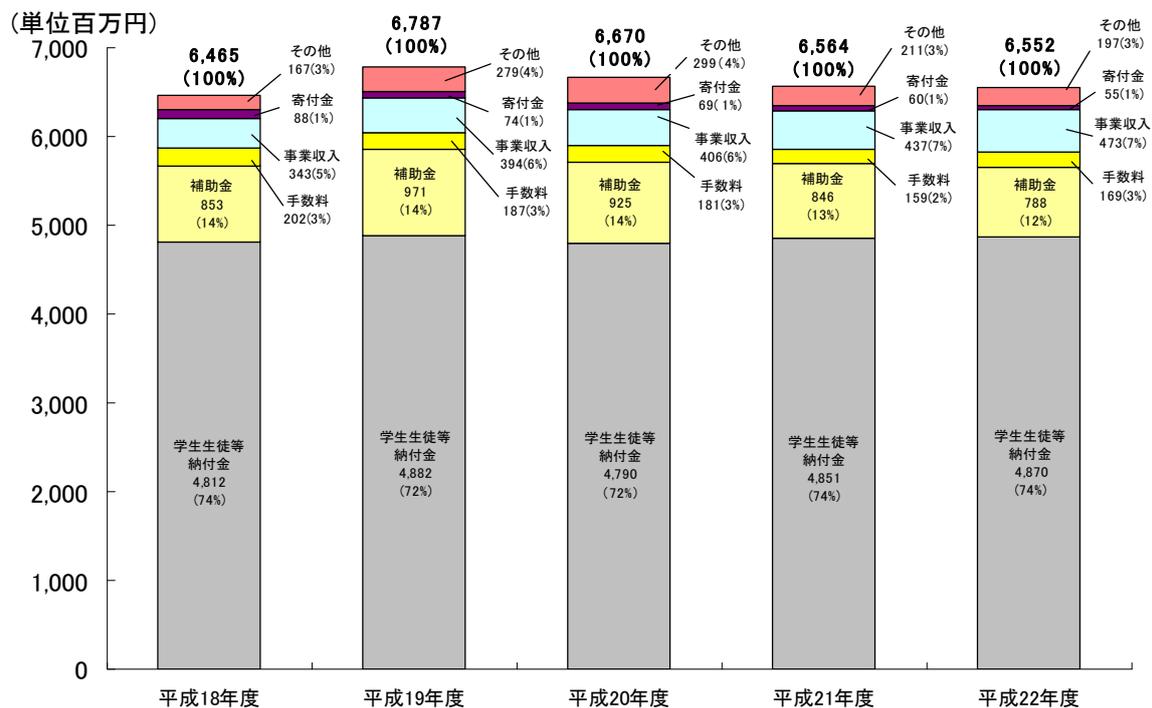
●消費支出とは、教育研究その他の諸活動に対応して消費した財貨と用役の額を示したもので、以下のようなものがある。

- 人件費
教員人件費、職員人件費、退職給与引当繰入額など
- 教育研究経費
消耗品費、光熱水費、業務委託費、減価償却費など
- 管理経費
消耗品費、光熱水費、業務委託費、減価償却費など
- その他
資産処分差額など上記各科目に該当しないもの

●基本金組入額とは、「学校法人の永続的維持に必要な資産を継続的に保持するため、維持すべきものとして帰属収入のうちから組み入れた金額」で、組み入れるべき金額としては、教育の用に供される固定資産額で、以下のようなものがある。

- 基本金組入額合計
建物、構築物、教育研究用機器備品、図書などの取得価額の合計

帰属収入



()は帰属収入に対しての比率

●帰属収入とは、学校法人の負債とならない収入で、以下のようなものがある。

- 学生生徒等納付金
入学金, 授業料, 実験実習費など
- 補助金
国庫補助金, 地方公共団体補助金など
- 手数料
入学検定料, 試験料, 証明手数料など
- 事業収入
附属病院収入, 受託事業収入など
- 寄付金
特別寄付金, 一般寄付金, 現物寄付金
- その他
受取利息配当金, 施設設備利用料, 雑収入など

Ⅲ-2. 財務比率の推移

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
消費収支計算書関係												
人件費比率 ↓	人件費 ／所属収入	42.6 (51.1)	43.1 (51.7)	43.5 (52.0)	42.0 (52.0)	52.2 (52.2)	42.9 (51.3)	40.6 (52.0)	41.7 (51.4)	43.9 (52.8)	44.4 (52.6)	45.3
人件費依存率 ↓	人件費 ／学生生徒等納付金	57.6 (68.6)	56.7 (69.4)	57.4 (69.3)	54.3 (69.6)	52.0 (70.2)	55.6 (70.7)	54.6 (71.3)	57.9 (71.7)	61.1 (72.3)	60.1 (72.4)	61.0
教育研究経費比率 ↑	教育研究経費 ／所属収入	30.8 (24.6)	32.2 (25.6)	30.6 (26.7)	32.2 (27.4)	35.4 (28.3)	33.2 (28.5)	42.2 (29.3)	42.2 (29.7)	38.3 (31.0)	37.4 (30.9)	37.4
管理経費比率 ↓	管理経費 ／所属収入	6.1 (7.4)	6.5 (7.5)	6.5 (7.8)	7.5 (7.9)	7.9 (8.5)	9.0 (8.5)	10.0 (8.5)	9.9 (8.7)	9.2 (9.9)	9.1 (10.3)	9.7
借入金等利息比率 ↓	借入金等利息 ／所属収入	0.4 (0.8)	0.3 (0.7)	0.2 (0.6)	0.2 (0.6)	0.1 (0.5)	0.3 (0.5)	0.6 (0.5)	0.6 (0.5)	0.6 (0.4)	0.6 (0.4)	0.7
消費収支比率 ↓	消費支出 ／消費収入	87.9 (103.6)	163.5 (104.4)	93.3 (105.3)	94.5 (105.7)	100.8 (107.2)	93.1 (107.5)	132.5 (107.8)	96.7 (108.3)	100.7 (115.0)	116.0 (110.8)	107.4
学生生徒等 納付金比率 ～	学生生徒等納付金 ／所属収入	73.8 (74.4)	76.0 (74.5)	75.9 (75.1)	77.3 (74.7)	76.6 (74.4)	77.2 (72.6)	74.4 (72.9)	71.9 (71.6)	71.8 (73.0)	73.9 (72.7)	74.3
寄付金比率 ↑	寄付金 ／所属収入	1.3 (3.2)	1.3 (2.8)	1.8 (2.4)	1.1 (2.3)	1.1 (1.9)	0.9 (3.4)	1.4 (2.3)	1.1 (3.0)	1.0 (2.4)	0.9 (2.5)	0.8
補助金比率 ↑	補助金 ／所属収入	15.9 (12.2)	13.9 (12.5)	12.8 (12.6)	12.9 (12.6)	12.5 (12.7)	12.5 (12.5)	13.2 (12.3)	14.3 (12.1)	13.9 (12.5)	12.9 (12.9)	12.0
基本金組入率 ↑	基本金組入額 ／所属収入	8.5 (17.5)	49.6 (16.0)	12.6 (14.9)	9.5 (15.4)	-8.7 (15.2)	7.7 (15.9)	27.9 (14.6)	0.0 (14.5)	8.0 (13.2)	20.8 (13.1)	12.7
貸借対照表関係												
固定比率 ↓	固定資産 ／自己資金	100.3 (97.2)	103.4 (97.2)	100.5 (97.7)	101.7 (98.4)	103.4 (98.5)	110.4 (98.7)	110.5 (98.7)	112.2 (98.5)	110.8 (99.4)	109.6 (100.0)	118.5
固定長期適合率 ↓	固定資産 ／自己資金+固定負債	93.6 (87.9)	96.9 (88.3)	95.2 (88.9)	96.5 (88.6)	95.9 (90.0)	94.7 (90.5)	94.9 (90.8)	96.9 (91.0)	96.5 (91.8)	96.1 (92.0)	96.3
流動比率 ↑	流動資産 ／流動負債	218.1 (269.6)	163.6 (269.7)	186.9 (265.7)	171.8 (249.2)	182.0 (257.7)	222.8 (253.0)	210.1 (247.6)	163.1 (251.2)	173.0 (238.6)	181.7 (232.7)	179.9
総負債比率 ↓	総負債 ／総資産	11.6 (15.5)	10.6 (15.1)	10.2 (14.6)	9.4 (16.3)	11.7 (14.1)	17.7 (13.6)	17.8 (13.4)	17.6 (12.8)	16.9 (12.7)	16.4 (13.2)	22.3
負債比率 ↓	総負債 ／自己資金	13.1 (18.4)	11.9 (17.8)	11.3 (17.2)	10.4 (19.4)	13.3 (16.4)	21.5 (15.8)	21.7 (15.5)	21.4 (14.7)	20.4 (14.6)	19.6 (15.2)	28.7
自己資金構成比率 ↑	自己資金 ／総資金	88.4 (84.5)	89.4 (84.9)	89.8 (85.4)	90.6 (83.7)	88.3 (85.9)	82.3 (86.4)	82.2 (86.6)	82.4 (87.2)	83.1 (87.3)	83.6 (86.8)	77.7
消費収支差額 構成比率 ↑	消費収支差額 ／総資金	-1.7 (1.3)	-10.1 (0.7)	-8.1 (-0.2)	-6.6 (-5.4)	-6.8 (-2.3)	-4.6 (-2.6)	-10.2 (-3.6)	-9.0 (-4.6)	-9.0 (-6.8)	-11.9 (-8.1)	-12.2

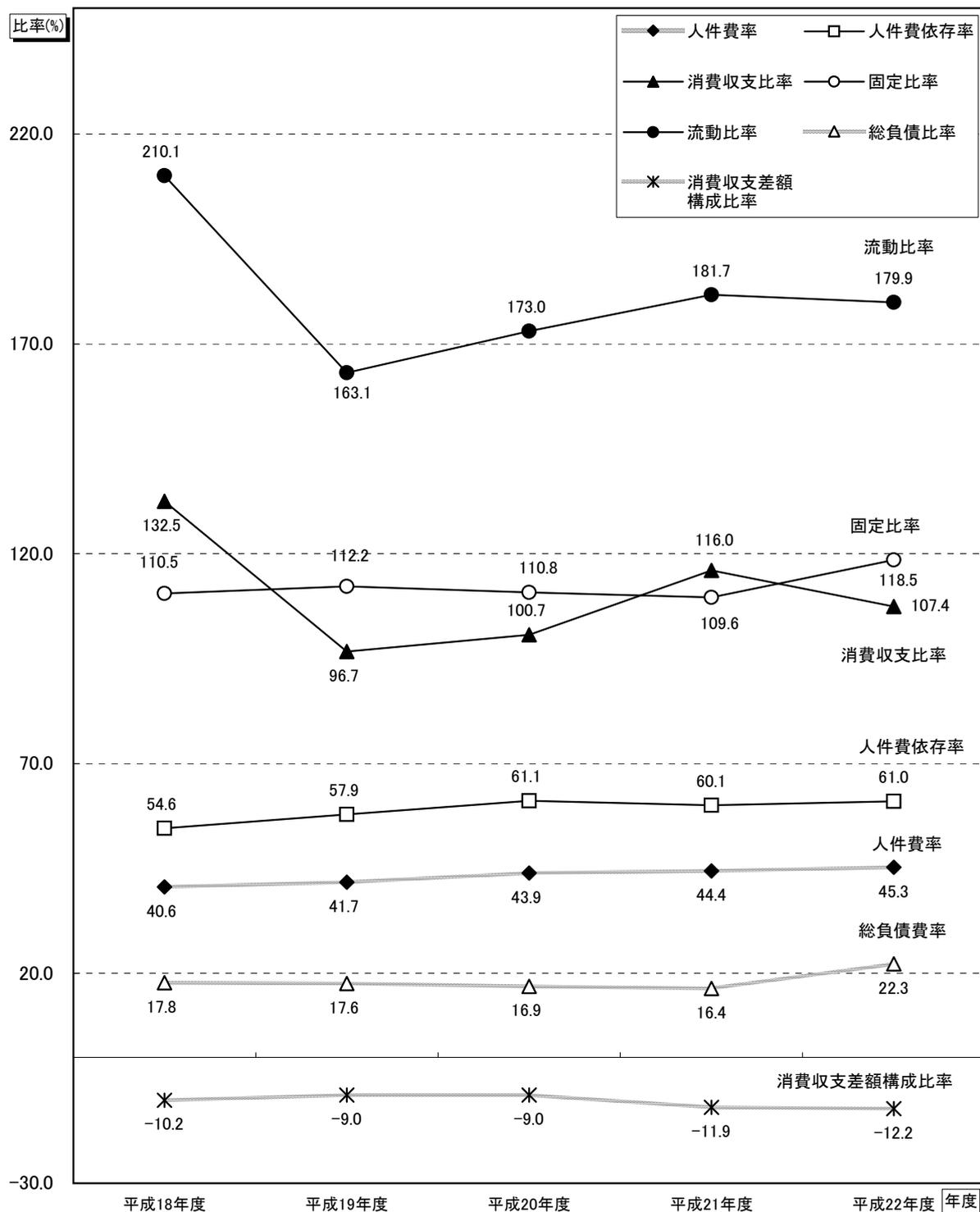
注) 1. ()内の数字は「今日の私学財政(大学・短期大学編)」(日本私立学校振興・共済事業団編)に記載されている医歯系法人を除く大学法人の平均値を示す。

2. 総資金=負債+基本金+消費収支差額 自己資金=基本金+消費収支差額

3. ↑:高い値がよい。↓:低い値がよい。～:どちらもいえない。

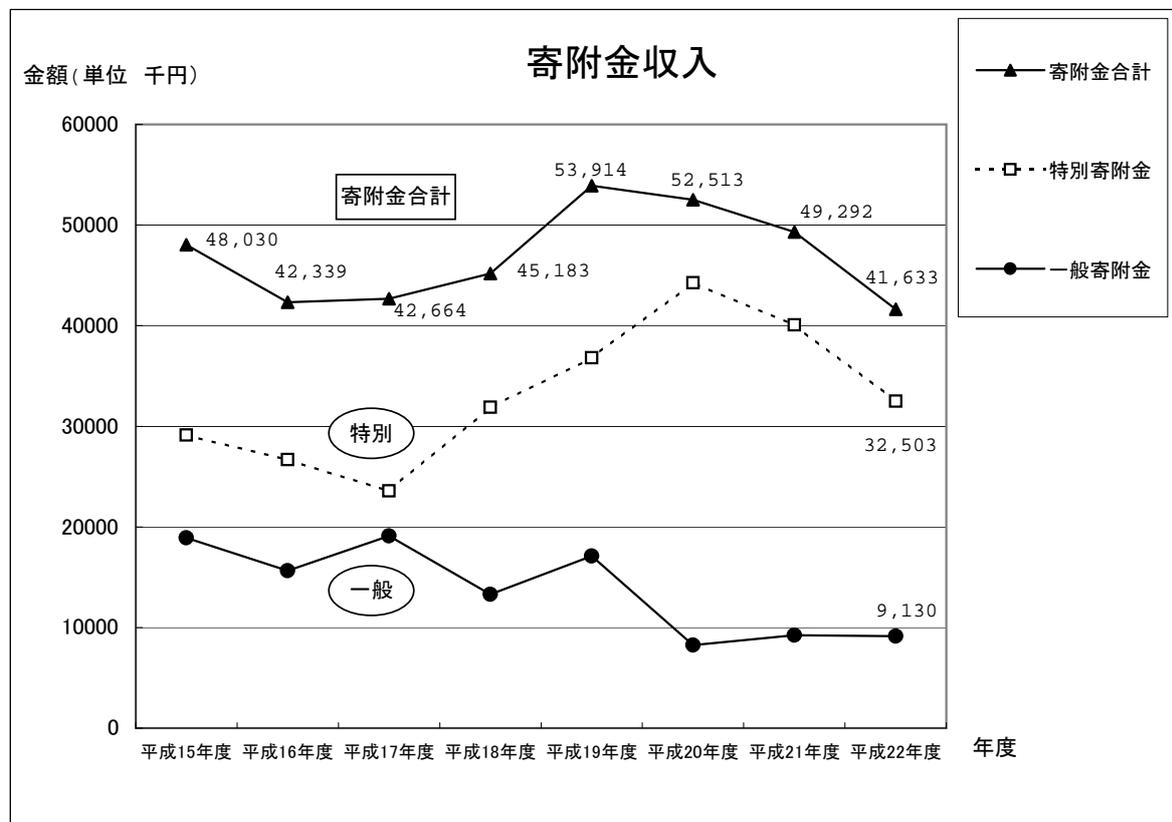
財務比率の推移

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
人件費率	人件費/帰属収入	40.6	41.7	43.9	44.4	45.3
人件費依存率	人件費/学生生徒等納付金	54.6	57.9	61.1	60.1	61.0
消費収支比率	消費支出/消費収入	132.5	96.7	100.7	116.0	107.4
固定比率	固定資産/自己資金	110.5	112.2	110.8	109.6	118.5
流動比率	流動資産/流動負債	210.1	163.1	173.0	181.7	179.9
総負債比率	総負債/総資産	17.8	17.6	16.9	16.4	22.3
消費収支差額構成比率	消費収支差額/総資金	-10.2	-9.0	-9.0	-11.9	-12.2



III-3. 寄附金収入の推移

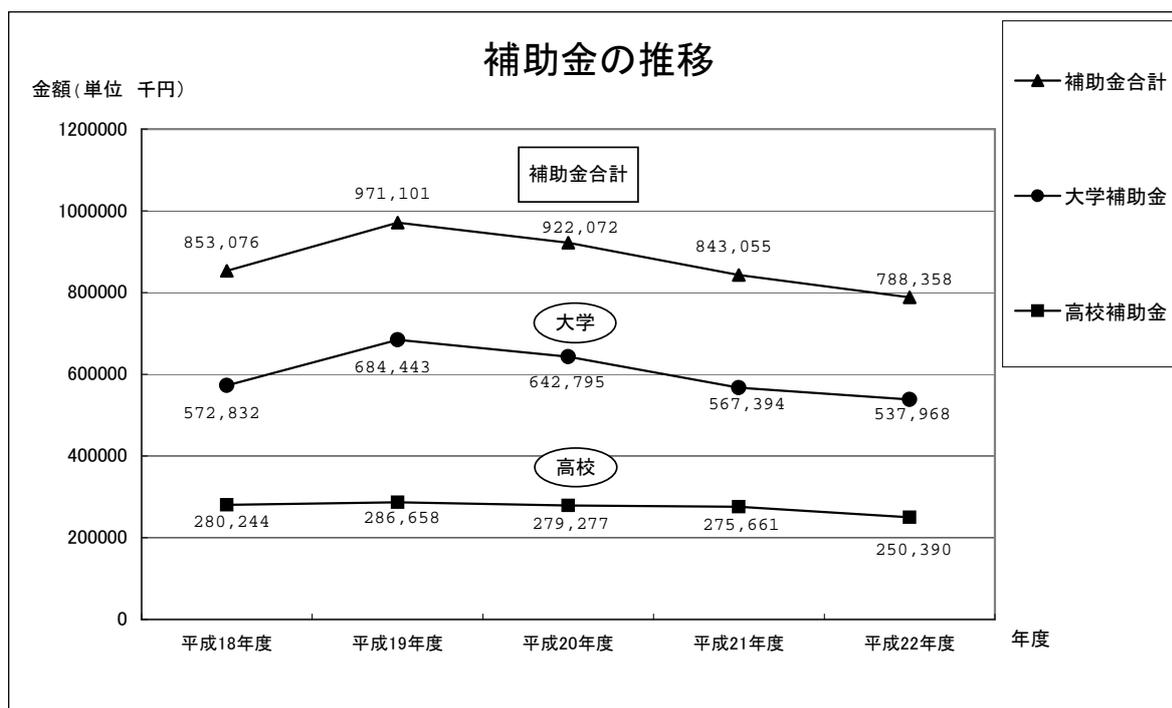
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
一般寄附金	18,900,000	15,650,000	19,100,000	13,300,000	17,100,000	8,260,000	9,220,000	9,130,000
特別寄附金	29,130,000	26,688,700	23,563,700	31,882,575	36,813,955	44,252,793	40,072,100	32,502,955
寄附金合計	48,030,000	42,338,700	42,663,700	45,182,575	53,913,955	52,512,793	49,292,100	41,632,955



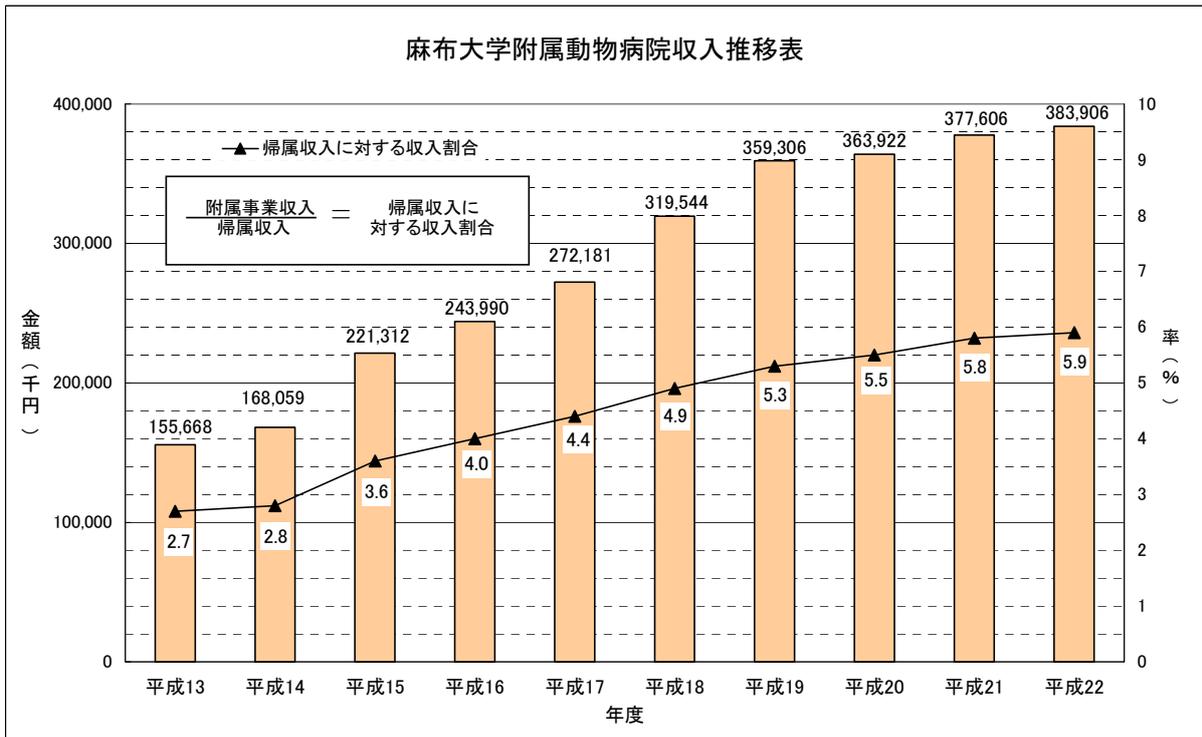
III-4. 経常費補助金の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
大学補助金	572,832,322	684,443,167	642,795,487	567,393,692	537,968,000
高校補助金	280,243,862	286,658,153	279,276,700	275,661,375	250,389,606
補助金合計	853,076,184	971,101,320	922,072,187	843,055,067	788,357,606

※法人(育児休業取得促進等助成金)は除く。



Ⅲ-5. 動物病院収入の推移

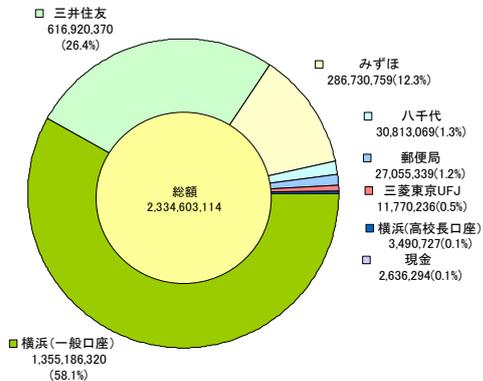
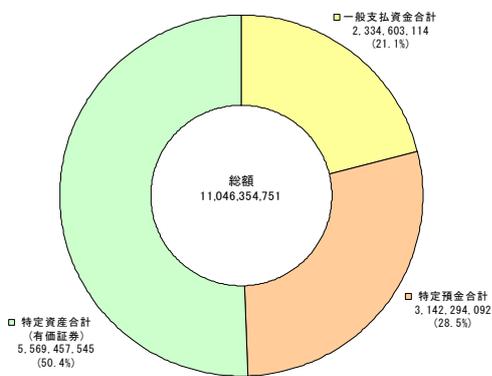


※ 動物病院は、平成19年4月に獣医学部附属から麻布大学附属動物病院に組織及び名称変更

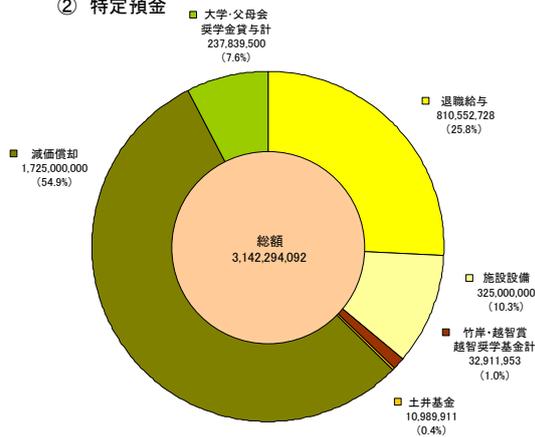
Ⅲ-6. 資金残高

(平成23年3月31日現在)

① 一般支払資金明細



② 特定預金



③ 有価証券(商品別割合)

